

第2章 九州と各国・地域の貿易

1. 韓国との貿易

1-1 韓国の経済概況

面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
民族	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-1-1 韓国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.8	2.9	3.2	2.7	2.0
名目GDP総額	10億ドル	1,465	1,500	1,623	1,721	1,642 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	28,724	29,287	31,605	33,346	31,754 *
輸出額	億ドル	5,268	4,954	5,737	6,049	5,422
	前年比(%)	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8	5.4	▲ 10.4
輸入額	億ドル	4,365	4,062	4,785	5,352	5,033
	前年比(%)	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8	11.9	▲ 6.0
貿易収支	億ドル	903	892	952	697	389
対日貿易収支	億ドル	▲ 203	▲ 231	▲ 283	▲ 241	▲ 192
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 0.3	2.2	2.5	1.5	0.0
失業率	(%)	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	0.7	1.0	1.9	1.5	0.4
直接投資受入額	億ドル	209	213	229	269	233 *
為替レート(1ドル)	ウォン	1,131.16	1,160.43	1,130.43	1,100.50	1,165.36
為替レート(1ウォン)	円	0.11	0.09	0.10	0.10	0.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

1-2 韓国との貿易動向

●2019年の九州の対韓国貿易額

輸出総額：7, 265億円（対前年▲12.7%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：2, 636億円（対前年▲9.2%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：4, 630億円（対前年▲14.6%）

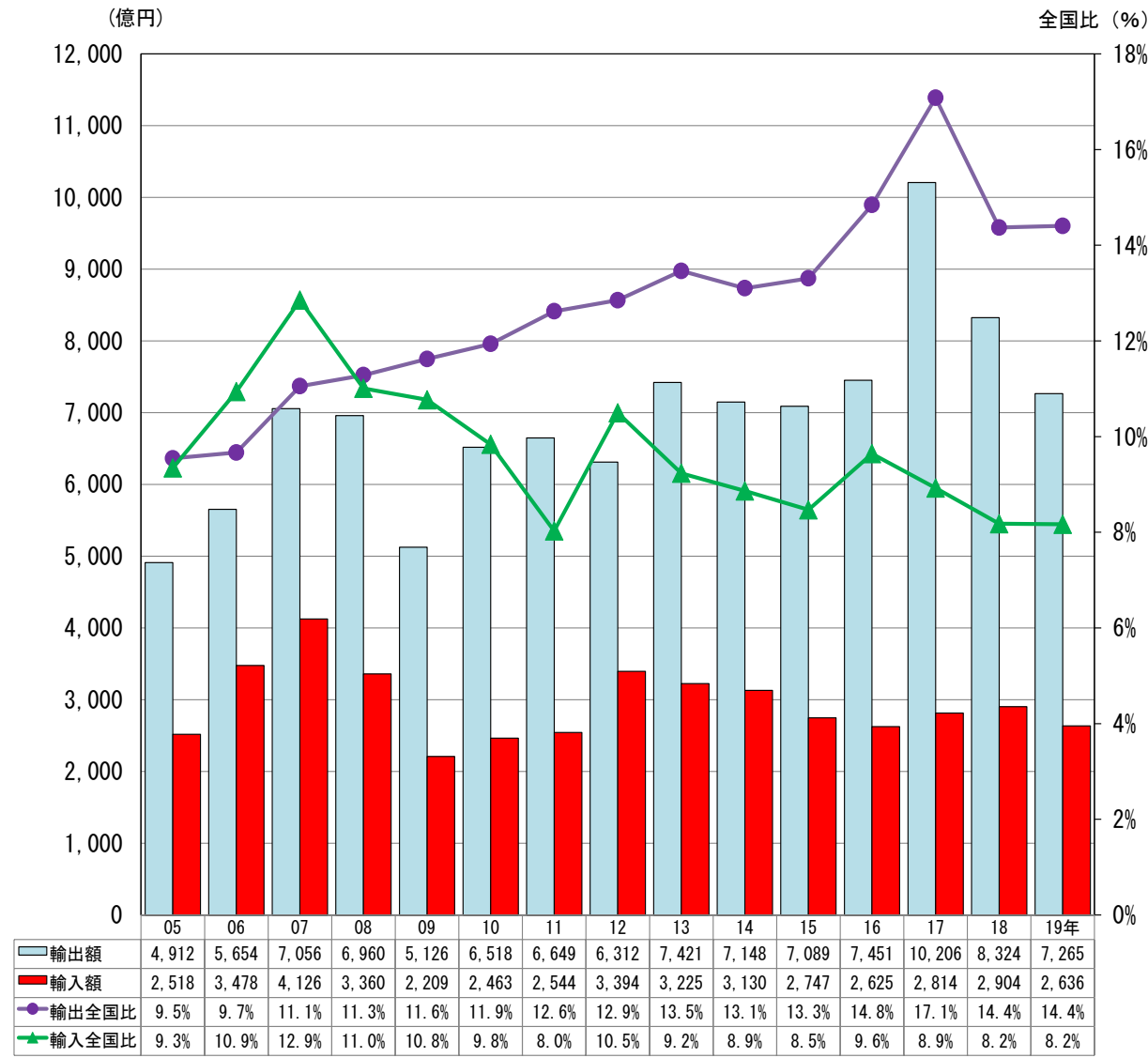
●輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.2%）、コンデンサー（+0.2%）
〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲10.5%）、科学光学機器（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、自動車の部分品

〈寄与度↑〉電気回路等の機器（+0.9%）、鉄鋼のフラットロール製品（+0.7%）
〈寄与度↓〉有機化合物（▲3.6%）、石油製品（▲3.3%）

図表2-1-2 九州の対韓国貿易額の推移

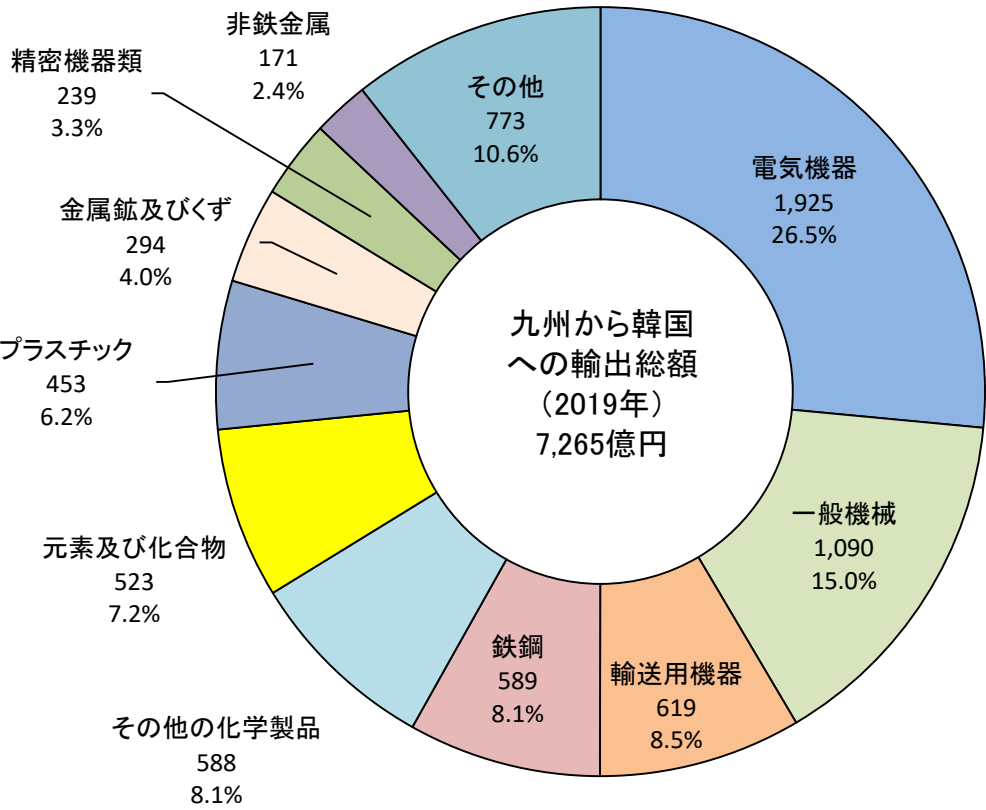


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-1-3 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,543	21.2%	▲0.0%	62.3%
半導体等製造装置	一般機械	741	10.2%	▲54.0%	23.4%
自動車	輸送用機器	587	8.1%	▲5.2%	84.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	524	7.2%	▲6.4%	20.9%
有機化合物	元素及び化合物	442	6.1%	28.9%	16.2%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	254	3.5%	▲9.6%	17.8%
科学光学機器	精密機器類	239	3.3%	▲17.5%	12.8%
電池	電気機器	103	1.4%	8.6%	51.4%
無機化合物	元素及び化合物	78	1.1%	▲15.4%	8.2%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	76	1.1%	26.9%	69.8%
その他		2,677	36.8%	—	—
総 額		7,265	100%	▲12.7%	14.4%

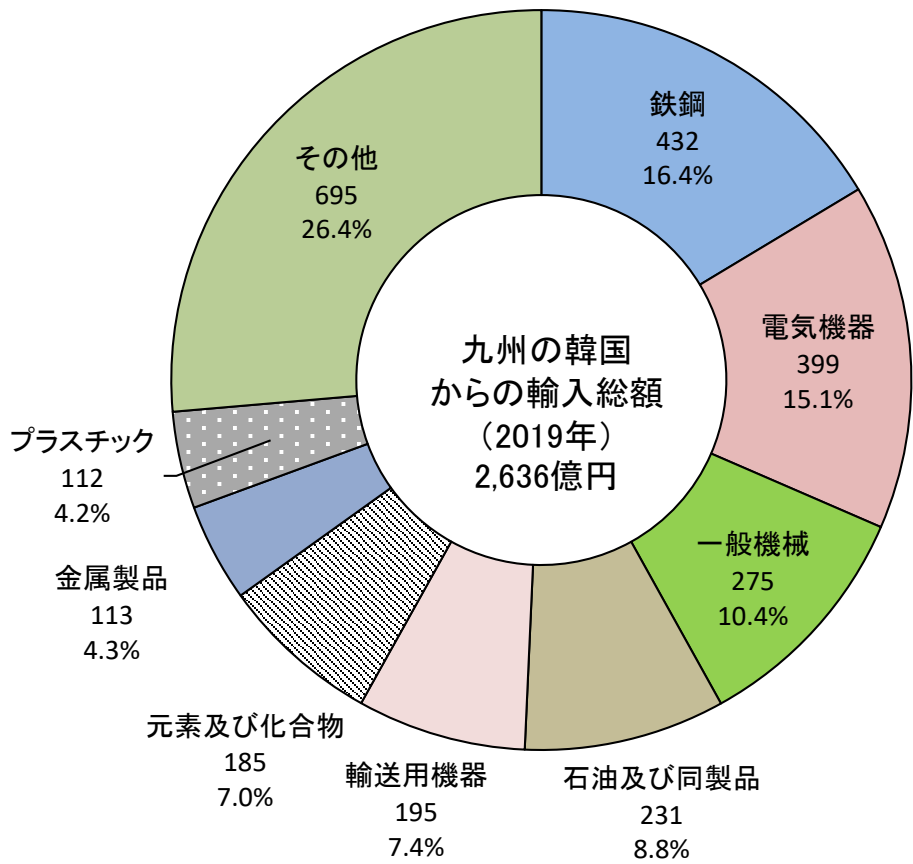
寄与度（増加分）：有機化合物（＋1.2%）、コンデンサー（＋0.2%）等
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲10.5%）、科学光学機器（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-1-4 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

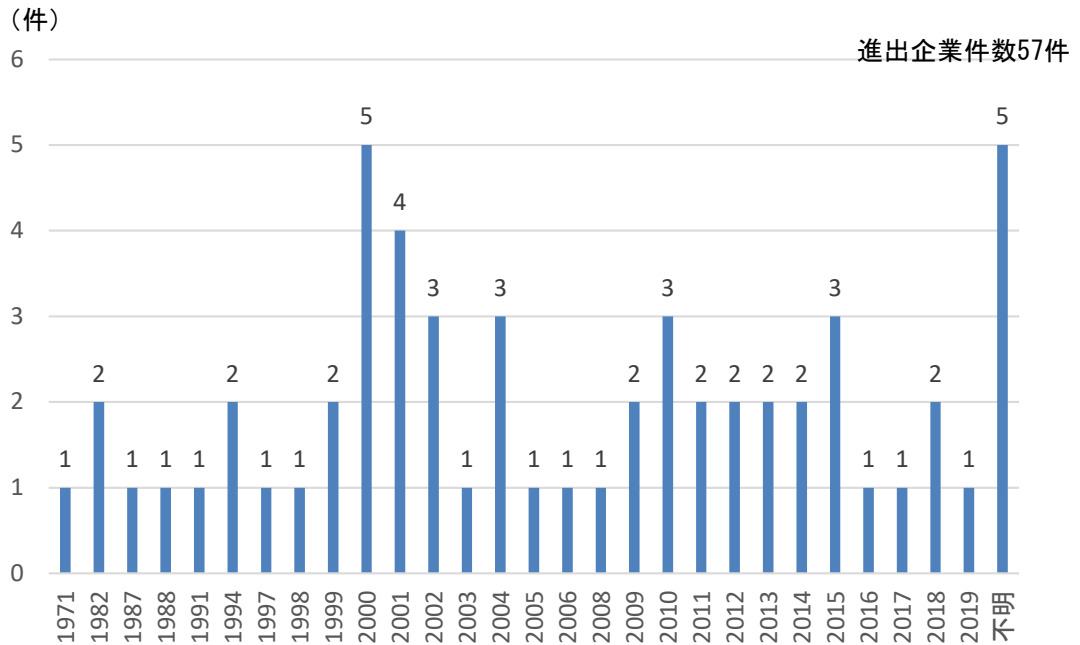
(中分類)



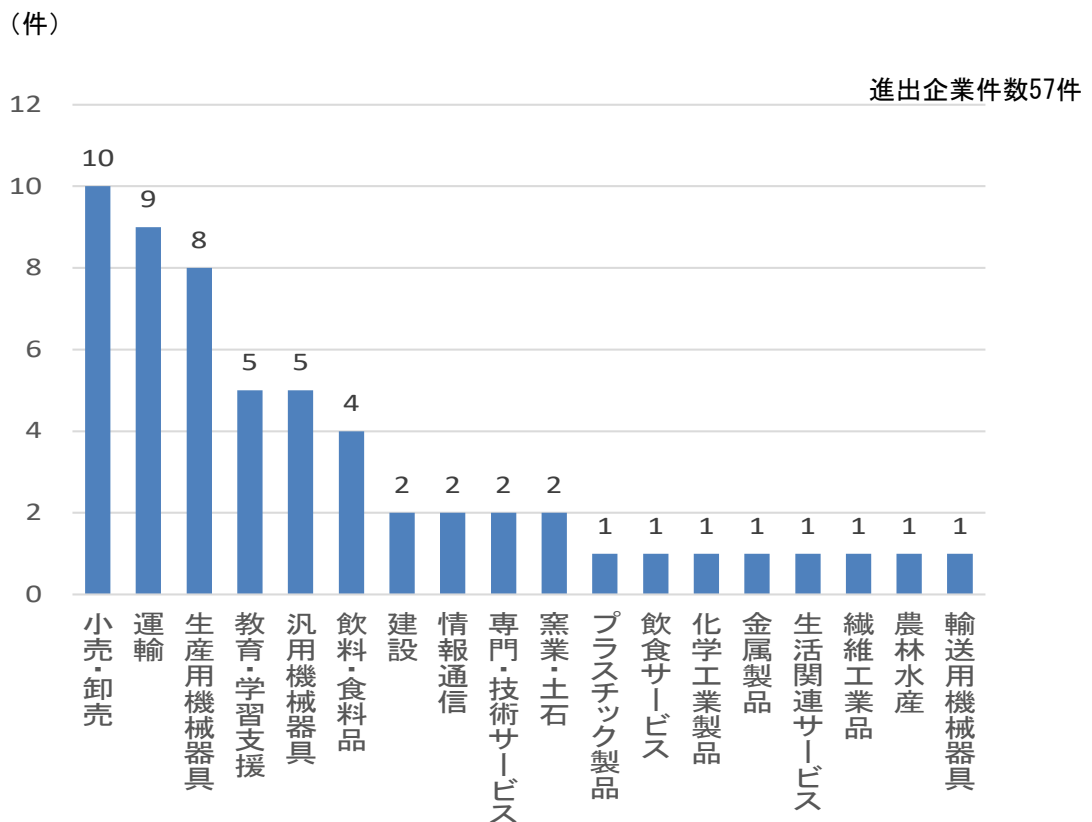
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	365	13.9%	5.8%	15.2%
石油製品	石油及び同製品	231	8.8%	▲29.0%	5.5%
自動車の部分品	輸送用機器	187	7.1%	▲17.3%	27.4%
有機化合物	元素及び化合物	145	5.5%	▲42.0%	11.5%
電気回路等の機器	電気機器	83	3.2%	49.0%	34.9%
半導体等電子部品	電気機器	72	2.7%	▲22.8%	4.7%
野菜	果実及び野菜	61	2.3%	15.4%	19.7%
魚介類	電気機器	53	2.0%	16.2%	10.4%
半導体等製造装置	一般機械	48	1.8%	▲19.3%	11.9%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	48	1.8%	33.7%	9.8%
その他		1,341	50.9%	—	—
総 額		2,636	100%	▲9.2%	8.2%

寄与度（増加分）：電気回路等の機器（+0.9%）、鉄鋼のフラットロール製品（+0.7%）等
寄与度（減少分）：有機化合物（▲3.6%）、石油製品（▲3.3%）等

図表2-1-5 九州企業の韓国進出件数の推移



図表2-1-6 九州企業の韓国進出件数（業種別）



2. 中国との貿易

2-1 中国の経済概況

面 積	約960万km ² (日本の約26倍)
人 口	約14億人
首 都	北京
民 族	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言 語	漢語(中国語)
宗 教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政 体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの7%)、第二次産業(同39%)、第三次産業(同54%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。2015年に第三次産業の比率は50%を超えた。

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.0	6.8	6.9	6.7	6.1
名目GDP総額	10億ドル	11,226	11,222	12,062	13,368	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	8,167	8,116	8,677	9,580	—
輸出額	億ドル	22,735	20,976	22,633	24,867	24,994
	前年比(%)	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9	9.9	0.5
輸入額	億ドル	16,796	15,879	18,438	21,357	20,777
	前年比(%)	▲ 14.3	▲ 5.5	16.1	15.8	▲ 2.7
貿易収支	億ドル	5,939	5,097	4,196	3,510	4,218
対日貿易収支	億ドル	▲ 72	▲ 159	▲ 283	▲ 329	▲ 283
鉱工業生産指数	前年比(%)	6.1	6.0	6.6	6.2	5.7
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.0	3.9	3.8	3.6
消費者物価指数	前年比(%)	1.4	2.0	1.6	2.1	2.9
直接投資受入額	億ドル	2,425	1,748	1,661	2,354	1,558
為替レート(1ドル)	人民元	6.23	6.65	6.76	6.62	6.91
為替レート(1人民元)	円	19.44	16.37	16.60	16.69	15.78

*

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト
「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

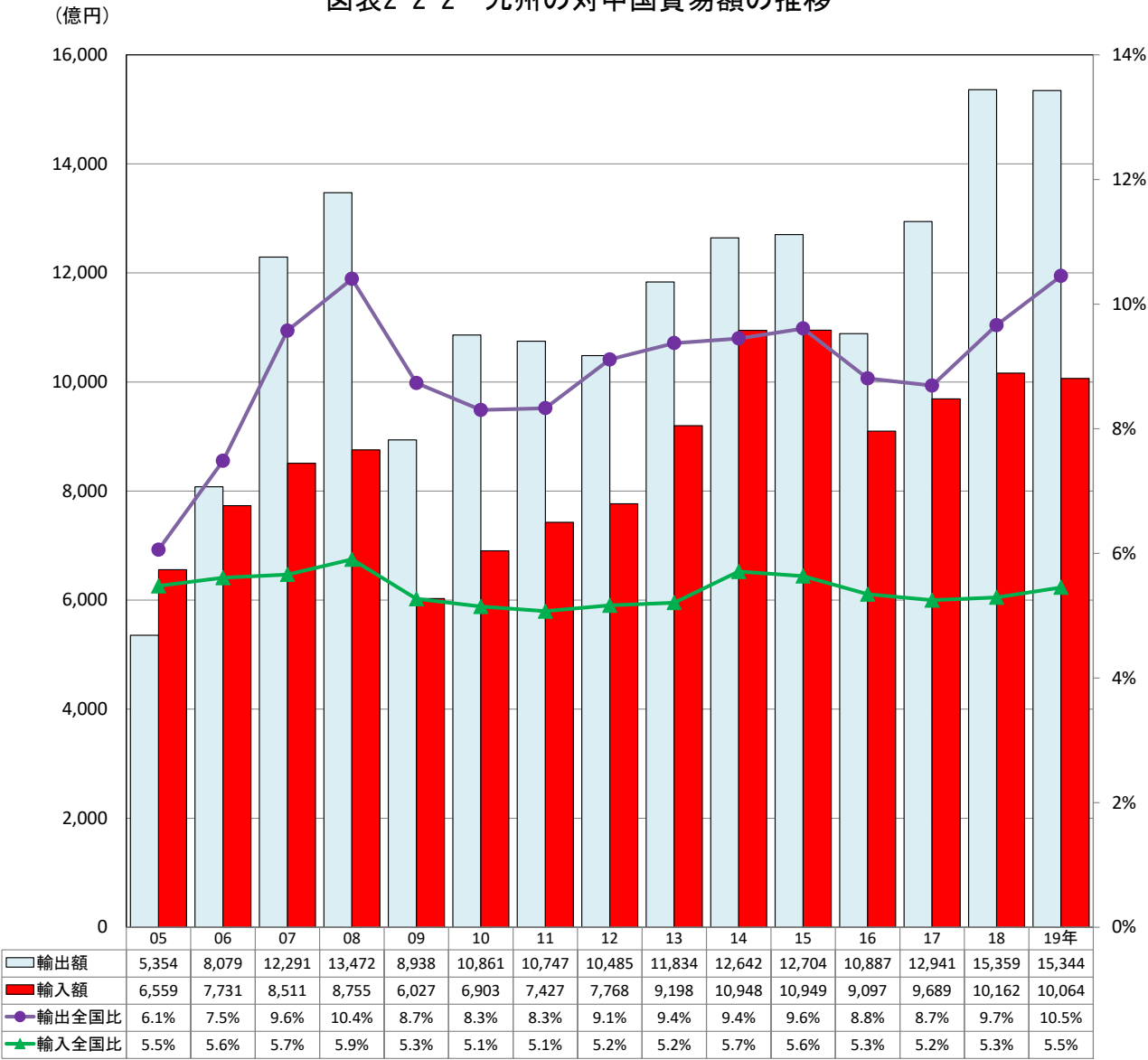
2-2 中国との貿易動向

●2019年の九州の対中国貿易額
輸出総額：1兆5,344億円（対前年▲0.1%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：1兆64億円（対前年▲1.0%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：5,280億円（対前年+1.6%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物
〈寄与度↑〉自動車（+8.7%）、有機化合物（+0.4%）
〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲4.9%）、半導体等電子部品（▲1.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、自動車の部分品、有機化合物
〈寄与度↑〉無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）
〈寄与度↓〉電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）

図表2-2-2 九州の対中国貿易額の推移

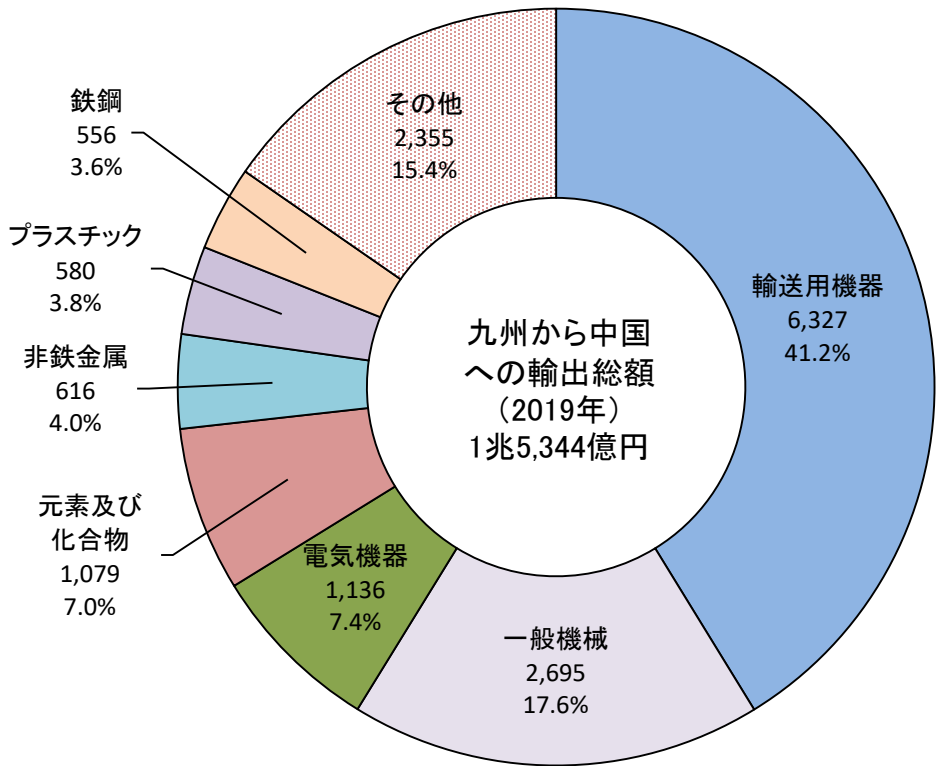


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-2-3 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	6,247	40.7%	27.3%	79.4%
半導体等製造装置	一般機械	1,514	9.9%	▲33.3%	16.8%
有機化合物	元素及び化合物	1,011	6.6%	5.9%	14.8%
半導体等電子部品	電気機器	525	3.4%	▲24.6%	5.4%
銅及び同合金	非鉄金属	517	3.4%	▲11.8%	25.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	464	3.0%	▲24.6%	13.7%
原動機	一般機械	428	2.8%	▲21.8%	9.3%
科学光学機器	精密機器類	157	1.0%	▲27.0%	2.1%
電気回路等の機器	電気機器	135	0.9%	▲20.5%	2.6%
事務用機器	一般機械	125	0.8%	4.9%	5.7%
その他		4,220	27.5%	—	—
総 額		15,344	100%	-0.1%	10.5%

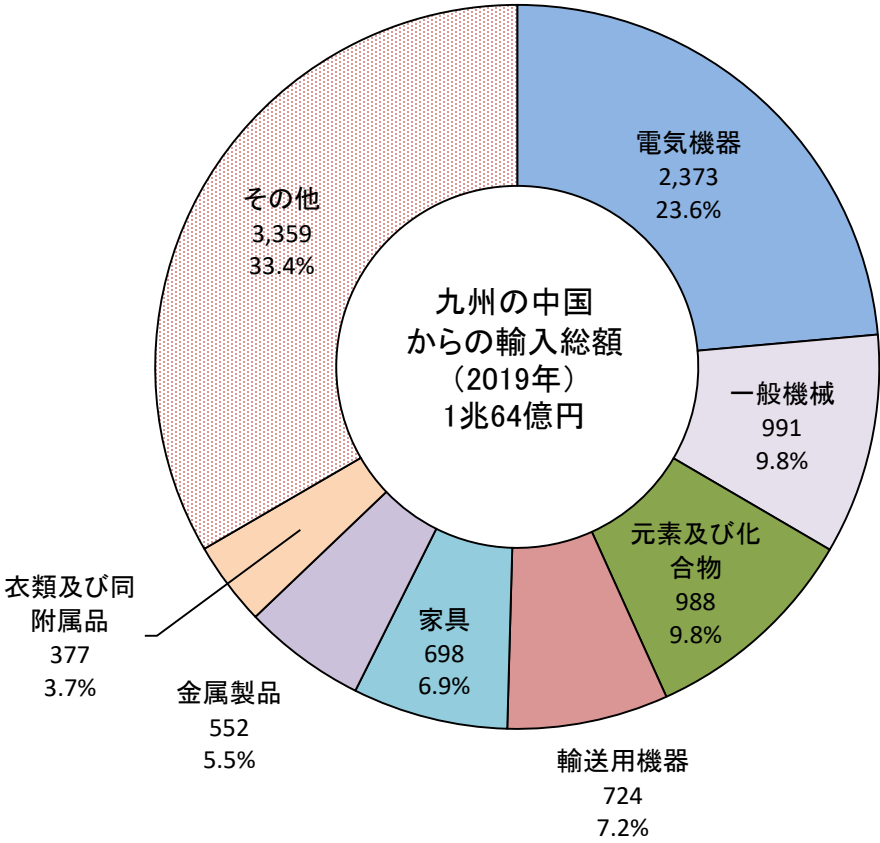
寄与度（増加分）：自動車（+8.7%）、有機化合物（+0.4%）等
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲4.9%）、半導体等電子部品（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-2-4 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

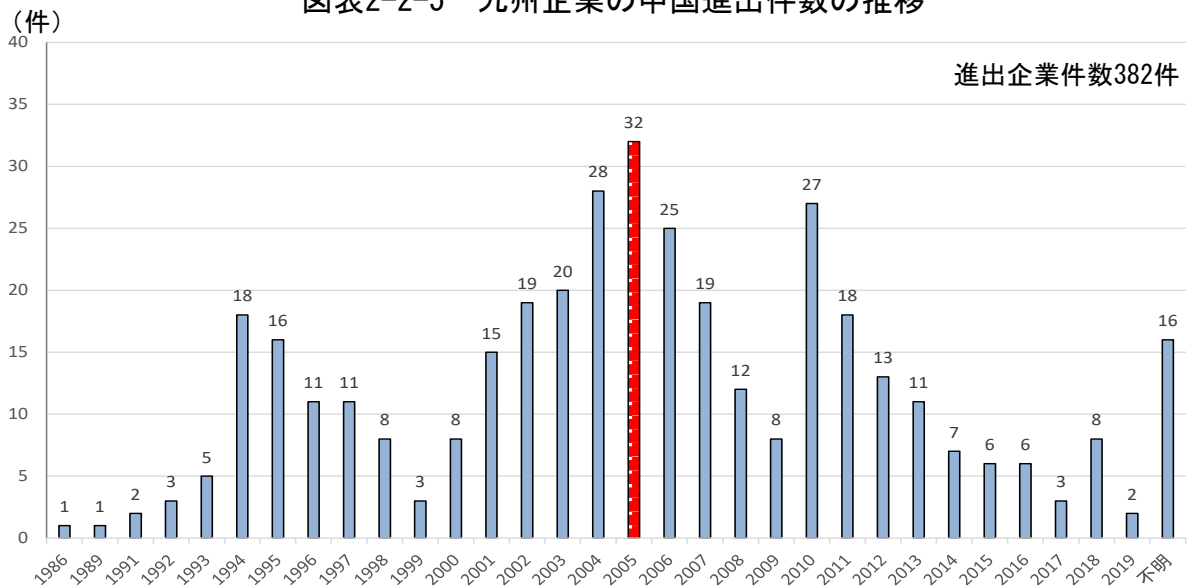


主な輸入品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	781	7.8%	41.8%	16.0%
自動車の部分品	輸送用機器	588	5.8%	▲6.1%	17.9%
無機化合物	元素及び化合物	501	5.0%	15.1%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	473	4.7%	4.6%	13.2%
家庭用電気機器	電気機器	298	3.0%	21.3%	6.7%
電気回路等の機器	電気機器	251	2.5%	▲10.4%	10.0%
野菜	果実及び野菜	241	2.4%	▲4.8%	9.2%
重電機器	電気機器	234	2.3%	43.9%	6.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	224	2.2%	2.3%	7.9%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	222	2.2%	▲8.6%	2.5%
その他		6,250	62.1%	—	—
総 額		10,064	100%	−1.0%	5.5%

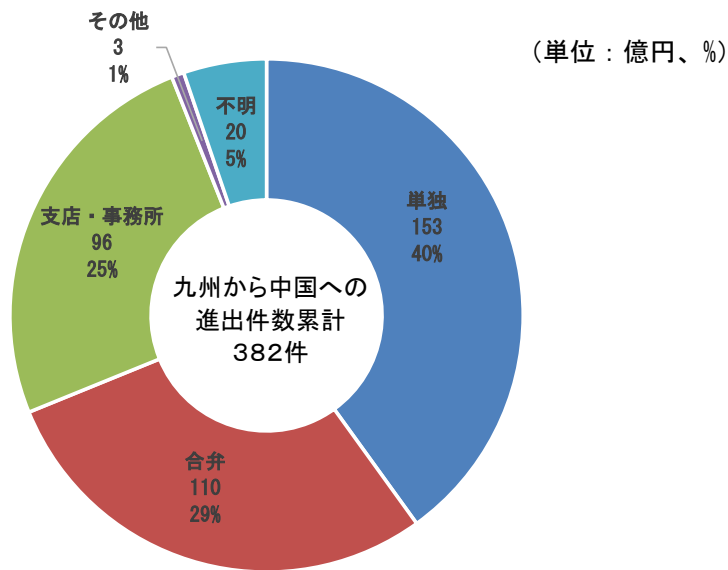
寄与度（増加分）：無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）等
寄与度（減少分）：電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

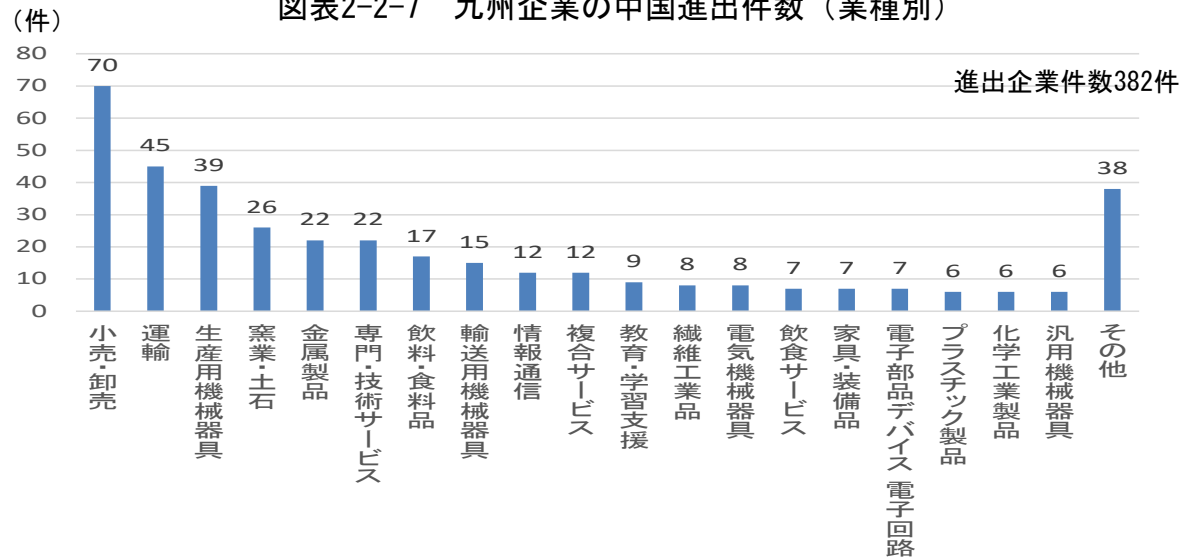
図表2-2-5 九州企業の中国進出件数の推移



図表2-2-6 九州企業の中国進出件数（進出形態別）



図表2-2-7 九州企業の中国進出件数（業種別）



図表2-2-5～7出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

3. 台湾との貿易

3-1 台湾の経済概況

面 積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人 口	約2,360万人(2020年2月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言 語	中国語、台湾語、客家語等
宗 教	仏教、道教、キリスト教
政 体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-3-1 台湾のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.5	2.2	3.3	2.7	2.7
名目GDP総額	10億ドル	534	543	591	608	611
一人当たりGDP(名目)	ドル	22,780	23,091	25,080	25,792	25,909
輸出額	億ドル	2,844	2,792	3,155	3,340	3,292
	前年比(%)	▲ 11.0	▲ 1.8	13.0	5.9	▲ 1.4
輸入額	億ドル	2,364	2,292	2,572	2,848	2,857
	前年比(%)	▲ 15.9	▲ 3.0	12.2	10.7	0.3
貿易収支	億ドル	481	500	583	492	435
対日貿易収支	億ドル	▲ 192	▲ 212	▲ 214	▲ 214	▲ 208
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 1.3	2.0	5.0	3.6	▲ 0.3
失業率	(%)	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	▲ 0.3	1.4	0.6	1.3	0.6
直接投資受入額	億ドル	24	93	33	70	- *
為替レート(1ドル)	台湾元	31.91	32.33	30.44	30.16	30.93
為替レート(1台湾元)	円	3.79	3.37	3.68	3.66	3.53

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト
「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

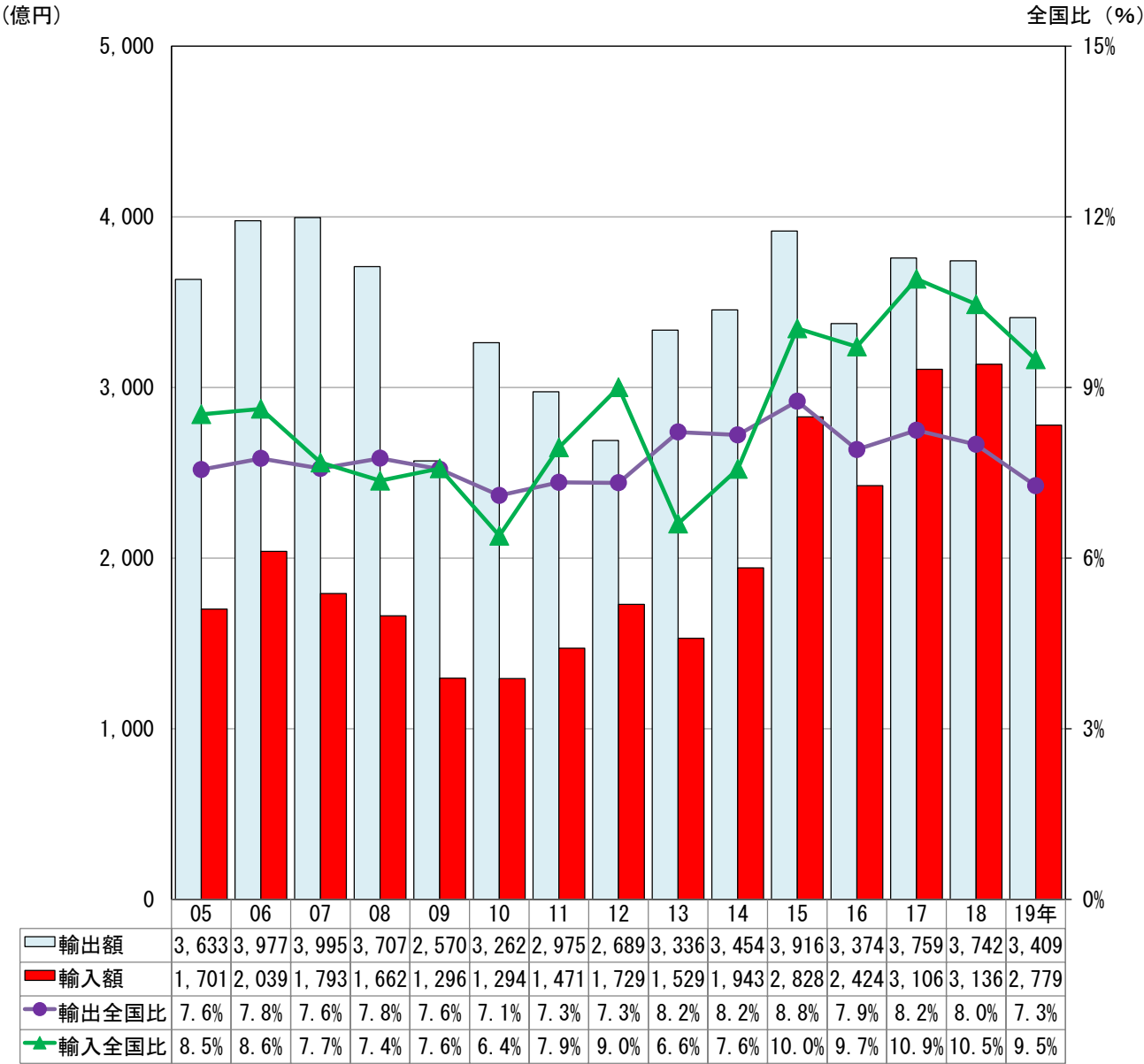
3-2 台湾との貿易動向

●2019年の九州の対台湾貿易額
輸出総額：3,409億円（対前年▲8.9%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：2,779億円（対前年▲11.4%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：630億円（対前年+3.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉半導体等製造装置（+3.5%）、自動車（+1.9%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲2.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.5%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物
〈寄与度↑〉石油製品（+0.7%）、事務用機器（+0.3%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲7.1%）、有機化合物（▲1.5%）

図表2-3-2 九州の対台湾貿易額の推移

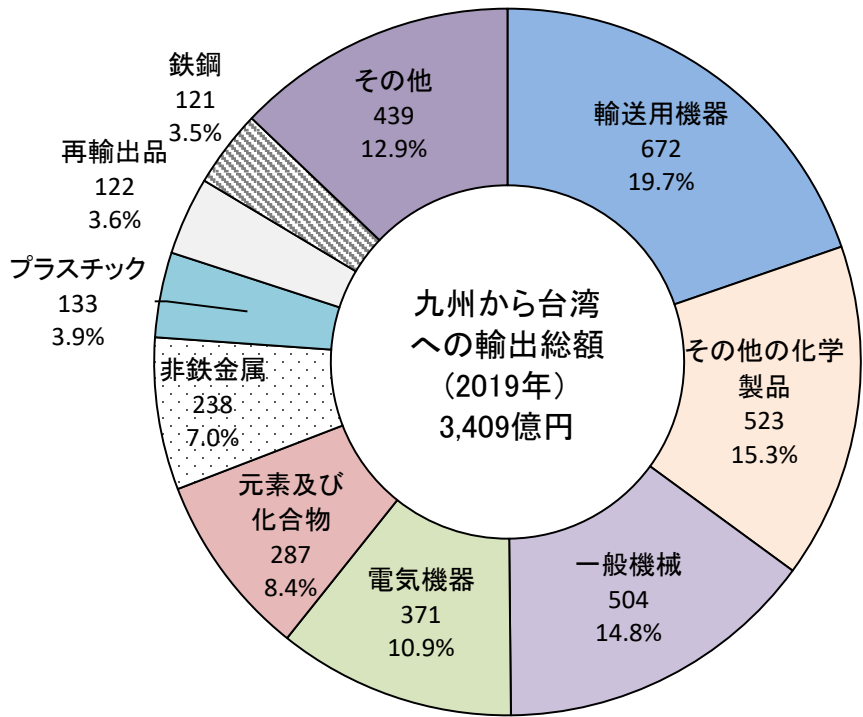


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-3-3 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	659	19.3%	11.9%	22.9%
半導体等製造装置	一般機械	324	9.5%	67.1%	5.6%
半導体等電子部品	電気機器	279	8.2%	▲22.2%	3.9%
有機化合物	元素及び化合物	216	6.3%	▲19.3%	10.0%
銅及び同合金	非鉄金属	207	6.1%	▲8.8%	18.3%
科学光学機器	精密機器類	98	2.9%	0.7%	6.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	81	2.4%	▲41.5%	14.6%
無機化合物	元素及び化合物	70	2.1%	▲26.2%	12.1%
(鉄鋼くず)	鉄鋼	34	1.0%	28.9%	13.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	32	0.9%	▲9.4%	6.8%
その他		1,407	41.3%	—	—
総 額		3,409	100.0%	▲8.9%	7.3%

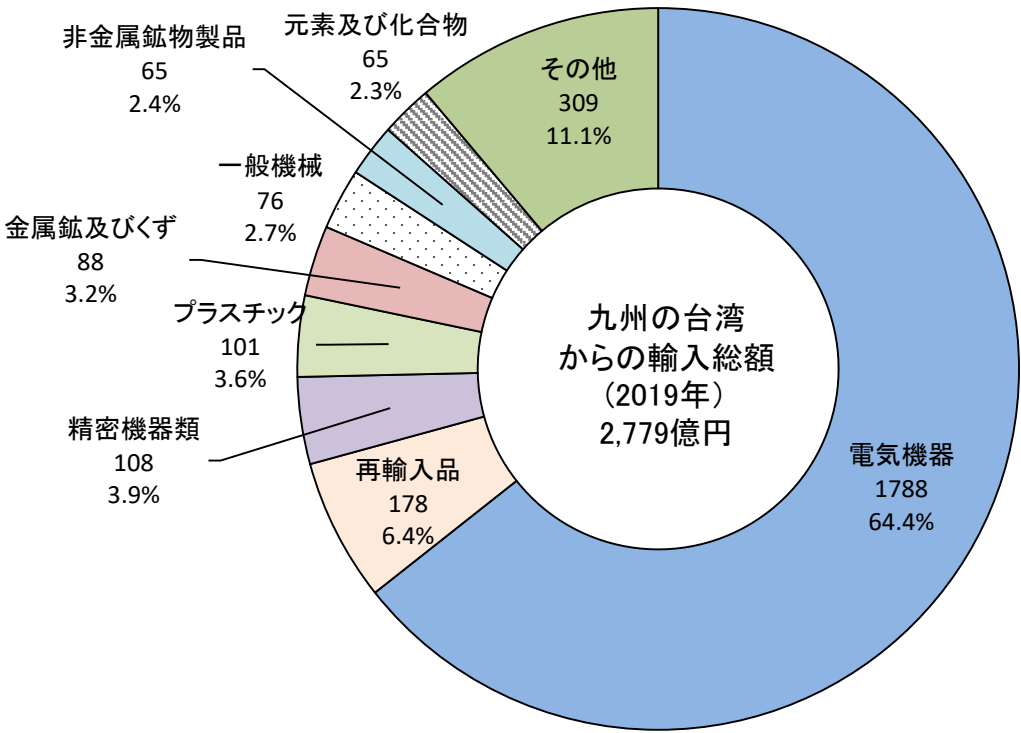
寄与度（増加分）：半導体等製造装置（+3.5%）、自動車（+1.9%）等
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲2.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-3-4 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,732	62.3%	-10.2%	15.7%
科学光学機器	精密機器類	108	3.9%	-24.9%	14.5%
有機化合物	元素及び化合物	51	1.8%	-45.0%	12.7%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	48	1.7%	-36.9%	33.1%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	26	0.9%	-	49.6%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.8%	0.3%	6.7%
石油製品	石油及び同製品	21	0.7%	8845.9%	14.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	17	0.6%	-23.1%	2.3%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	16	0.6%	17.1%	18.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	15	0.6%	24.2%	6.3%
その他		723	26%	-	-
総 額		2,779	100.0%	-11.4%	9.5%

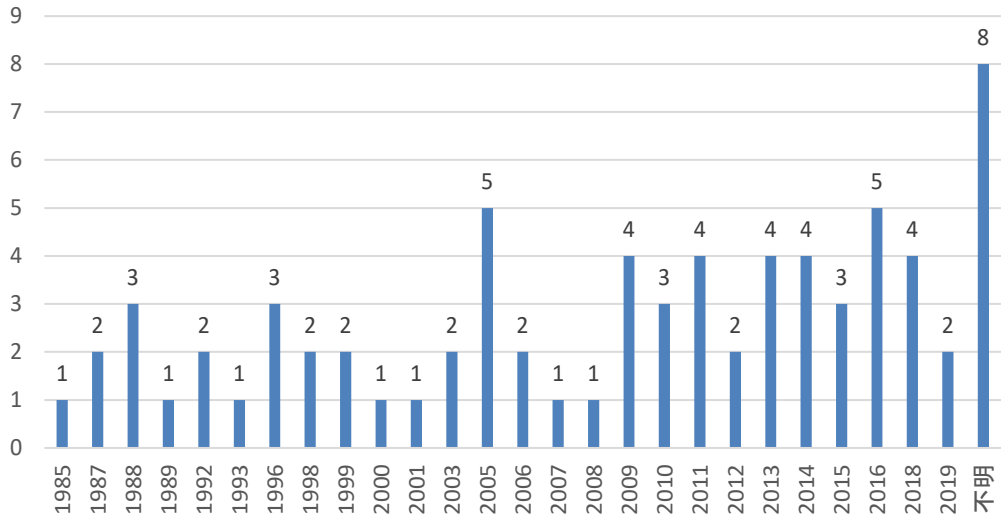
寄与度（増加分）：石油製品（+0.7%）、事務用機器（+0.3%）等
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲7.1%）、有機化合物（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-3-5 九州企業の台湾進出件数の推移

(件)

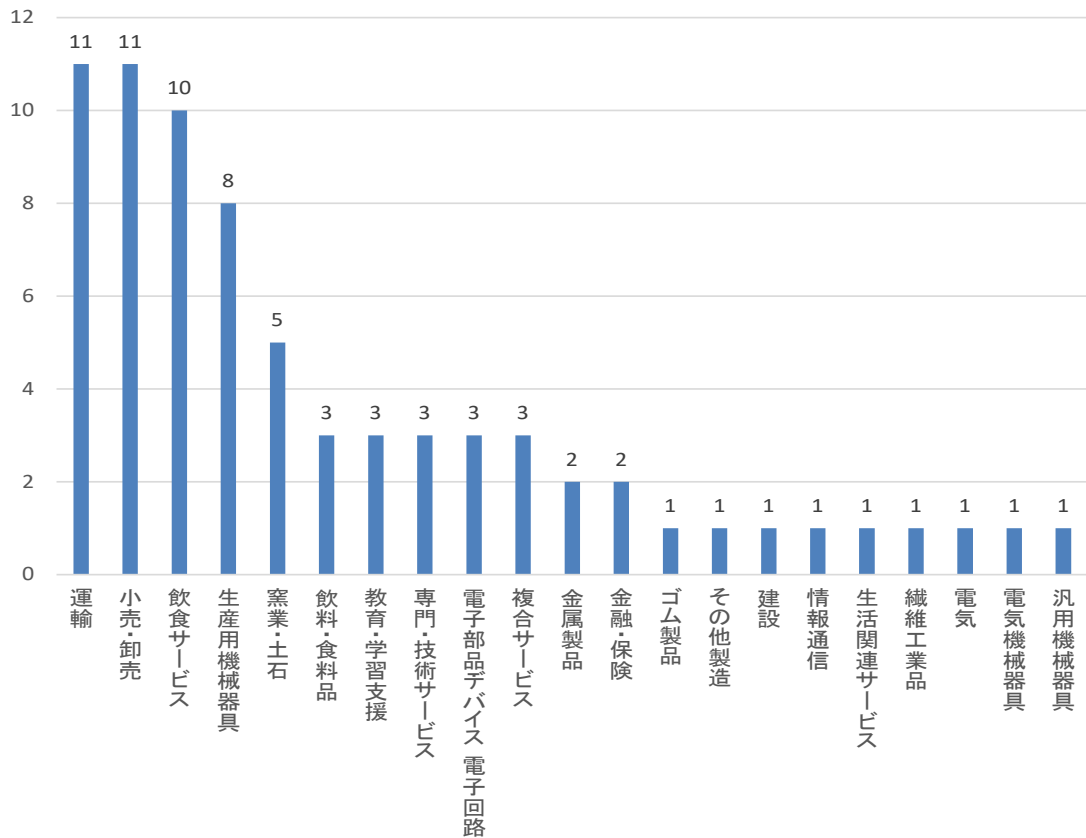
進出企業件数73件



図表2-3-6 九州企業の台湾進出件数（業種別）

(件)

進出企業件数73件



4. 香港との貿易

4-1 香港の経済概況

面 積	1,106km ² (東京都の約半分)
人 口	約734万人(2016年)
民 族	中国系(約91%)
言 語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗 教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政 体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region:SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-4-1 香港のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.4	2.2	3.8	2.9	▲ 1.2
名目GDP総額	10億ドル	309	321	342	363	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	42,322	43,499	46,080	48,517	—
輸出額	億ドル	4,655	4,626	4,976	5,312	5,096
	前年比(%)	▲ 1.8	▲ 0.6	7.6	6.7	▲ 4.1
輸入額	億ドル	5,226	5,170	5,595	6,029	5,638
	前年比(%)	▲ 4.1	▲ 1.1	8.2	7.8	▲ 6.5
貿易収支	億ドル	▲ 571	▲ 544	▲ 619	▲ 717	▲ 542
対日貿易収支	億ドル	▲ 202	▲ 185	▲ 192	▲ 183	— *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 1.6	▲ 0.4	0.4	1.3	0.4
失業率	(%)	3.3	3.4	3.1	2.8	3.0
消費者物価指数	前年比(%)	3.0	2.4	1.5	2.4	2.9
直接投資受入額	億ドル	1,810	1,333	1,257	865	— *
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.75	7.76	7.79	7.84	7.84
為替レート(1香港ドル)	円	15.62	14.02	14.39	14.09	13.91

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

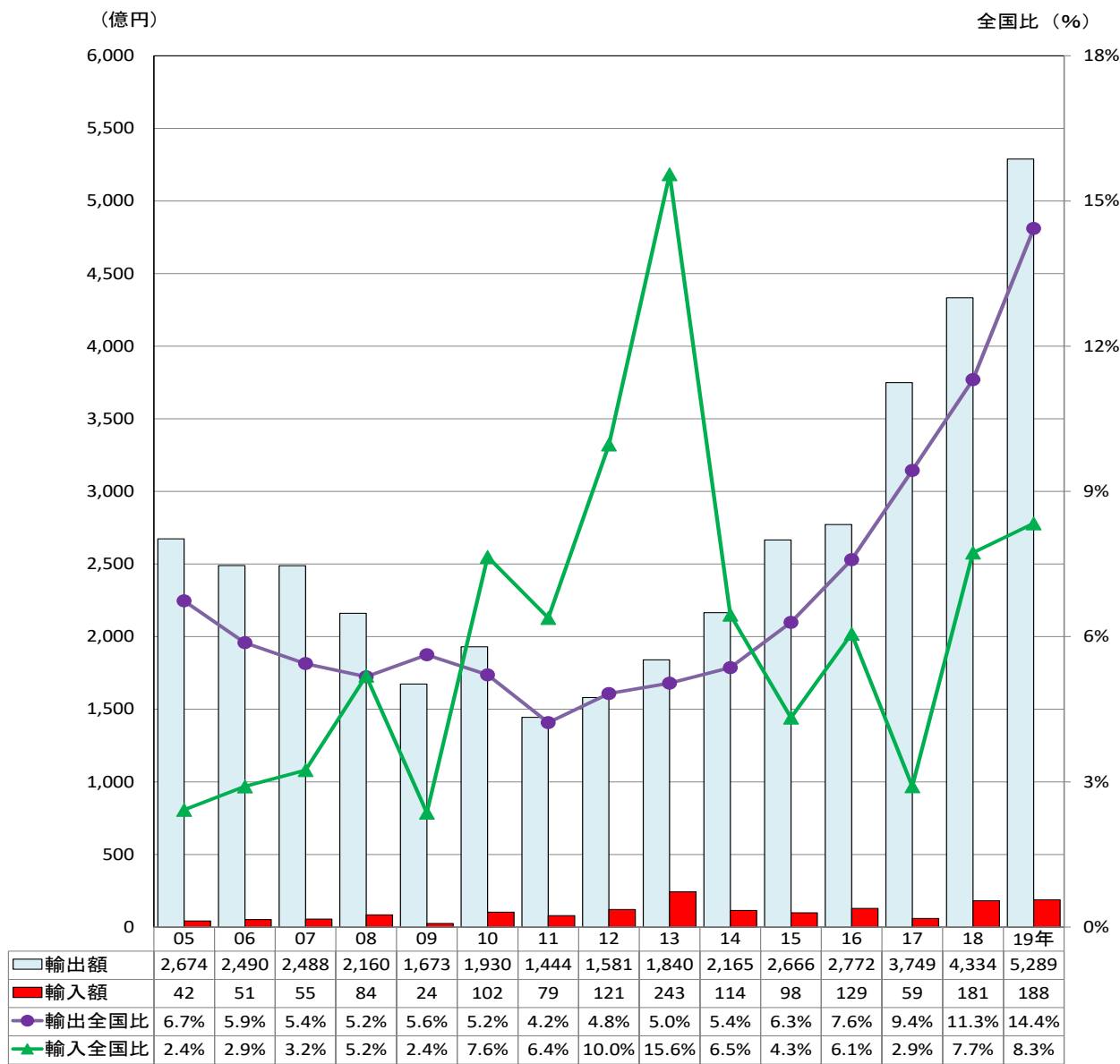
4-2 香港との貿易動向

●2019年の九州の対香港貿易額
輸出総額：5, 289億円（対前年+22.1%） → 8年連続のプラス
輸入総額：188億円（対前年+3.4%） → 2年連続のプラス
差引額：5, 102億円（対前年+22.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+25.4%）、化粧品（+0.6%）
〈寄与度↓〉建設用・鉱山用機械（▲0.6%）、コンデンサー（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず
〈寄与度↑〉魚介類（+9.1%）、がん具及び遊戯用具（+0.02%）
〈寄与度↓〉鉄鋼くず（▲1.3%）、非鉄卑金属くず（▲0.05%）

図表2-4-2 九州の対香港貿易額の推移

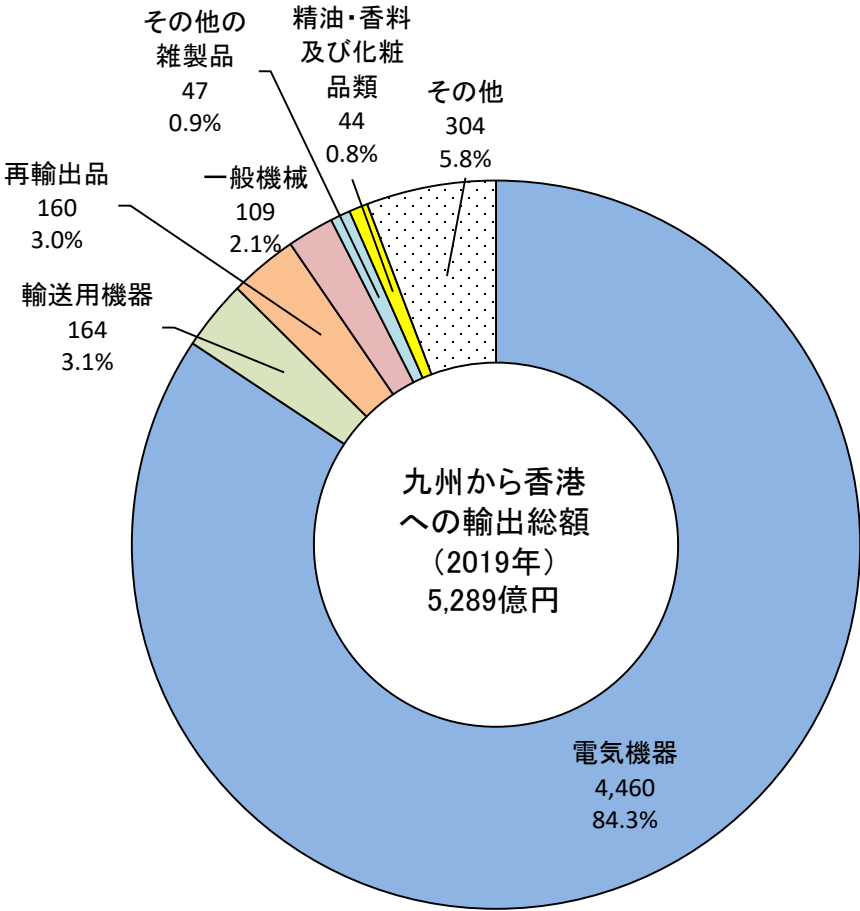


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-4-3 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)

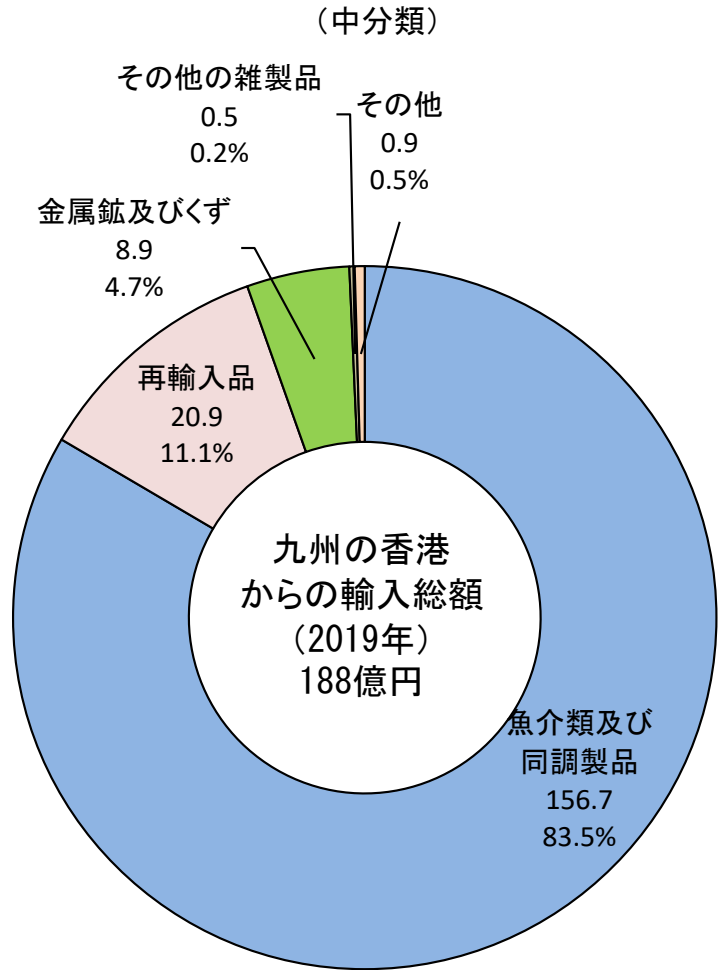


主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	4,251	80.4%	34.9%	57.4%
電気回路等の機器	電気機器	164	3.1%	▲12.6%	7.8%
船舶類	輸送用機器	122	2.3%	▲12.7%	40.1%
自動車	輸送用機器	40	0.8%	▲19.9%	5.1%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	39	0.7%	214.0%	2.9%
建設用・鉱山用機械	一般機械	37	0.7%	▲41.9%	10.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	25	0.5%	14.1%	43.5%
貴石等の製品類	その他の雑製品	22	0.4%	▲17.4%	2.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	20	0.4%	14.5%	11.1%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	18	0.3%	34.1%	4.9%
その他		551	10.4%	－	－
総 額		5,289	100.0%	22.1%	14.4%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（＋25.4%）、化粧品（＋0.6%）等
寄与度（減少分）：建設用・鉱山用機械（▲0.6%）、コンデンサー（▲0.6%）等

図表2-4-4 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)

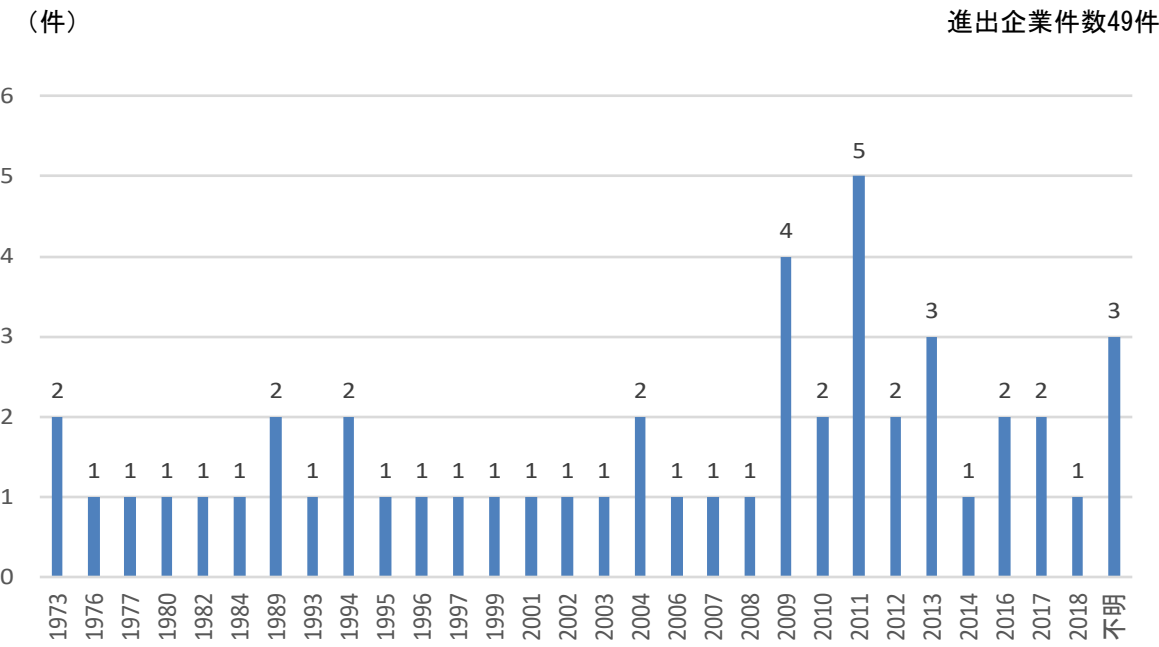


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	156.66	83.46%	11.8%	66.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	5.33	2.84%	▲1.5%	24.8%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	0.47	0.25%	▲83.4%	82.1%
無機化合物	元素及び化合物	0.21	0.11%	—	32.7%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.11	0.06%	40.5%	1.9%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.08	0.04%	15.9%	2.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.05	0.03%	▲48.1%	1.2%
時計及び部分品	精密機器類	0.03	0.02%	149.4%	0.1%
電気計測機器	電気機器	0.03	0.01%	68.9%	0.6%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	0.02	0.01%	—	0.6%
その他		24.72	13.17%	—	—
総 額		187.71	100.00%	3.4%	8.3%

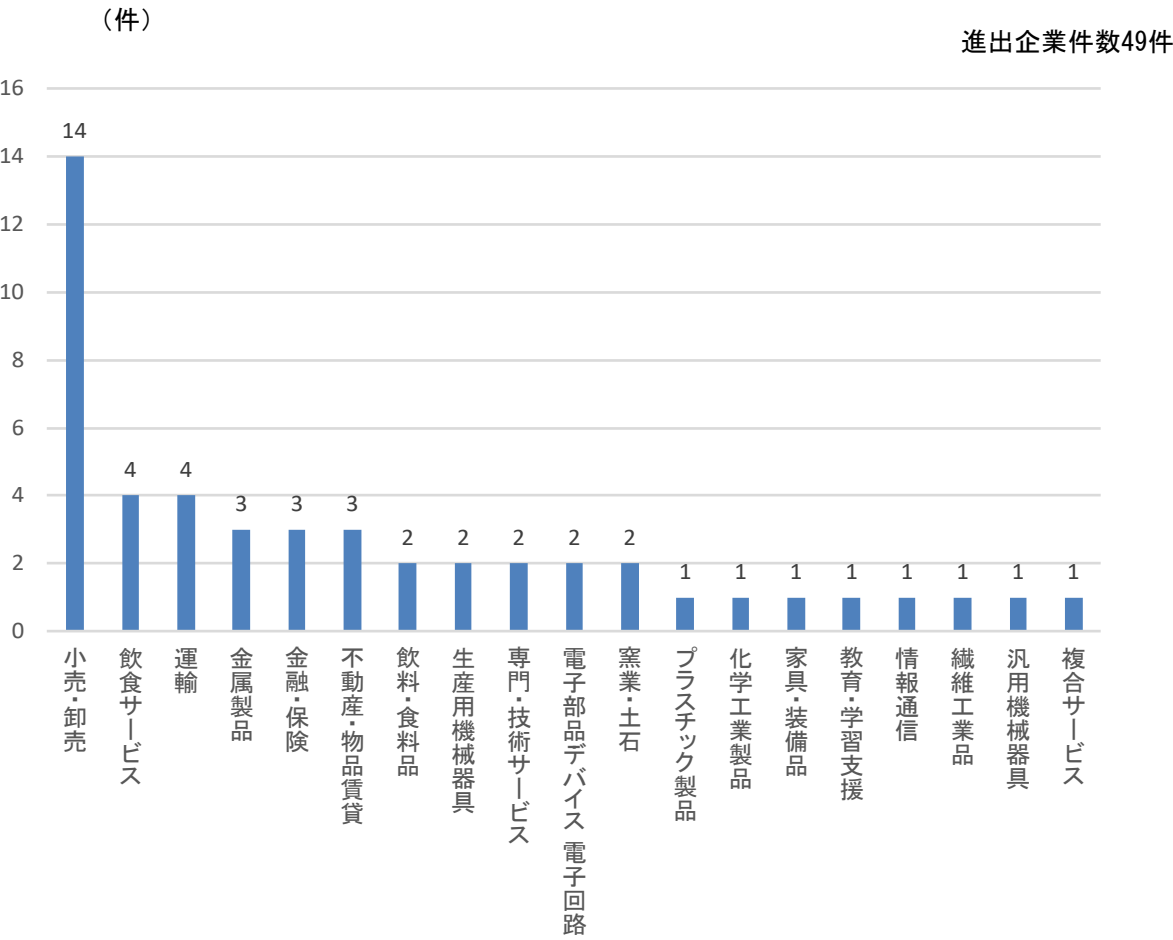
寄与度（増加分）：魚介類（+9.1%）、がん具及び遊戯用具（+0.02%）等
寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲1.3%）、非鉄卑金属くず（▲0.05%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-4-5 九州企業の香港進出件数の推移



図表2-4-6 九州企業の香港進出件数（業種別）



図表2-4-5, 6出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

5. ベトナムとの貿易

5-1 ベトナムの経済概況

面 積	32万9,241km ²
人 口	約9,467万人(2018年、越統計総局)
首 都	ハノイ
民 族	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言 語	ベトナム語
宗 教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政 体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業(GDPに占める割合14.57%)、鉱工業・建築業(34.28%)、サービス業(41.17%)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-5-1 ベトナムのマクロ経済

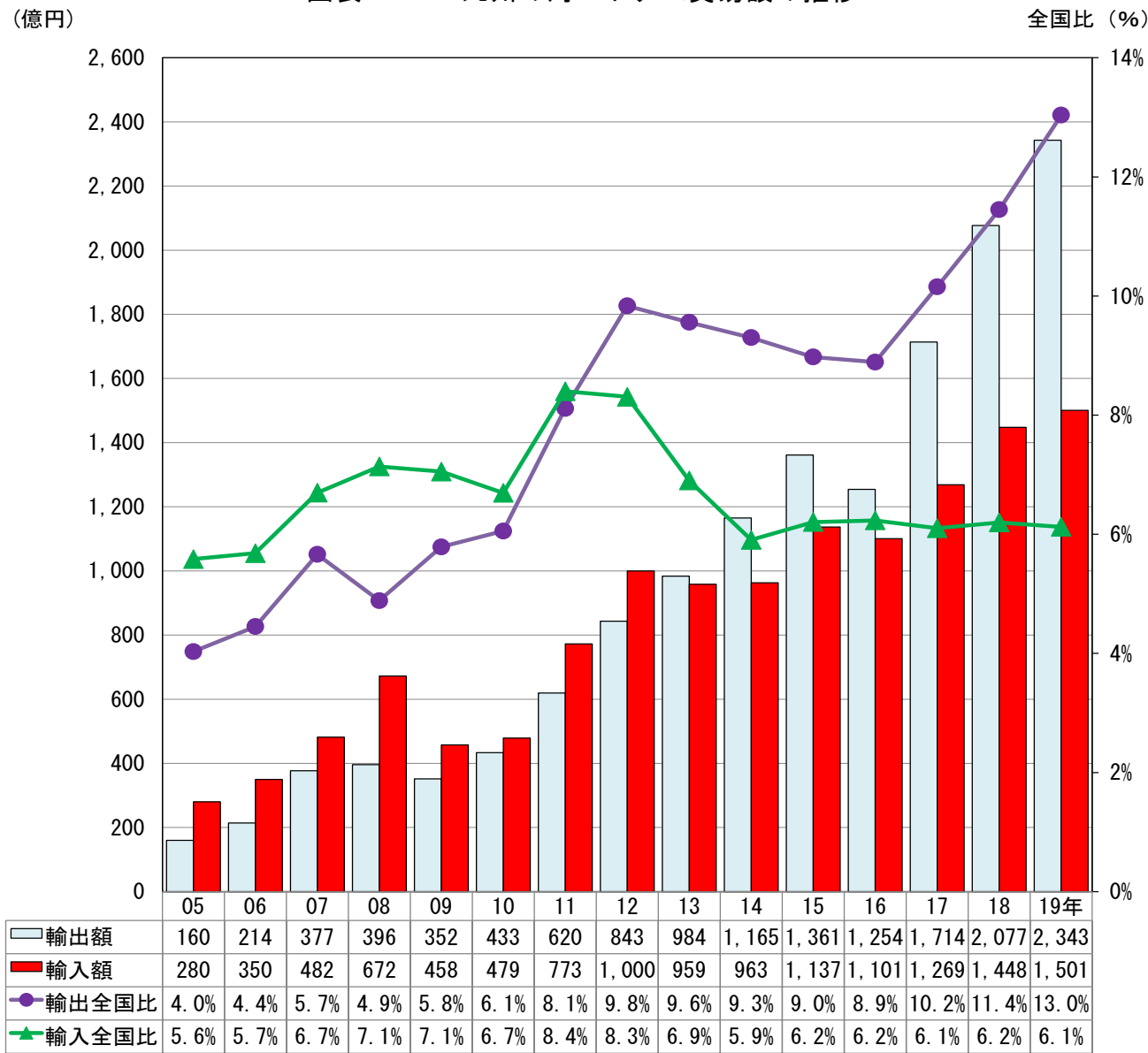
	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.0	6.7	6.9	7.1	7.0
名目GDP総額	億ドル	1,932	2,053	2,238	2,452	- *
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,109	2,215	2,389	2,590	2,715 *
輸出額	億ドル	1,620	1,766	2,151	2,437	2,643
	前年比(%)	7.9	9.0	21.8	13.3	8.4
輸入額	億ドル	1,656	1,748	2,130	2,369	2,539
	前年比(%)	12.0	5.6	21.9	11.2	7.2
貿易収支	億ドル	▲ 36	18	21	68	104
対日貿易収支	億ドル	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 2	- *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	9.8	7.4	9.5	10.2	9.1
失業率	(%)	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1
消費者物価	(%)	0.6	2.7	3.5	3.5	2.8
直接投資受入額	億ドル	241	269	371	364	- *
為替レート(1ドル)	ドン	21,677	21,932	22,370	22,602	23,050 *

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

5-2 ベトナムとの貿易動向

- 2019年の九州の対ベトナム貿易額
輸出総額：2,343億円（対前年+12.8%） → 3年連続のプラス
輸入総額：1,501億円（対前年+3.7%） → 3年連続のプラス
差引額：842億円（対前年+33.7%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、科学光学機器
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+11.8%）、電気回路等の機器（+1.9%）
〈寄与度↓〉銅及び同合金（▲2.2%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲0.4%）
- 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類
〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+0.4%）、パルプウッド等（+0.4%）
〈寄与度↓〉無機化合物（▲1.4%）、石炭（▲0.7%）

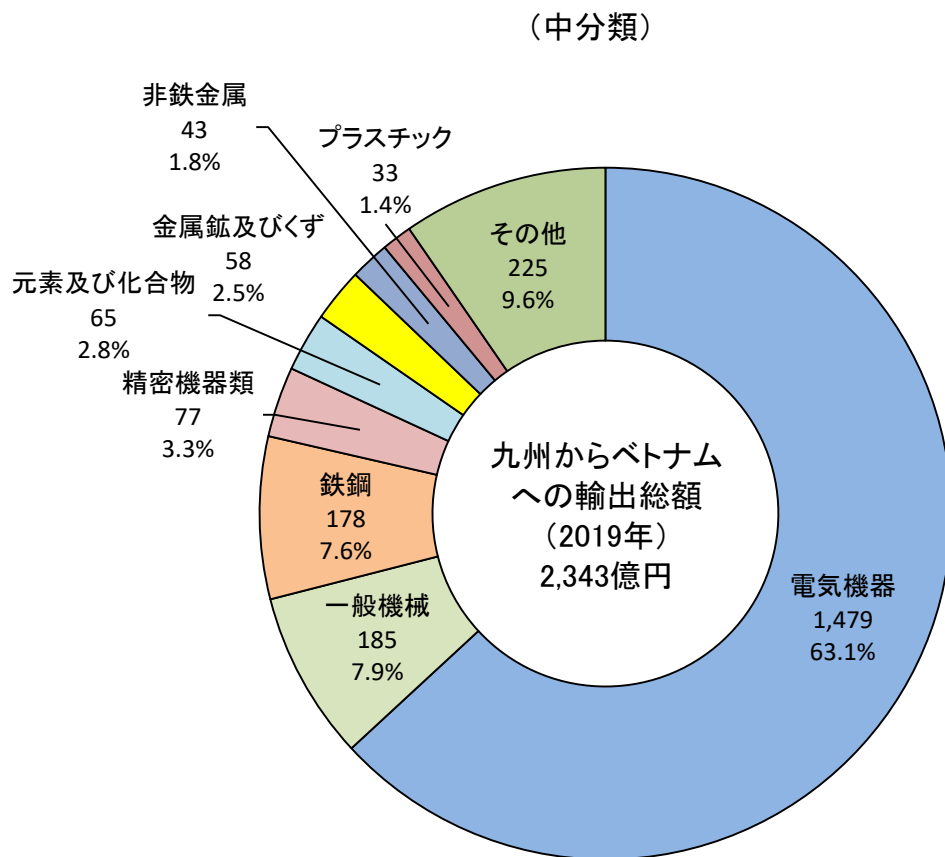
図表2-5-2 九州の対ベトナム貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-5-3 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,365	58.2%	22.0%	72.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	158	6.7%	▲5.0%	13.7%
科学光学機器	精密機器類	77	3.3%	25.2%	13.6%
電気回路等の機器	電気機器	70	3.0%	126.3%	6.7%
事務用機器	一般機械	65	2.8%	▲8.1%	9.5%
有機化合物	元素及び化合物	62	2.6%	12.4%	25.9%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	56	2.4%	24.9%	8.1%
銅及び同合金	非鉄金属	41	1.7%	▲52.4%	19.8%
荷役機械	一般機械	37	1.6%	▲16.3%	21.1%
魚介類	魚介類及び同調製品	27	1.2%	▲18.1%	17.7%
その他		384	16.4%	—	—
総 額		2,343	100%	12.8%	13.0%

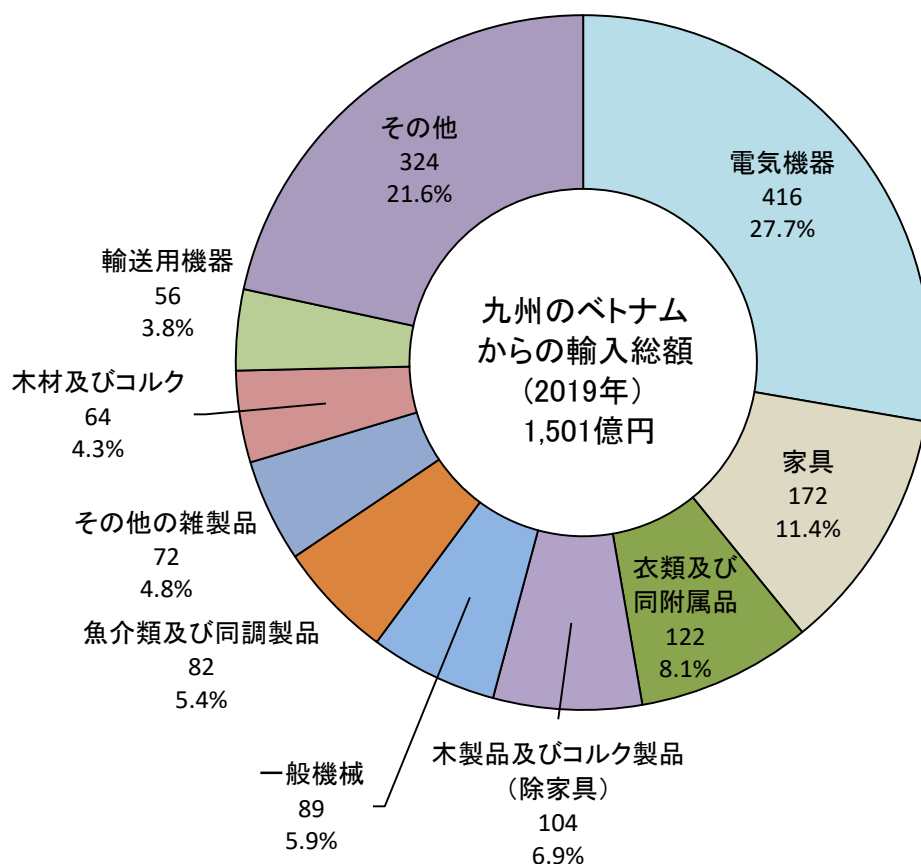
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+11.8%）、電気回路等の機器（+1.9%）等

寄与度（減少分）：銅及び同合金（▲2.2%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲0.4%）等

図表2-5-4 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

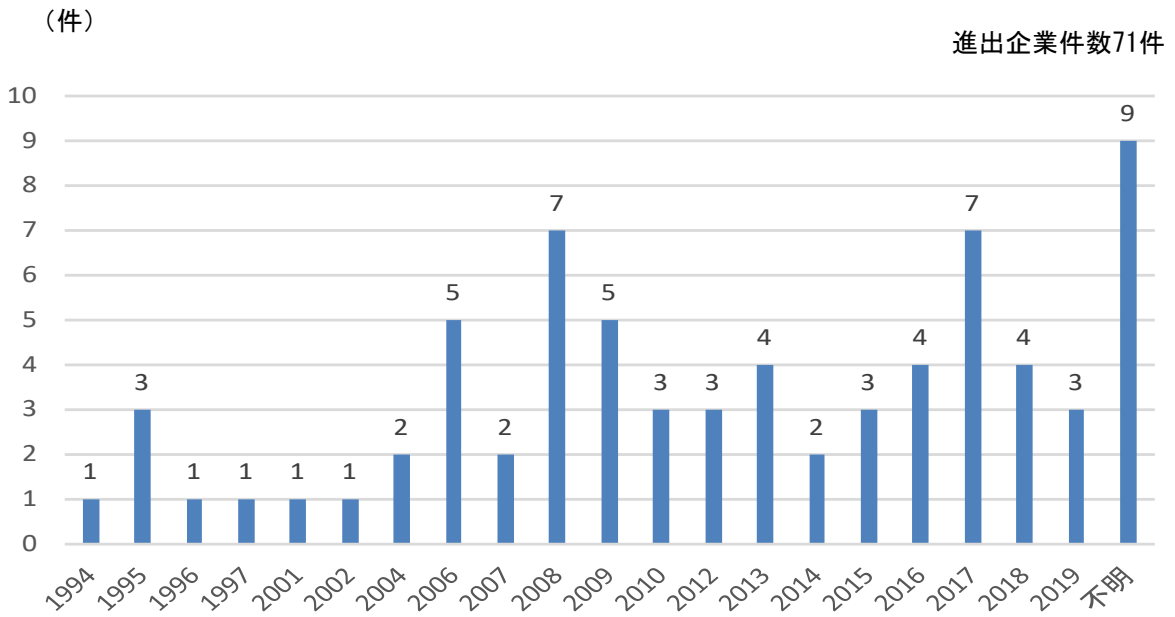


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	341	22.7%	1.8%	14.5%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	93	6.2%	6.7%	13.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	82	5.4%	6.7%	3.4%
プラスチック製品	その他の雑製品	56	3.7%	0.7%	7.5%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	43	2.9%	1.5%	7.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	2.6%	0.4%	6.3%
自動車の部分品	輸送用機器	37	2.5%	16.9%	7.0%
衣類	衣類及び同附属品	32	2.2%	1.4%	1.5%
原動機	一般機械	31	2.0%	▲2.5%	27.0%
合金鉄	鉄鋼	27	1.8%	▲17.2%	38.3%
その他		721	48.0%	—	—
総 額		1,501	100.0%	3.7%	6.1%

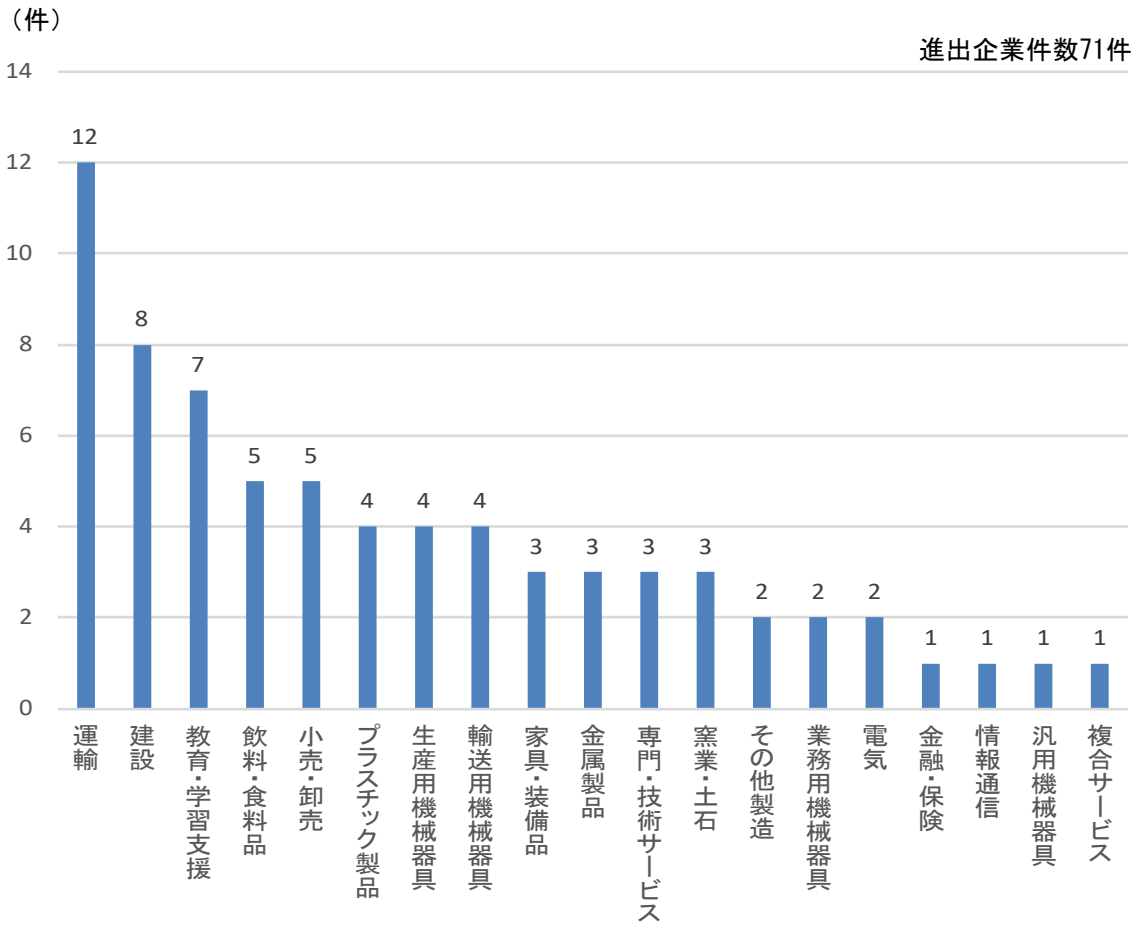
寄与度（増加分）：絶縁電線及び絶縁ケーブル（+0.4%）、パルプウッド等（+0.4%）等

寄与度（減少分）：無機化合物（▲1.4%）、石炭（▲0.7%）等

図表2-5-5 九州企業のベトナム進出件数の推移



図表2-5-6 九州企業のベトナム進出件数（業種別）



6. タイとの貿易

6-1 タイの経済概況

面 積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人 口	6,891万人(2017年)(タイ国勢調査)
首 都	バンコク
民 族	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言 語	タイ語
宗 教	仏教 94%、イスラム教 5%
政 体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

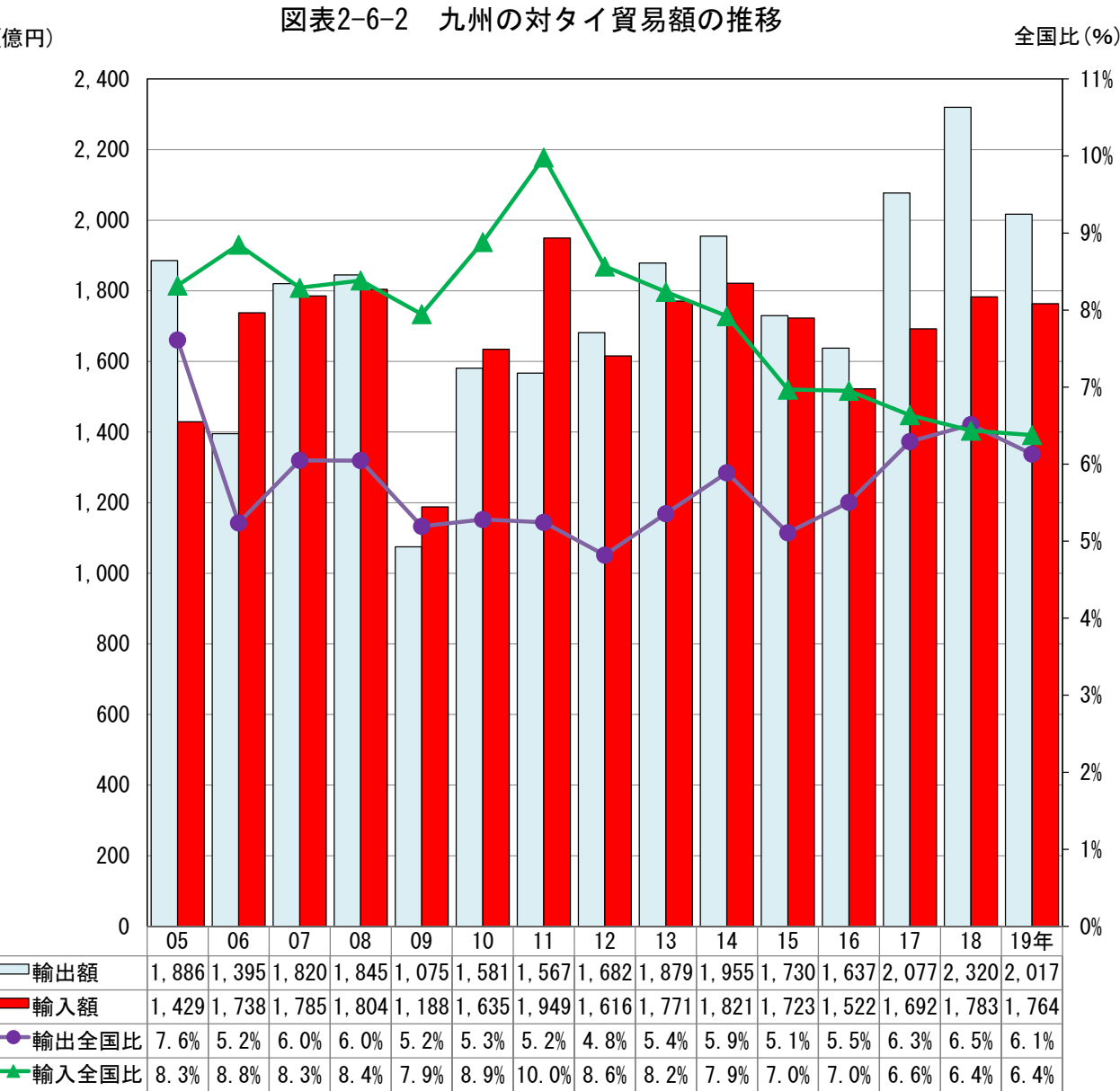
図表2-6-1 タイのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.1	3.4	4.0	4.2	2.4
名目GDP総額	10億ドル	401	412	455	505	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,831	5,970	6,591	6,992	—
輸出額	億ドル	2,143	2,154	2,366	2,530	2,462
	前年比(%)	▲ 5.8	0.5	9.9	6.9	▲ 2.7
輸入額	億ドル	2,027	1,942	2,215	2,482	2,366
	前年比(%)	▲ 11.0	▲ 4.2	14.1	12.0	▲ 4.7
貿易収支	億ドル	117	212	151	48	96
対日貿易収支	億ドル	▲ 112	▲ 102	▲ 100	▲ 103	▲ 87
製造業生産指数	前年比(%)	0.0	1.4	1.8	3.7	▲ 3.6
失業率	(%)	0.9	1.0	1.2	1.1	1.0
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	▲ 0.9	0.2	0.7	1.1	0.7
直接投資受入額	億ドル	86	31	82	132	85
為替レート(1ドル)	バーツ	34.25	35.30	33.94	32.31	31.05
為替レート(1バーツ)	円	3.53	3.08	3.31	3.42	3.51

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

6-2 タイとの貿易動向

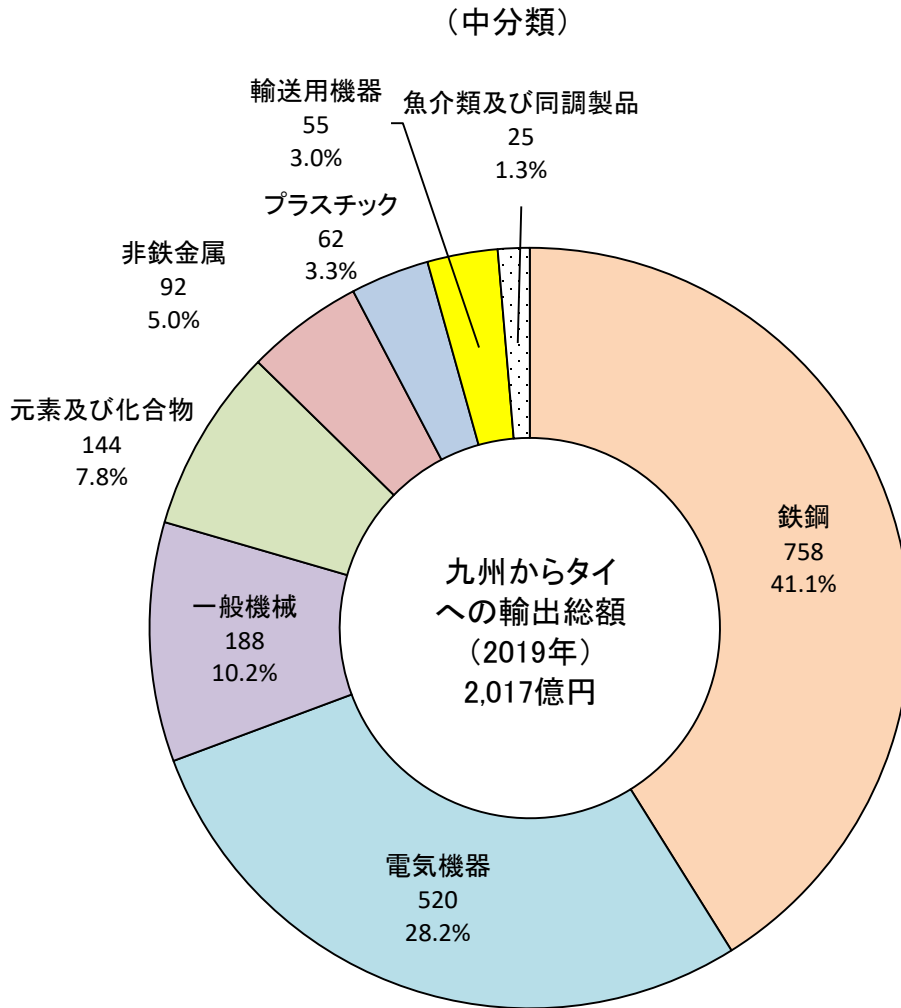
- 2019年の九州の対タイ貿易額
輸出総額：2,017億円（対前年▲13.0%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：1,764億円（対前年▲1.1%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：254億円（対前年▲52.7%）
- 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、
鉄鋼の棒・形鋼及び線
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+1.0%）、金属加工機械（+0.4%）
〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲7.3%）、音響・映像機器の部分品（▲1.3%）等
- 輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、天然ゴム、音響・映像機器（含む部品）
〈寄与度↑〉自動車の部分品（+1.0%）、二輪自動車類（+0.7%）
〈寄与度↓〉天然ゴム（▲1.6%）、パルプウッド（▲1.1%）



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-6-3 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比	全国比
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	572	28.3%	▲22.9%	19.6%
半導体等電子部品	電気機器	439	21.8%	5.4%	20.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	185	9.2%	▲4.4%	21.1%
有機化合物	元素及び化合物	135	6.7%	▲17.1%	30.9%
銅及び同合金	非鉄金属	76	3.8%	▲23.6%	9.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	27	1.4%	17.6%	13.6%
金属加工機械	一般機械	26	1.3%	49.9%	4.0%
魚介類	魚介類及び同調整品	24	1.2%	▲17.2%	13.1%
科学光学機器	精密機械類	21	1.0%	▲40.0%	3.0%
自動車	輸送用機器	20	1.0%	23.1%	3.4%
その他		492	24.4%	—	—
総 額		2,017	100.0%	▲13.0%	6.1%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+1.0%）、金属加工機械（+0.4%）

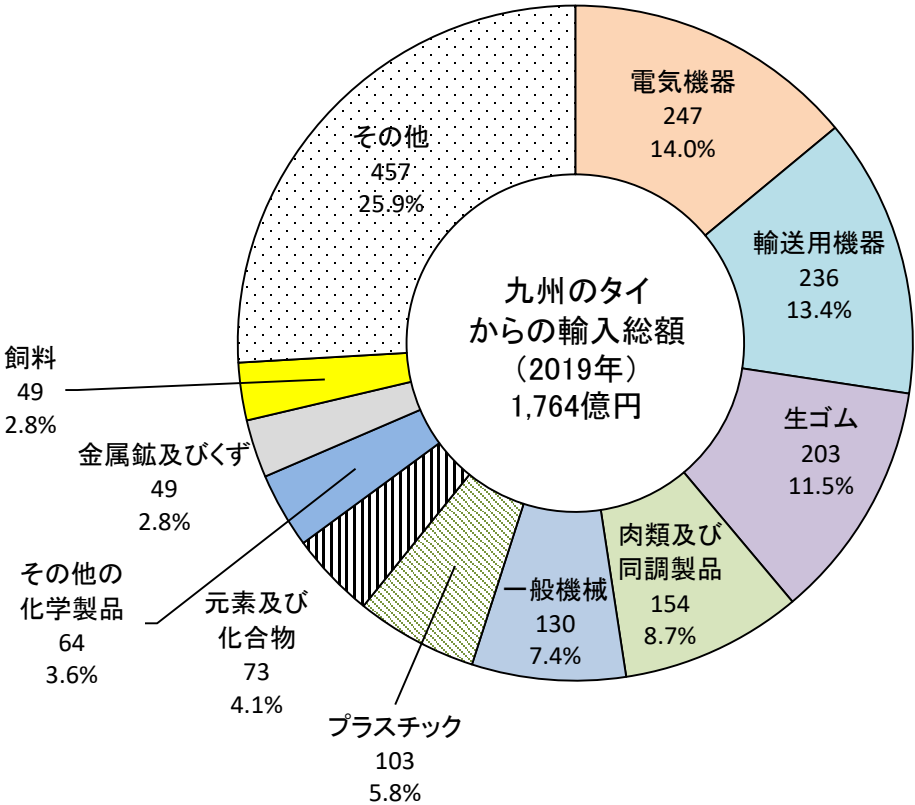
寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲7.3%）、音響・映像機器の部分品（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-6-4 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

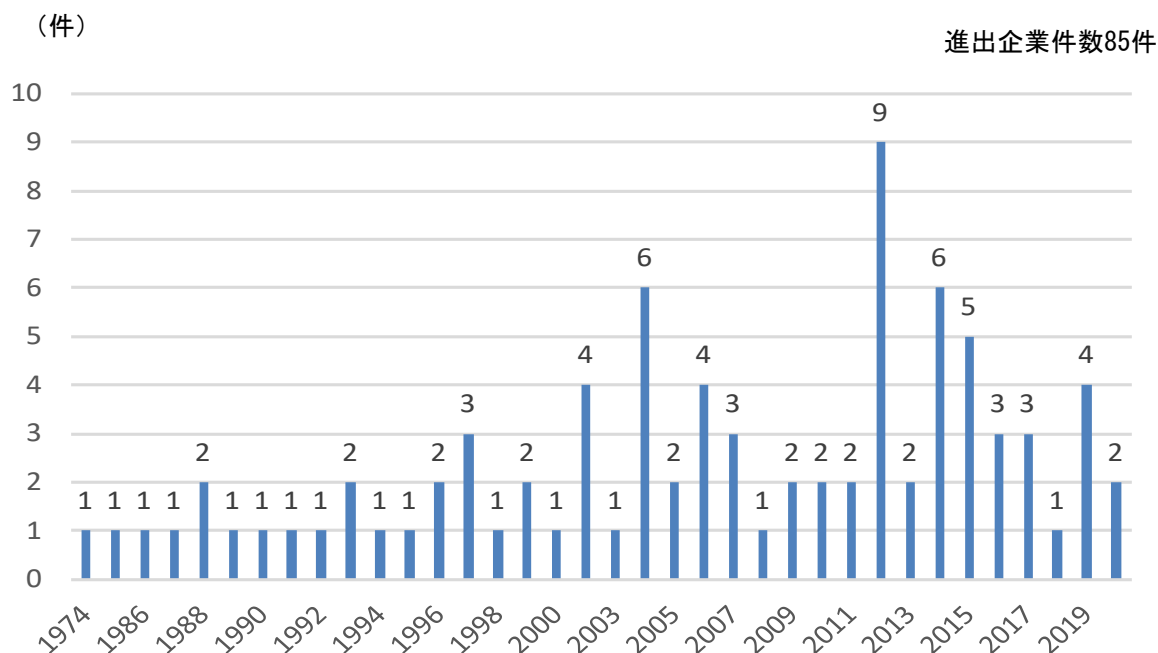


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比	全国比
自動車の部分品	輸送用機器	211	12.0%	9.6%	20.8%
天然ゴム	生ゴム	187	10.6%	▲13.0%	47.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	62	3.5%	▲6.3%	5.8%
無機化合物	元素及び化合物	49	2.8%	15.9%	33.4%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	42	2.4%	▲18.2%	9.8%
家庭用電気機器	電気機器	41	2.3%	35.1%	5.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	41	2.3%	15.6%	13.7%
電気計測機器	電気機器	36	2.0%	▲6.0%	8.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	35	2.0%	20.6%	5.8%
合成樹脂	プラスチック	34	1.9%	▲8.7%	7.2%
その他		1,026	58.2%	—	—
総 額		1,764	100.0%	▲1.1%	6.4%

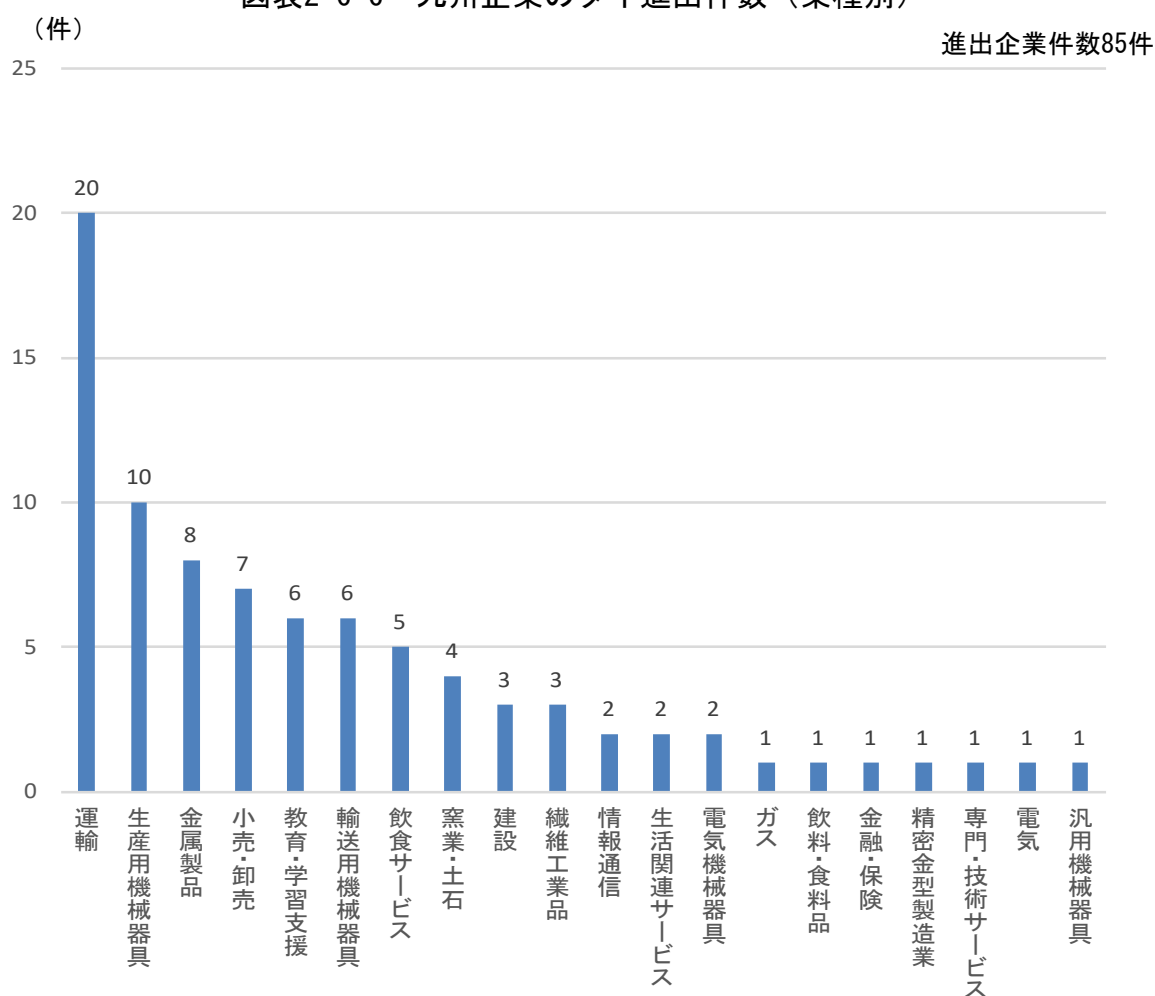
寄与度（増加分）：自動車の部分品（+1.0%）、二輪自動車類（+0.7%）等
寄与度（減少分）：天然ゴム（▲1.6%）、パルプウッド等（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-6-5 九州企業のタイ進出件数の推移



図表2-6-6 九州企業のタイ進出件数（業種別）



図表2-6-5, 6出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

7. シンガポールとの貿易

7-1 シンガポールの経済概況

面 積	約720km ² (東京23区と同程度)
人 口	約564万人(うちシンガポール人・永住者は399万人)(2019年1月)
民 族	中華系74%、マレー系14%、インド系9%、(2019年1月)
言 語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗 教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政 体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、 商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-7-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.0	3.2	4.3	3.4	0.7
名目GDP総額	10億ドル	308	318	338	364	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	55,647	56,828	60,922	66,174	65,233
輸出額	億ドル	3,577	3,380	3,729	4,120	3,904
	前年比(%)	▲ 13.8	▲ 5.5	10.3	10.5	▲ 5.2
輸入額	億ドル	3,080	2,919	3,274	3,708	3,590
	前年比(%)	▲ 18.5	▲ 5.2	12.1	13.3	▲ 3.2
貿易収支	億ドル	498	460	455	411	314
対日貿易収支	億ドル	▲ 33	▲ 47	▲ 33	▲ 22	— *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 5.1	3.7	10.4	7.0	▲ 1.4
失業率	(%)	1.9	2.1	2.2	2.1	2.3
消費者物価指数	前年比(%)	▲ 0.5	▲ 0.5	0.6	0.4	0.6
直接投資受入額	億ドル	698	736	948	820	— *
為替レート(1ドル)	Sドル	1.38	1.38	1.38	1.35	1.36
為替レート(1Sドル)	円	88.04	78.75	81.23	81.87	79.91

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト
「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

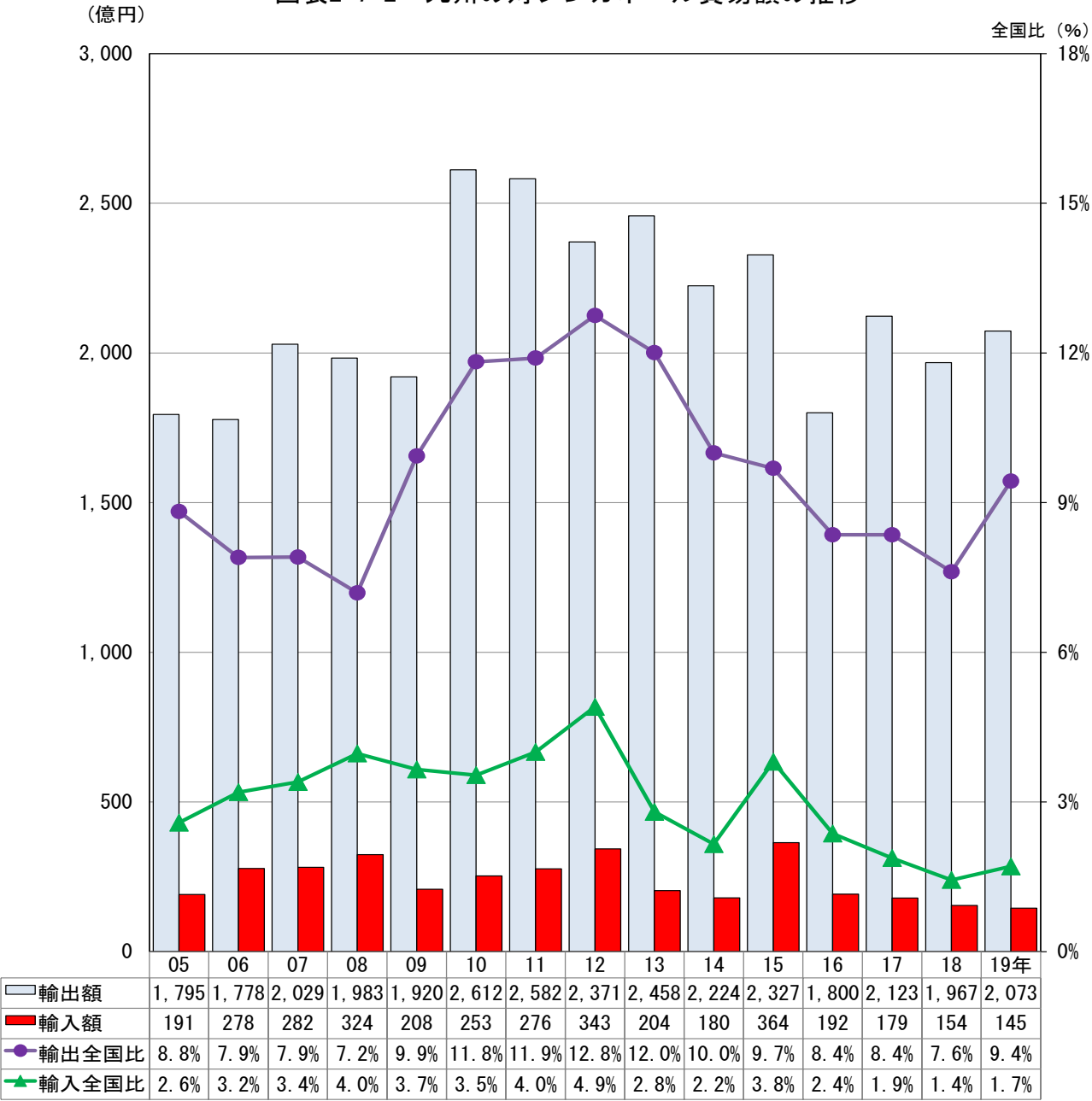
7-2 シンガポールとの貿易動向

●2019年の九州の対シンガポール貿易額
輸出総額：2, 0 7 3 億円（対前年+5. 4%） → 2年ぶりのプラス
輸入総額：1 4 5 億円（対前年▲5. 8%） → 4年連続のマイナス
差引額：1, 9 2 8 億円（対前年+6. 3%）

●輸出品目（輸出額多い順）船舶類、金（マネタリーゴールドを除く）、事務用機器
〈寄与度↑〉船舶類（+21. 9%）、音響・映像機器の部分品（+1. 7%）
〈寄与度↓〉映像機器（▲4. 1%）、事務用機器（▲1. 8%）

●輸入品目（輸入額多い順）有機化合物、科学光学機器、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉合成樹脂（+0. 6%）、電気回路等の機器（+0. 2%）
〈寄与度↓〉有機化合物（▲12. 4%）、合成ゴム（▲8. 6%）

図表2-7-2 九州の対シンガポール貿易額の推移

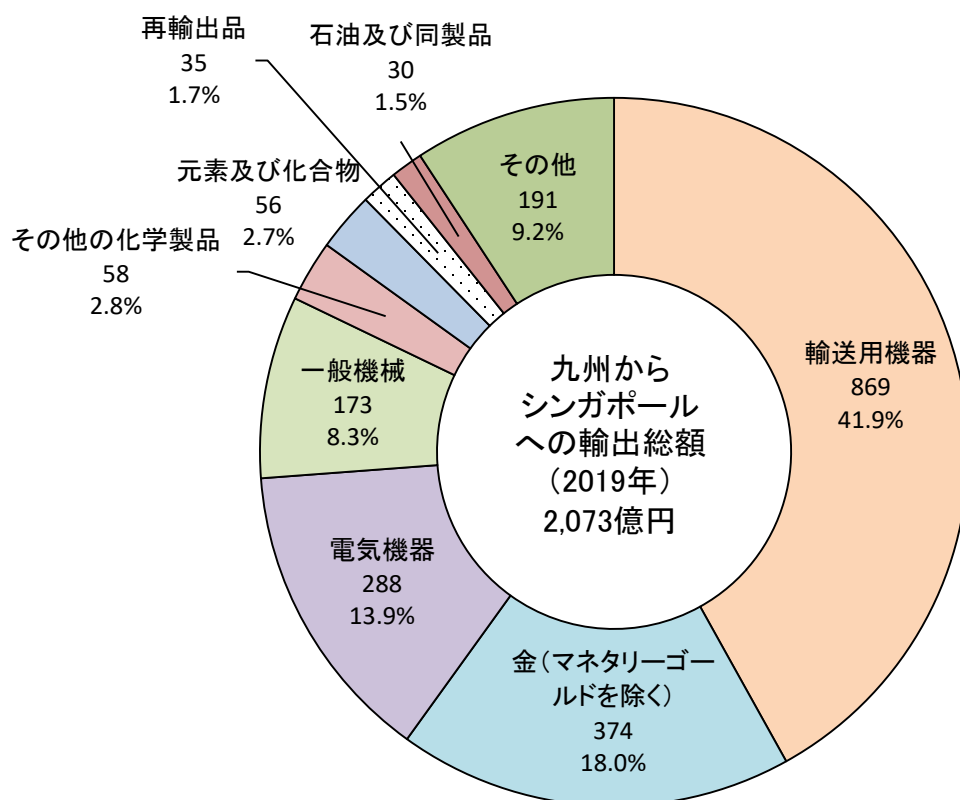


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-7-3 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
船舶類	輸送用機器	784	37.8%	121.9%	31.3%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	374	18.0%	▲5.4%	29.7%
事務用機器	一般機械	127	6.1%	▲21.8%	22.7%
映像機器	電気機器	108	5.2%	▲42.6%	64.3%
音響・映像機器の部分品	電気機器	78	3.7%	73.5%	79.8%
自動車	輸送用機器	76	3.6%	▲22.7%	8.2%
半導体等電子部品	電気機器	67	3.2%	▲18.7%	4.4%
有機化合物	元素及び化合物	52	2.5%	▲7.7%	19.5%
石油製品	石油及び同製品	30	1.5%	38.4%	3.8%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	22	1.1%	▲49.4%	58.8%
その他		356	17.2%	—	—
総 額		2,073	100%	5.4%	9.4%

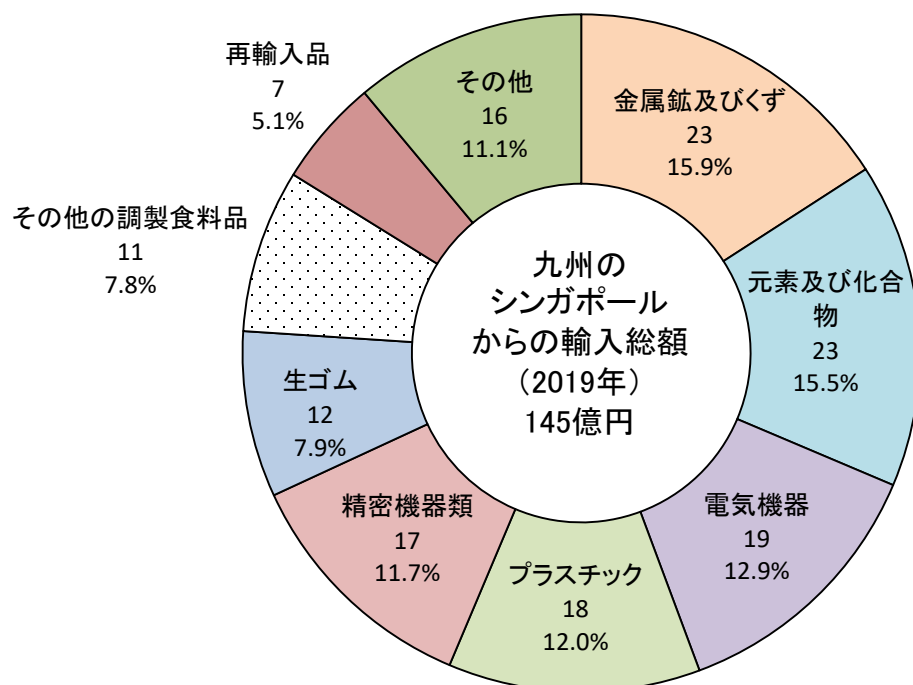
寄与度(増加分)：船舶類(+21.9%)、音響・映像機器の部分品(+1.7%)等

寄与度(減少分)：映像機器(▲4.1%)、事務用機器(▲1.8%)等

図表2-7-4 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

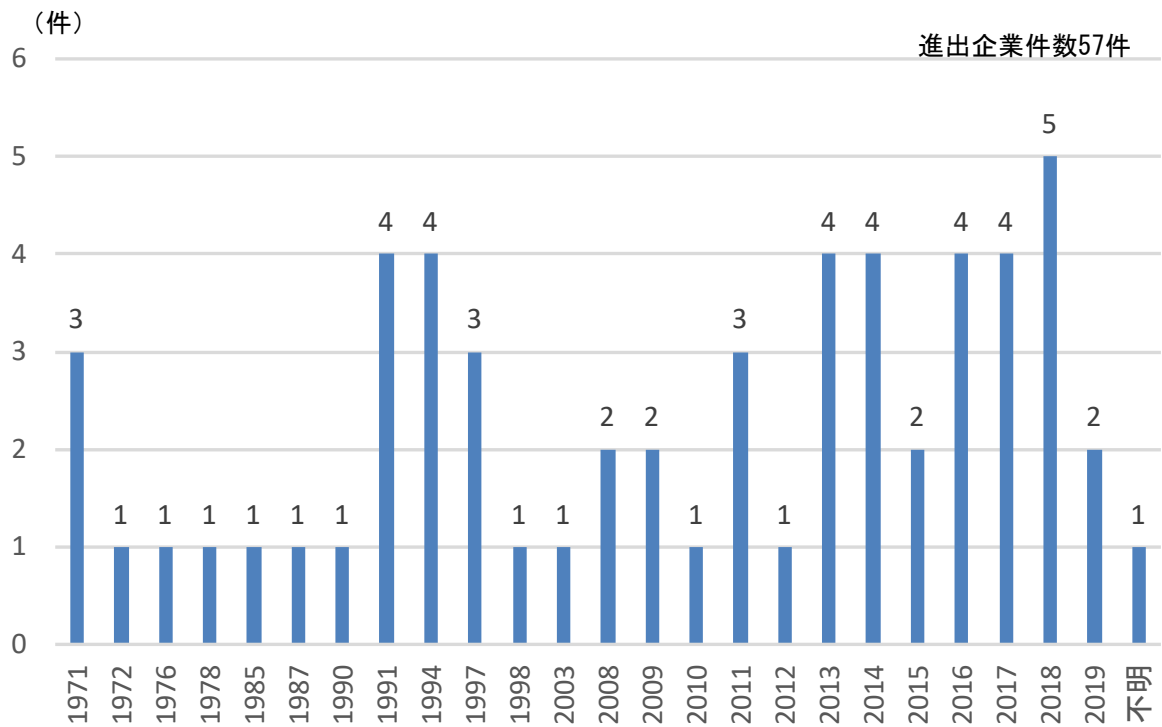


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
有機化合物	元素及び化合物	21	14.8%	▲10.6%	2.3%
科学光学機器	精密機器類	17	11.7%	▲12.0%	21.4%
半導体等電子部品	電気機器	17	11.6%	▲19.0%	1.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	14	9.6%	14.9%	5.3%
合成ゴム	生ゴム	12	7.9%	▲43.2%	1.0%
合成樹脂	プラスチック	8	5.3%	▲87.5%	0.8%
半導体等製造装置	一般機械	7	4.6%	▲20.1%	11.3%
ポリエチレン	プラスチック	3	1.8%	25.0%	5.2%
石油製品	石油及び同製品	2	1.2%	5.9%	0.5%
電気回路等の機器	電気機器	2	1.1%	▲16.4%	10.3%
その他		44	30.4%	—	—
総 額		145	100%	▲5.8%	1.7%

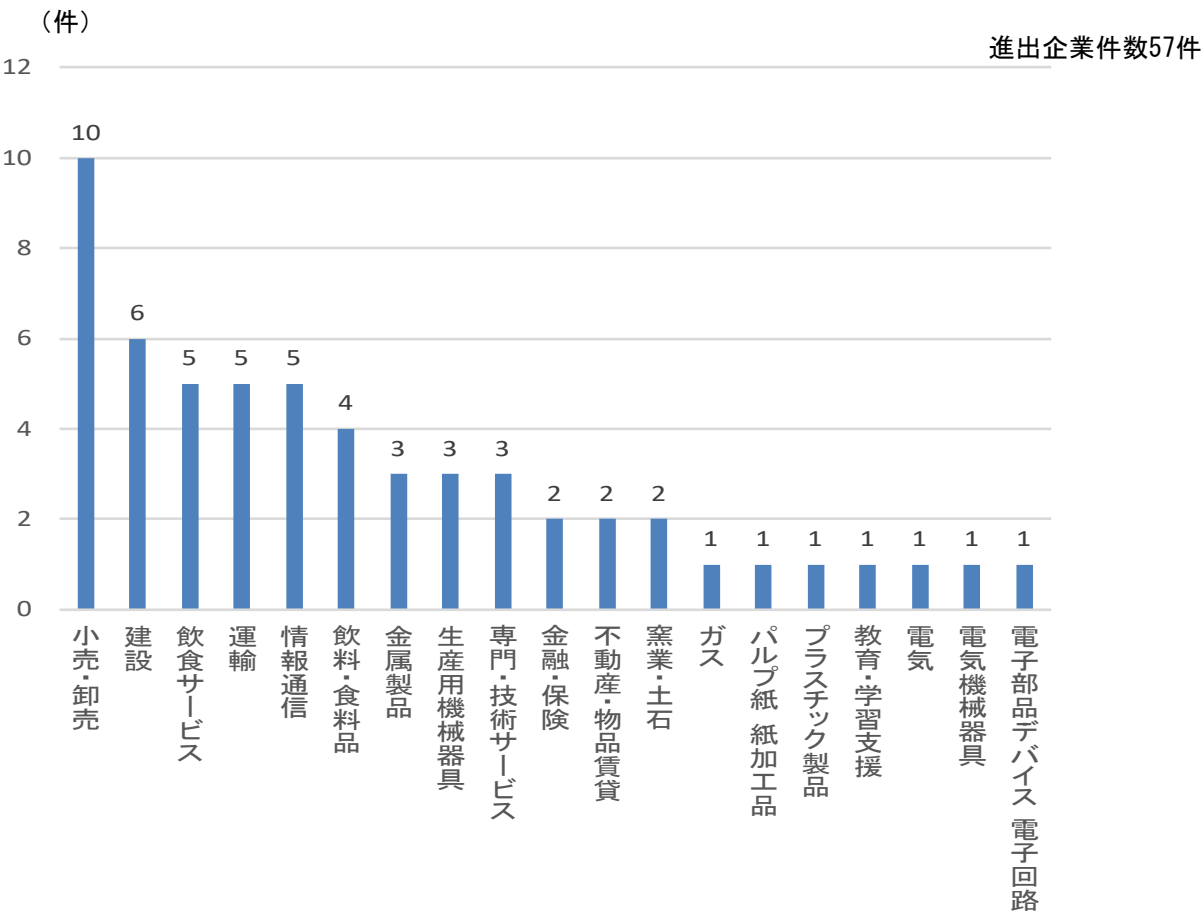
寄与度（増加分）：合成樹脂（＋0.6%）、電気回路等の機器（＋0.2%）等

寄与度（減少分）：有機化合物（▲12.4%）、合成ゴム（▲8.6%）等

図表2-7-5 九州企業のシンガポールへの進出件数の推移



図表2-7-6 九州企業のシンガポール進出件数（業種別）



図表2-7-5, 6出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

8. マレーシアとの貿易

8-1 マレーシアの経済概況

面 積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人 口	約3,200万人(2017年マレーシア統計局)
首 都	クアラルンプール
民 族	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注:マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言 語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗 教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政 体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

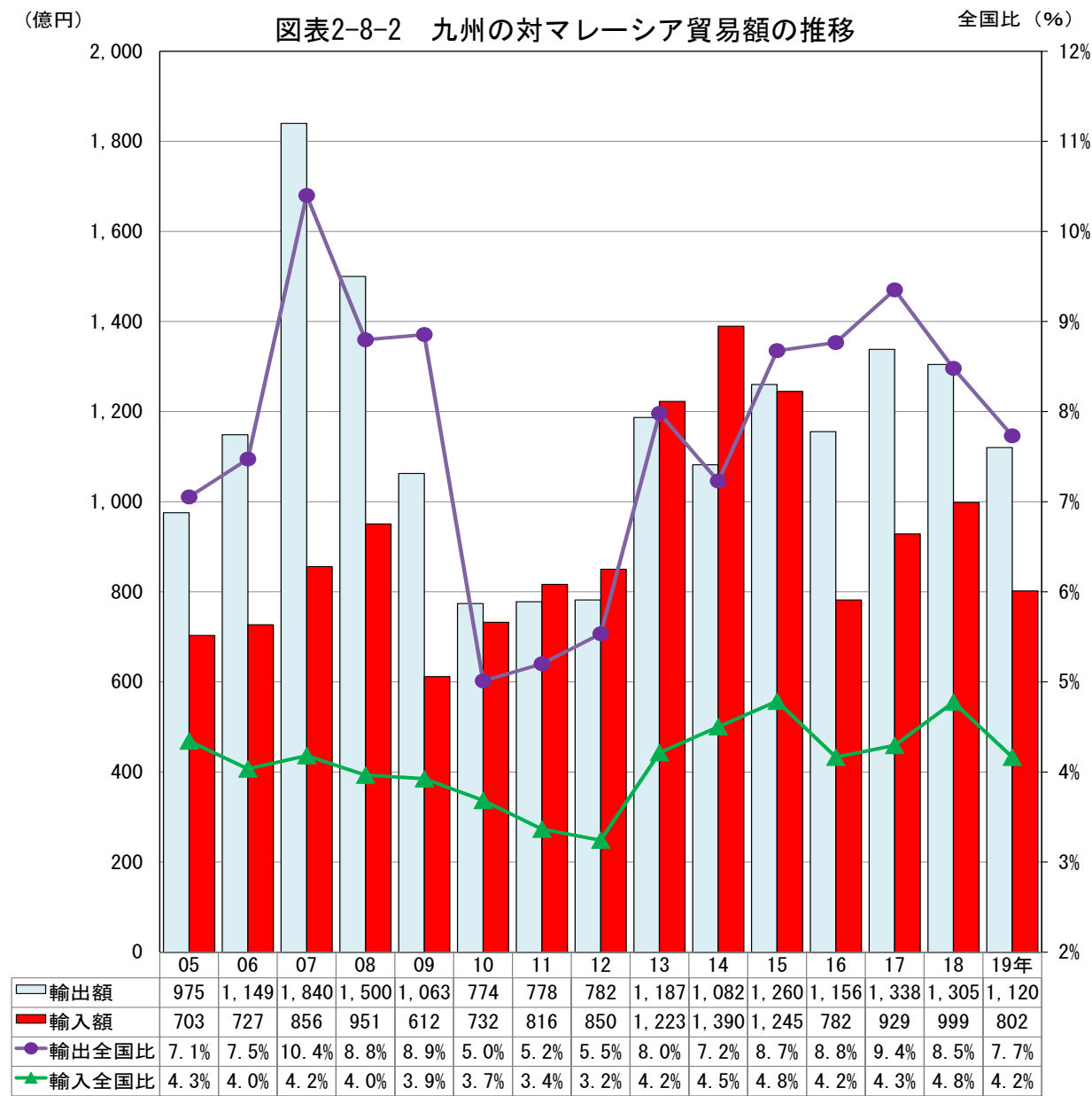
図表2-8-1 マレーシアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.1	4.4	5.7	4.7	4.3
名目GDP総額	10億ドル	297	297	320	359	365 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	9,667	9,540	9,965	11,080	11,198 *
輸出額	億ドル	1,991	1,900	2,175	2,489	2,382
	前年比(%)	▲ 14.9	▲ 4.6	14.5	14.4	▲ 4.3
輸入額	億ドル	1,757	1,688	1,946	2,182	2,051
	前年比(%)	▲ 15.9	▲ 3.9	15.3	12.1	▲ 6.0
貿易収支	億ドル	234	213	229	307	332
対日貿易収支	億ドル	49	16	28	14	4 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.7	4.1	4.4	3.0	2.4
失業率	(%)	3.2	3.5	3.4	3.3	3.3
消費者物価指数	前年比(%)	2.1	2.1	3.8	1.0	0.7
直接投資受入額	億ドル	92	105	100	79	80 *
為替レート(1ドル)	リンギ	3.91	4.15	4.30	4.04	4.14
為替レート(1リンギ)	円	30.99	26.23	26.08	27.37	26.32

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

8-2 マレーシアとの貿易動向

- 2019年の九州の対マレーシア貿易額
輸出総額：1, 120億円（対前年▲14.1%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：802億円（対前年+19.7%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：318億円（対前年▲42.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、自動車、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉船舶類（+2.6%）、鉄鋼くず（+0.9%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲5.7%）、金（マネタリーゴールドを除く）（▲3.1%）
- 輸入品目（輸入額多い順）石油ガス類、音響・映像機器（除家具）、合板・ウッドパネル
〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+1.9%）、植物性原材料（+0.4%）
〈寄与度↓〉石油ガス類（▲15.3%）、合板・ウッドパネル（▲1.9%）

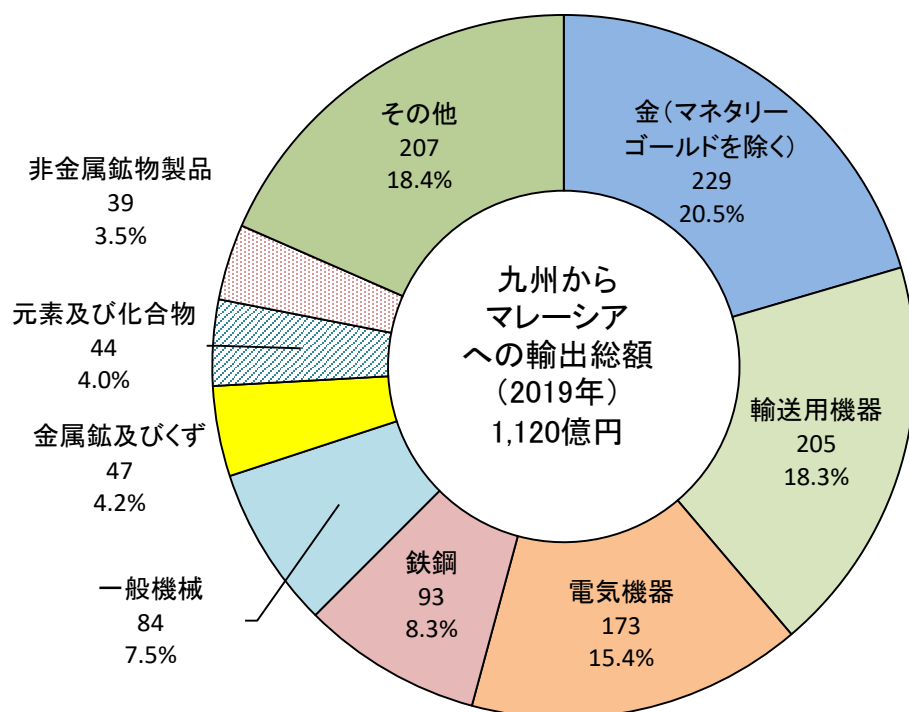


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-8-3 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	229	20.5%	▲6.7%	78.1%
自動車	輸送用機器	140	12.5%	▲20.4%	10.9%
半導体等電子部品	電気機器	138	12.3%	208.1%	13.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	91	8.1%	8.3%	15.5%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	38	3.4%	386.9%	12.8%
船舶類	輸送用機器	34	3.0%	▲20.1%	5.1%
石油製品	石油及び同製品	29	2.6%	23.7%	27.3%
無機化合物	元素及び化合物	28	2.5%	3.0%	24.0%
自動車の部分品	輸送用機器	28	2.5%	▲6.1%	17.5%
原動機	一般機械	25	2.2%	▲0.9%	8.0%
その他		340	30.3%	—	—
総 額		1,120	100.0%	▲14.1%	7.7%

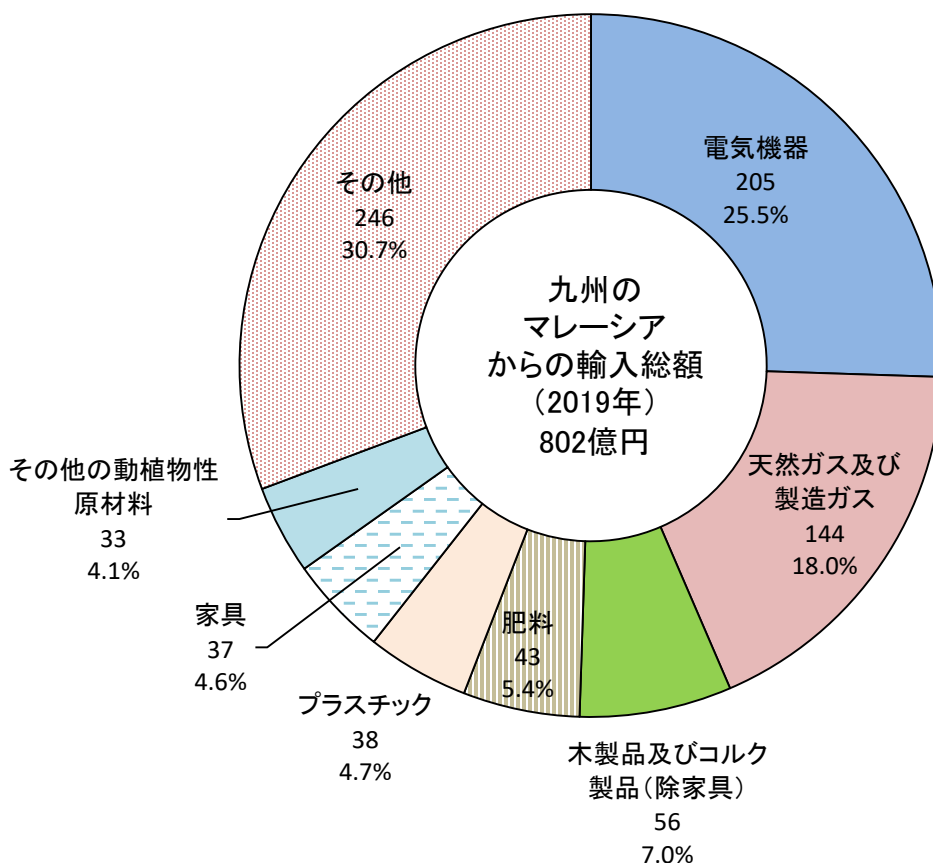
寄与度(増加分)：船舶類(+2.6%)、鉄鋼くず(+0.9%)等

寄与度(減少分)：半導体等電子部品(▲5.7%)、金(マネタリーゴールドを除く)(▲3.1%)等

図表2-8-4 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

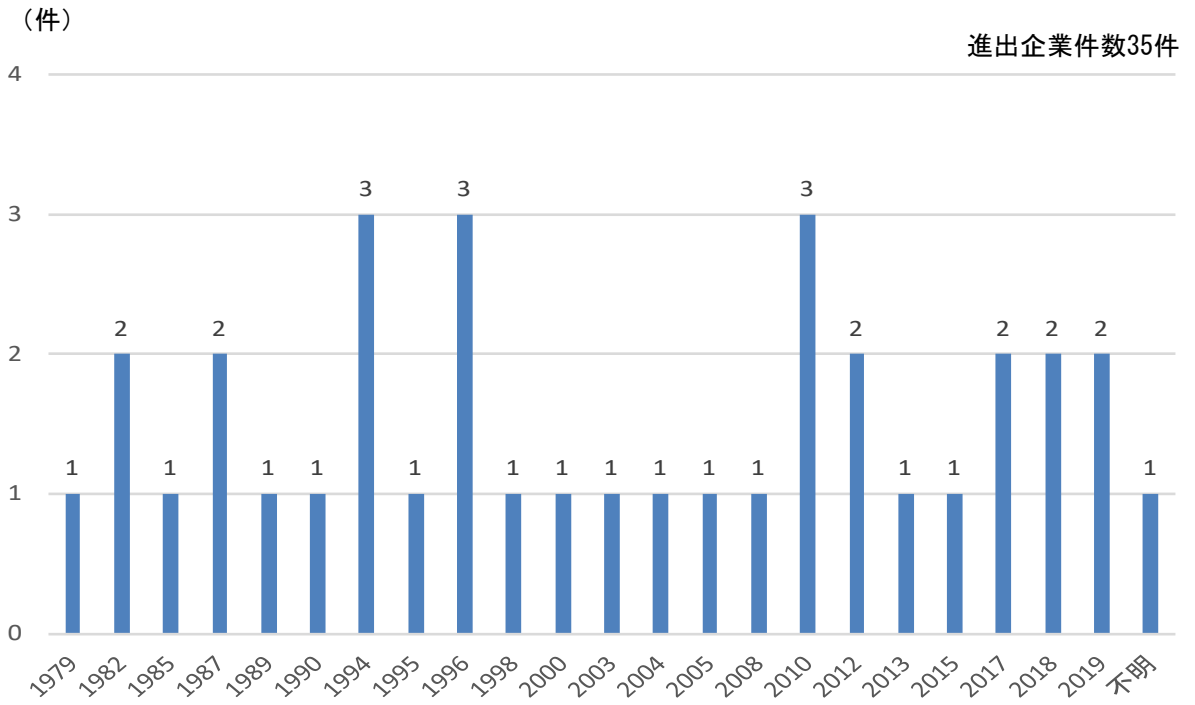


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	144	18.0%	▲6.8%	4.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	81	10.1%	11.7%	9.3%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	47	5.8%	37.8%	6.4%
半導体等電子部品	電気機器	36	4.4%	36.5%	3.3%
通信機	電気機器	34	4.3%	▲4.7%	5.4%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	33	4.1%	▲7.7%	9.0%
科学光学機器	精密機器類	26	3.2%	20.3%	22.1%
合金鉄	鉄鋼	22	2.7%	124.7%	11.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	20	2.5%	111.4%	10.5%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	17	2.1%	▲16.8%	30.7%
その他		343	42.7%	—	—
総 額		802	100.0%	▲19.7%	4.2%

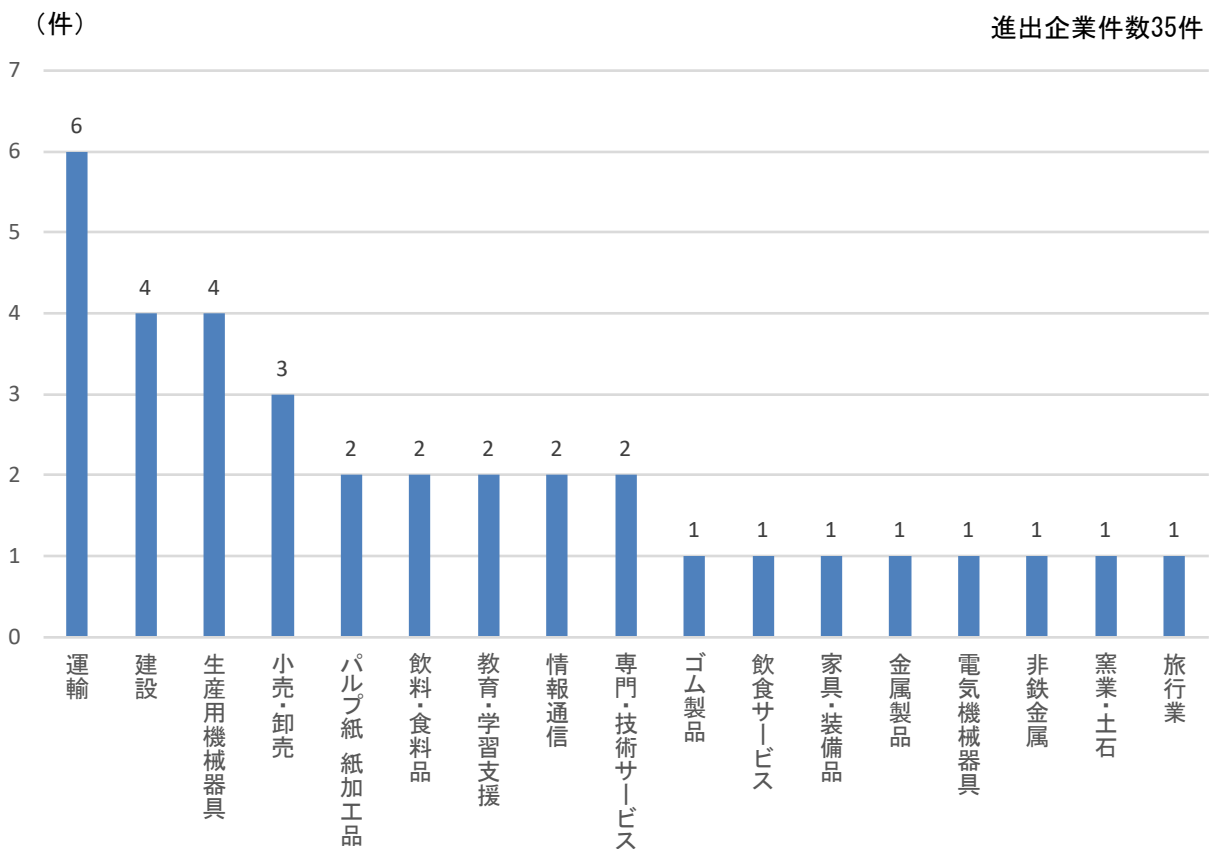
寄与度(増加分)：音響・映像機器(含部品)(+1.9%)、植物性原材料(+0.4%)等

寄与度(減少分)：石油ガス類(▲15.3%)、合板・ウッドパネル(▲1.9%)等

図表2-8-5 九州企業のマレーシア進出件数の推移



図表2-8-6 九州企業のマレーシア進出件数（業種別）



9. フィリピンとの貿易

9-1 フィリピンの経済概況

面積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
民族	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政体	立憲共和制
主要産業	農林水産業(全就業人口の22%が従事)(2019年1月) 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含めたサービス業が大きく成長(全就業人口の約58%が従事)(2019年1月)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-9-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.1	6.9	6.7	6.2	5.9
名目GDP総額	10億ドル	293	305	314	331	360*
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,863	2,924	2,976	3,104	3,294*
輸出額	億ドル	588	574	687	693	703
	前年比(%)	▲ 5.3	▲ 2.4	19.7	0.9	1.5
輸入額	億ドル	711	841	961	1,128	1,074
	前年比(%)	8.7	18.3	14.2	17.4	▲ 4.8
貿易収支	億ドル	▲ 122	▲ 267	▲ 274	▲ 435	▲ 370
対日貿易収支	億ドル	53	21	▲ 3	▲ 5	5*
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 4.4	6.6	▲ 1.4	8.2	▲ 7.0
失業率	(%)	6.3	5.5	5.7	5.3	5.1
消費者物価指数	前年比(%)	0.7	1.3	2.9	5.2	2.5
直接投資受入額	億ドル	54	46	21	34	76*
為替レート(1ドル)	ペソ	45.50	47.49	50.40	52.66	51.80
為替レート(1ペソ)	円	2.66	2.29	2.23	2.10	2.11

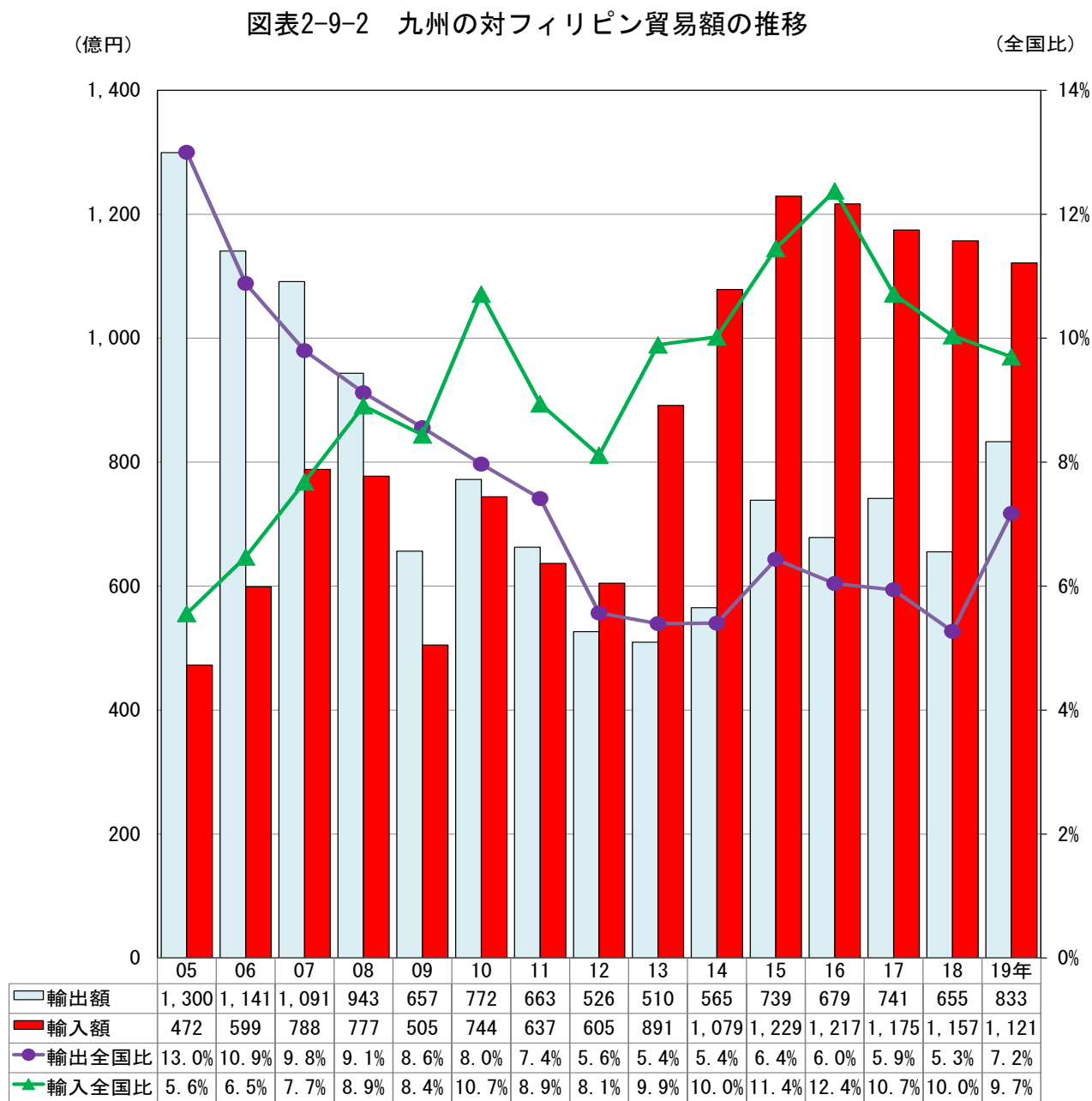
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

9-2 フィリピンとの貿易動向

●2019年の九州の対フィリピン貿易額
輸出総額： 833億円（対前年+27.1%） → 2年ぶりのプラス
輸入総額： 1,121億円（対前年▲3.1%） → 4年連続のマイナス
差引額： ▲288億円（対前年▲42.5%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+18.8%）、船舶類（+12.0%）
〈寄与度↓〉建設用・鉱山用機械（▲2.0%）、織物用糸（▲1.7%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実
〈寄与度↑〉通信機（+3.2%）、半導体等電子部品（+0.3%）
〈寄与度↓〉非鉄金属鉱（▲2.8%）、自動車の部分品（▲1.9%）

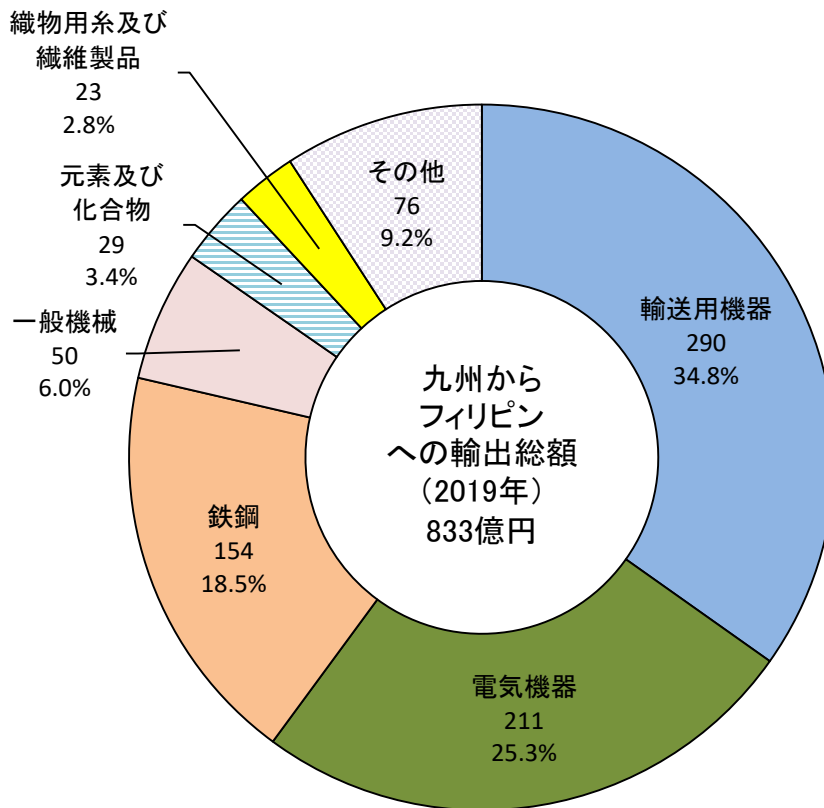


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-9-3 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	180	21.6%	20.6%	12.0%
半導体等電子部品	電気機器	170	20.4%	266.1%	18.5%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	148	17.7%	▲4.5%	34.0%
船舶類	輸送用機器	100	12.0%	371.7%	60.7%
有機化合物	元素及び化合物	23	2.8%	▲17.2%	12.0%
荷役機械	一般機械	22	2.6%	57.4%	15.2%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	19	2.3%	▲36.6%	78.1%
セメント	非金属鉱物製品	15	1.8%	3.0%	62.2%
重電機器	電気機器	9	1.1%	47.8%	5.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	9	1.1%	▲58.7%	4.6%
その他		139	16.7%	—	—
総 額		833	100.0%	27.1%	7.2%

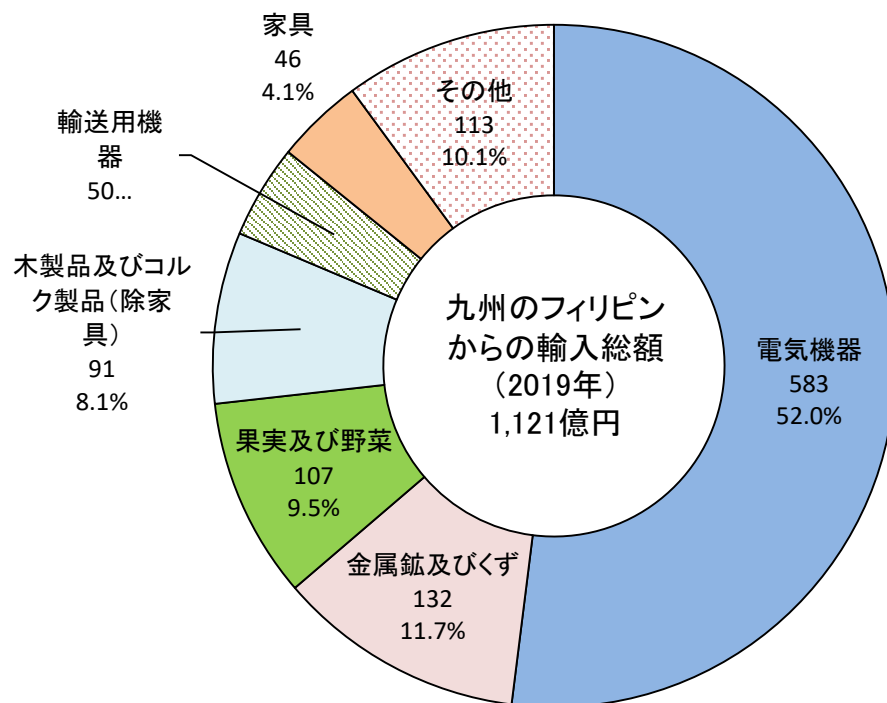
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+18.8%）、船舶類（+12.0%）等

寄与度（減少分）：建設用・鉱山用機械（▲2.0%）、織物用糸（▲1.7%）等

図表2-9-4 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

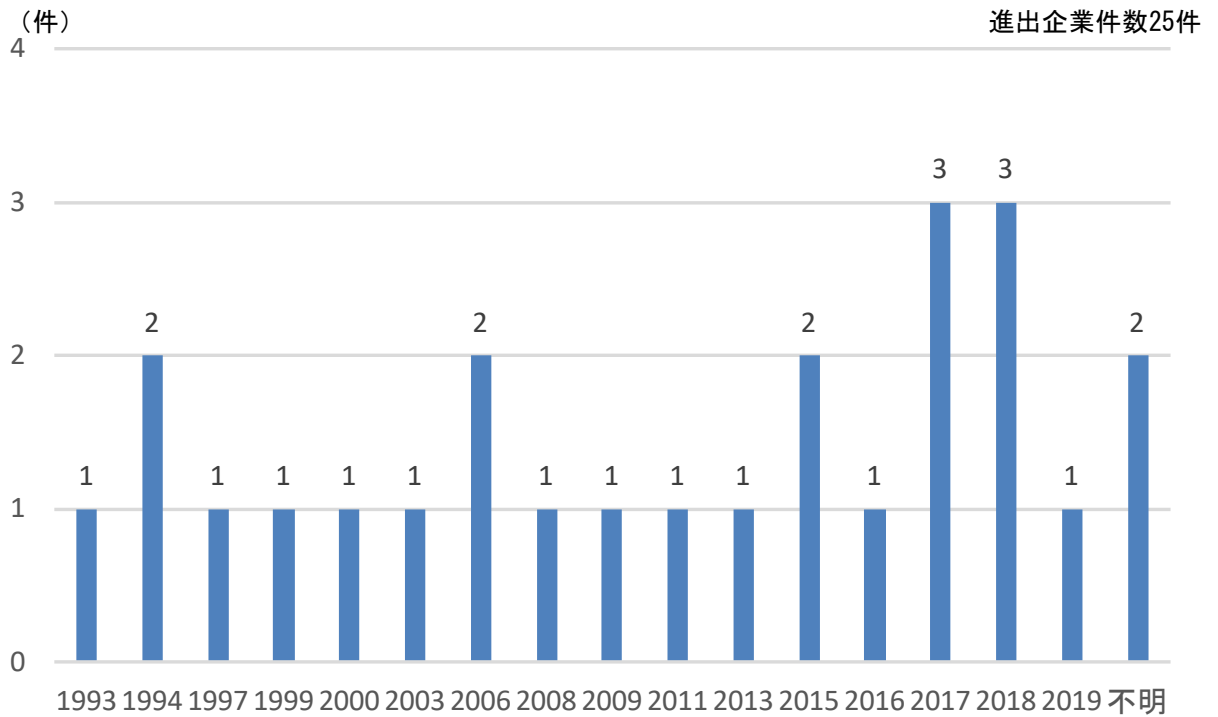


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	365	32.5%	▲0.4%	26.4%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	108	9.7%	▲22.9%	10.1%
果実	果実及び野菜	107	9.5%	▲1.9%	10.3%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品(除家具)	89	7.9%	▲0.5%	8.6%
通信機	電気機器	66	5.9%	125.4%	13.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	49	4.4%	▲28.5%	14.7%
自動車の部分品	輸送用機器	43	3.8%	▲34.3%	21.0%
半導体等電子部品	電気機器	41	3.7%	9.7%	5.3%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	33	3.0%	▲10.5%	22.4%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	21	1.9%	▲19.8%	21.7%
その他		200	17.8%	—	—
総 額		1,121	100.0%	▲3.1%	9.7%

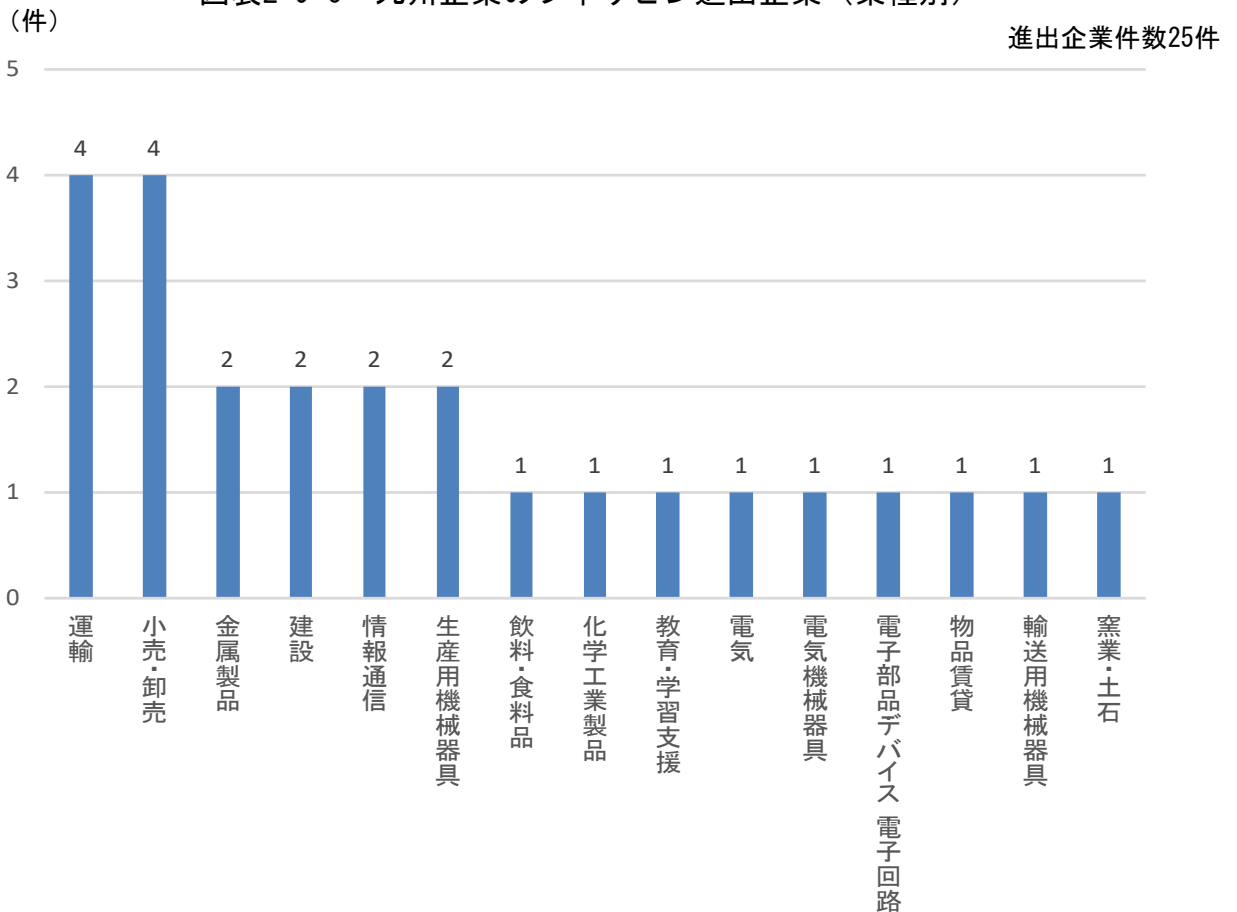
寄与度(増加分)：通信機(+3.2%)、半導体等電子部品(+0.3%)等

寄与度(減少分)：非鉄金属鉱(▲2.8%)、自動車の部分品(▲1.9%)等

図表2-9-5 九州企業のフィリピンへ進出件数の推移



図表2-9-6 九州企業のフィリピン進出企業（業種別）



10. インドネシアとの貿易

10-1 インドネシアの経済概況

面積	約192万km ² (日本の約5倍)
人口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
民族	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、 ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2016年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.9%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(12.8%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(15.8%) 鉱業(8.1%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.5%)、運輸・通信(9.1%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2018年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-10-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.9	5.0	5.1	5.2	5.0
名目GDP総額	10億ドル	861	932	1,015	1,022	-*
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,371	3,604	3,876	3,871	-*
輸出額	億ドル	1,504	1,452	1,688	1,800	1,675
	前年比(%)	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3	6.6	▲ 7.0
輸入額	億ドル	1,427	1,357	1,570	1,887	1,707
	前年比(%)	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7	20.2	▲ 9.5
貿易収支	億ドル	77	95	118	▲ 87	▲ 32
対日貿易収支	億ドル	48	31	25	15	3*
製造業生産指数	前年比(%)	4.8	4.0	4.3	4.4	0.4
失業率	(%)	6.2	5.6	5.5	5.3	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	3.5	3.8	3.2	3.0
直接投資受入額	億ドル	293	290	322	293	-*
為替レート(1ドル)	ルピア	13,389.41	13,308.33	13,380.83	14,236.94	14,147.67
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.008	0.008	0.008	0.008

出所：出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)
*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)

10-2 インドネシアとの貿易動向

●2019年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額： 874億円（対前年▲9.6%） →3年ぶりのマイナス

輸入総額： 1,958億円（対前年▲29.6%） →2年ぶりのマイナス

差引額： ▲1,083億円（対前年▲24.5%）

●輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、荷役機械

〈寄与度↑〉荷役機械（+8.3%）、船舶類（+2.8%）

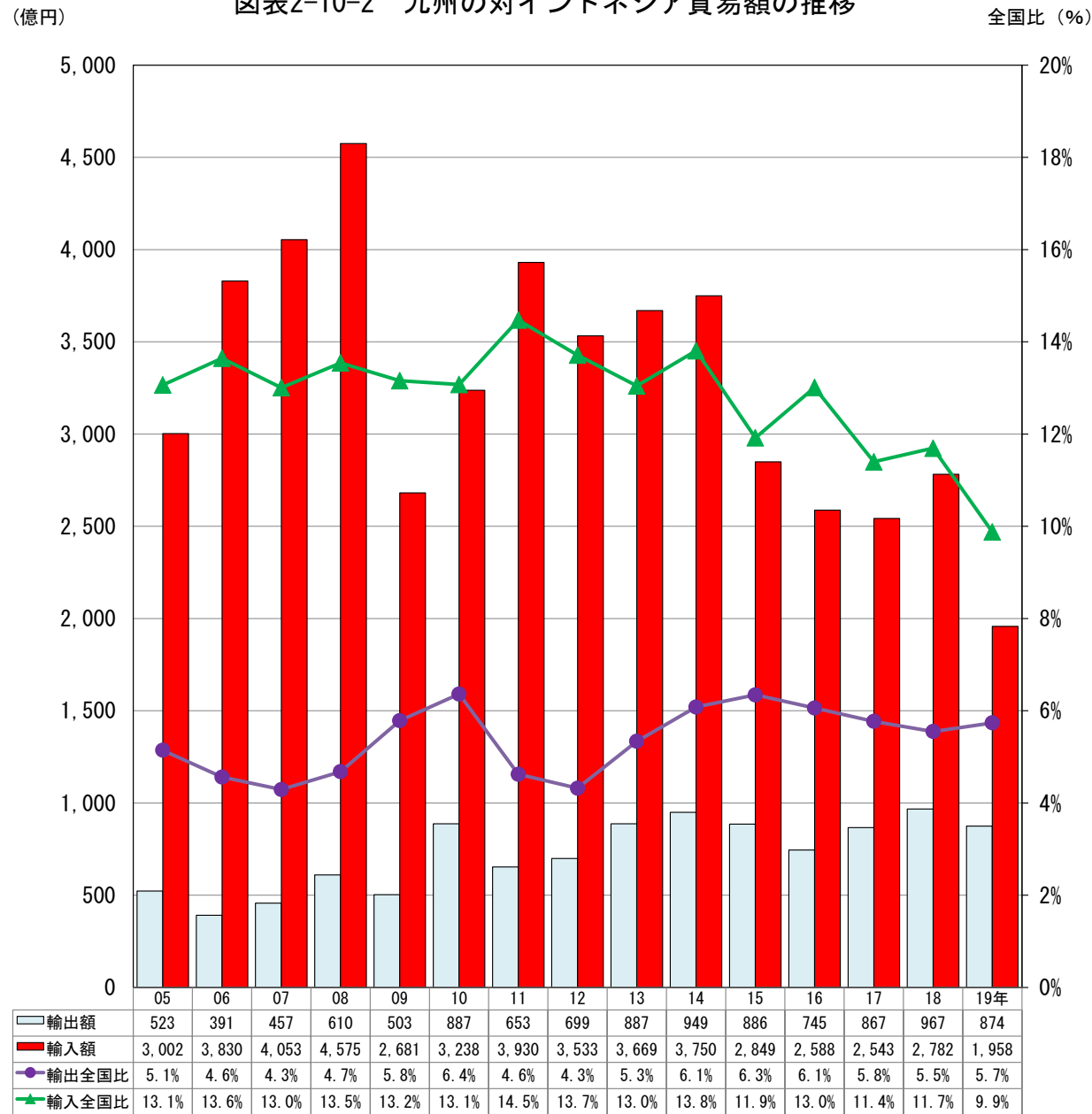
〈寄与度↓〉原動機（▲14.5%）、有機化合物（▲2.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）石炭、天然ゴム、石油ガス類

〈寄与度↑〉天然ゴム（+0.6%）、魚介類（+0.3%）

〈寄与度↓〉非鉄金属鉱（▲17.0%）、石炭（▲7.7%）

図表2-10-2 九州の対インドネシア貿易額の推移

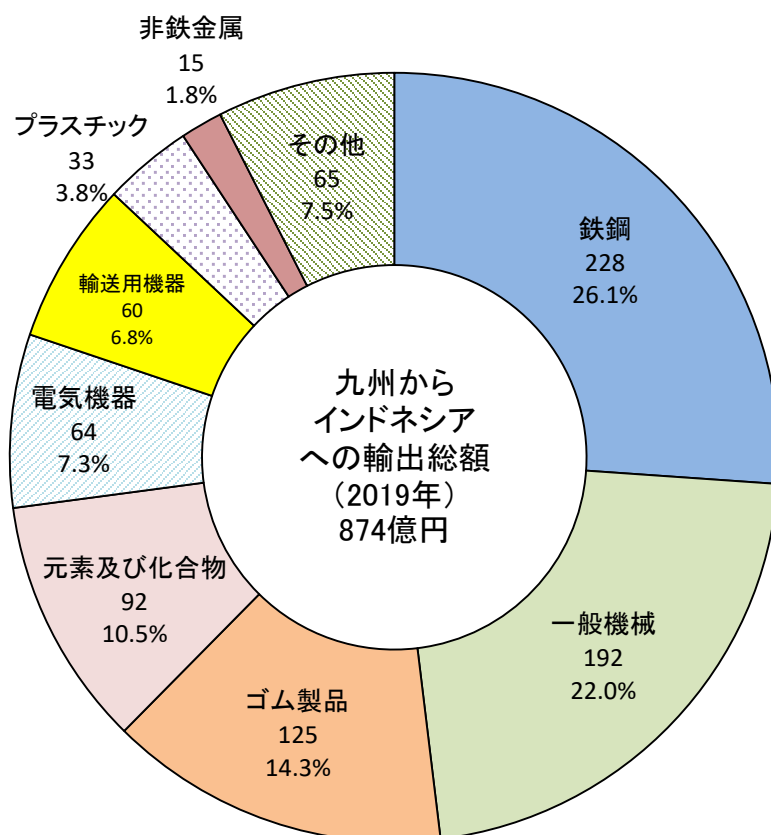


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-10-3 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	163	18.6%	▲10.1%	13.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	123	14.1%	8.8%	49.3%
荷役機械	一般機械	85	9.7%	1662.7%	18.1%
原動機	一般機械	65	7.5%	▲68.1%	4.5%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	63	7.2%	4.3%	18.2%
有機化合物	元素及び化合物	53	6.1%	▲31.8%	18.8%
無機化合物	元素及び化合物	38	4.4%	▲0.8%	17.0%
半導体等電子部品	電気機器	29	3.3%	0.8%	11.8%
船舶類	輸送用機器	28	3.2%	2675.7%	67.4%
自動車	輸送用機器	27	3.1%	216.3%	3.3%
その他		201	22.9%	—	—
総 額		874	100.0%	▲9.6%	5.7%

寄与度（増加分）：荷役機械（＋8.3%）、船舶類（＋2.8%）等

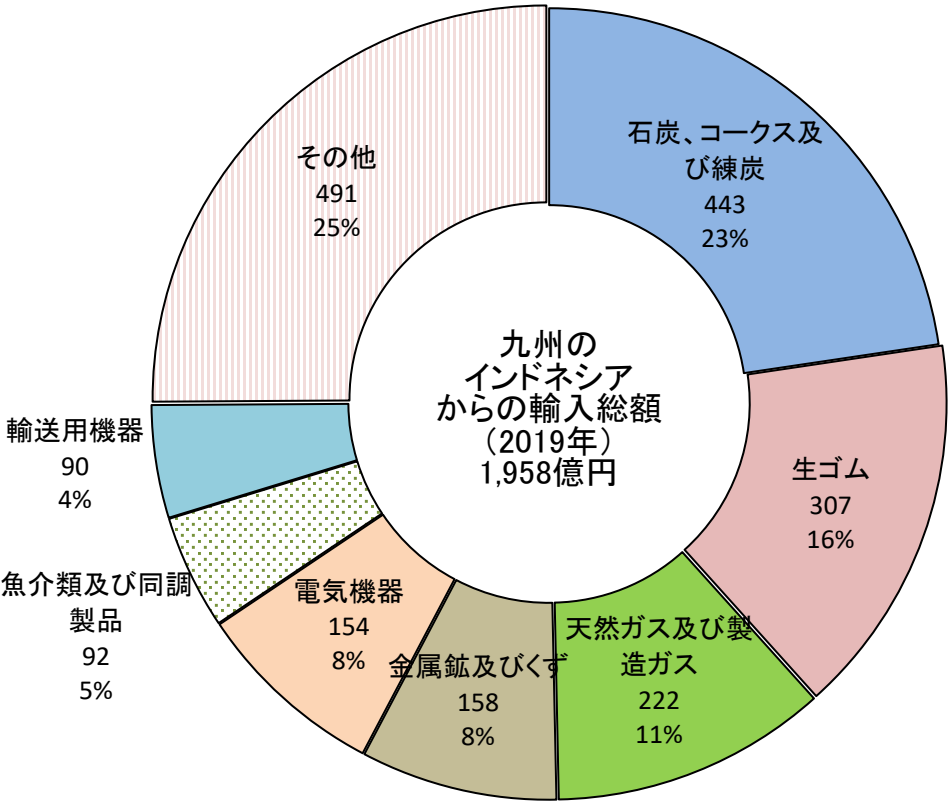
寄与度（減少分）：原動機（▲14.5%）、有機化合物（▲2.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-10-4 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

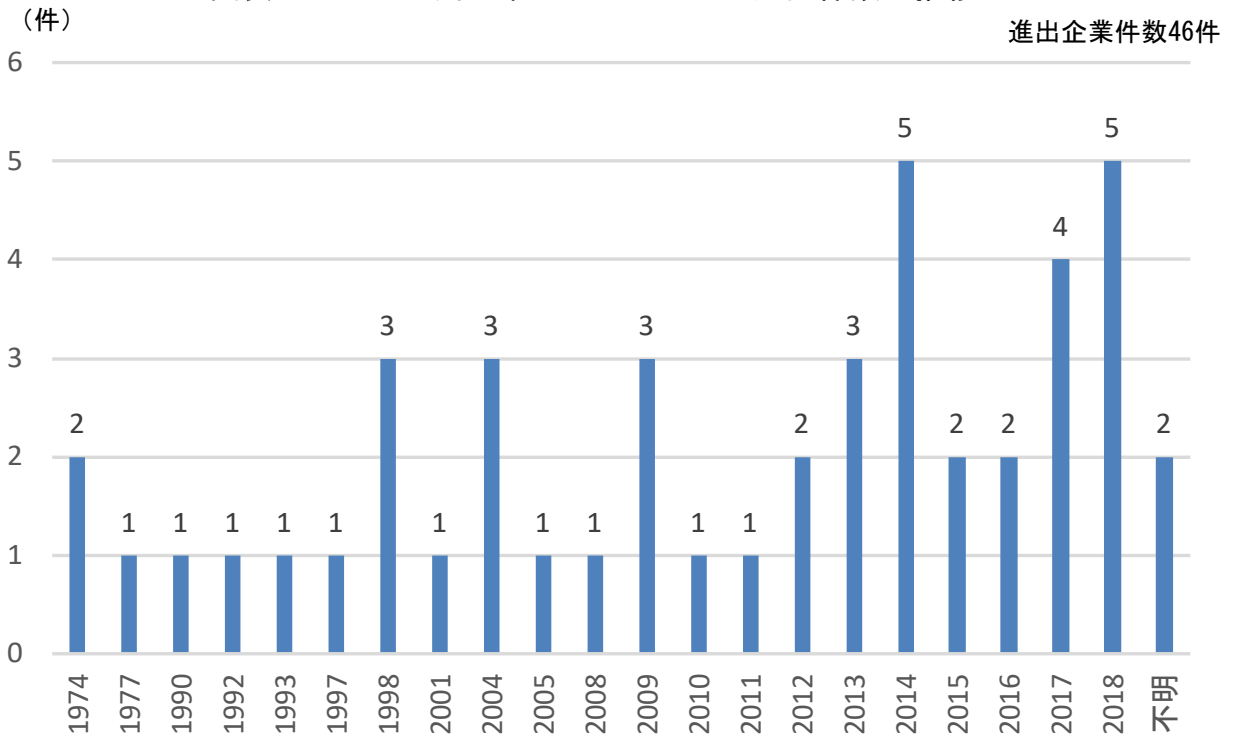


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	443	22.6%	▲32.6%	14.7%
天然ゴム	生ゴム	307	15.7%	6.1%	38.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	222	11.3%	▲5.9%	9.1%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	139	7.1%	▲77.3%	12.8%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	106	5.4%	▲1.8%	10.0%
自動車の部分品	輸送用機器	85	4.3%	2.5%	26.4%
魚介類	魚介類及び同調製品	65	3.3%	14.0%	13.6%
植物性油かす	飼料	60	3.1%	9.5%	42.2%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	47	2.4%	▲13.8%	7.7%
紙及び板紙	紙類及び同製品	41	2.1%	3.7%	11.4%
その他		442	22.6%	—	—
総 額		1,958	100.0%	▲29.6%	9.9%

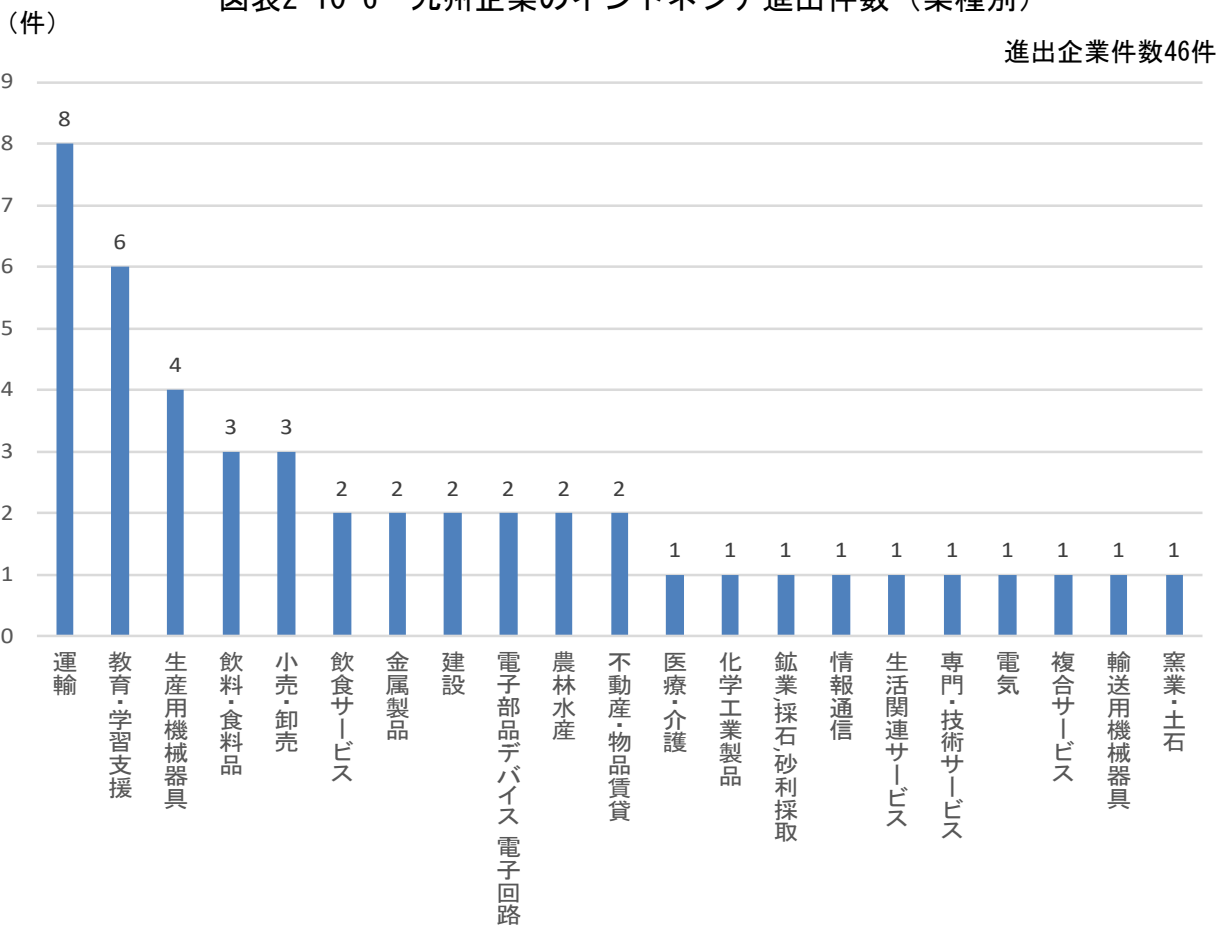
寄与度（増加分）：天然ゴム（+0.6%）、魚介類（+0.3%）等
寄与度（減少分）：非鉄金属鉱（▲17.0%）、石炭（▲7.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-10-5 九州企業のインドネシア進出件数の推移



図表2-10-6 九州企業のインドネシア進出件数（業種別）



11. ミャンマーとの貿易

11-1 ミャンマーの経済概況

面積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
民族	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-11-1 ミャンマーのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.5	5.2	6.3	6.7	—
名目GDP総額	10億ドル	63.2	60.5	61.4	68.6	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,219	1,157	1,166	1,298	—
輸出額	億ドル	114.4	118.4	138.9	167.8	—
	前年比(%)	0.2	3.5	17.4	20.8	—
輸入額	億ドル	169.9	157.2	192.5	194.4	—
	前年比(%)	4.0	▲ 7.5	22.5	1.0	—
貿易収支	億ドル	▲ 55.6	▲ 38.8	▲ 53.6	▲ 26.6	—
対日貿易収支	億ドル	▲ 11.0	▲ 5.9	▲ 1.5	6.9	—
消費者物価上昇率	(%)	9.5	7.0	4.6	6.9	—
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	—
直接投資受入額	億ドル	40.84	32.78	40.02	—	—
為替レート(1ドル)	チャット	1162.62	1234.87	1360.36	1429.81	—

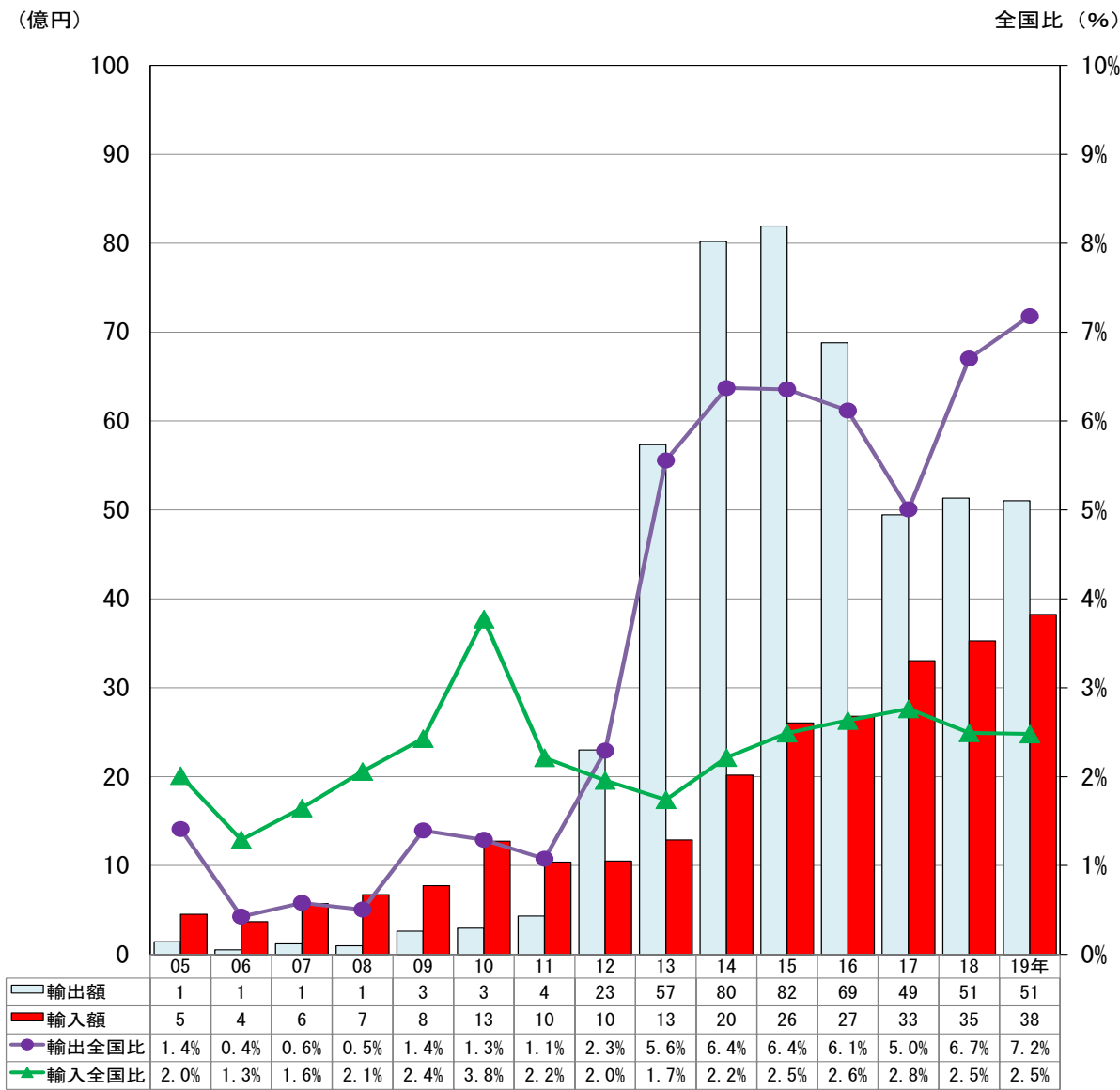
出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

※2019年データは2020年8月時点で未公表

11-2 ミャンマーとの貿易動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2019年の九州の対ミャンマー貿易額
輸出総額： 51億円（対前年▲0.6%） → 2年ぶりのマイナス
輸入総額： 38億円（対前年+8.4%） → 7年連続のプラス
差引額： 13億円（対前年▲20.3%）
- 輸出品目（輸出額多い順）軌条及びその他の鉄道線路建設材、自動車、
鉄鋼のフラットロール製品
〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）、建設用・鉱山用機械（+0.7%）
〈寄与度↓〉荷役機械（▲44.1%）、自動車（▲7.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜
〈寄与度↑〉メリヤス編み及びクロセ編み衣類（+2.2%）、
魚介類の粉、ミール及びペレット（+2.1%）
〈寄与度↓〉衣類（▲1.0%）、魚介類（▲0.3%）

図表2-11-2 九州の対ミャンマー貿易額の推移

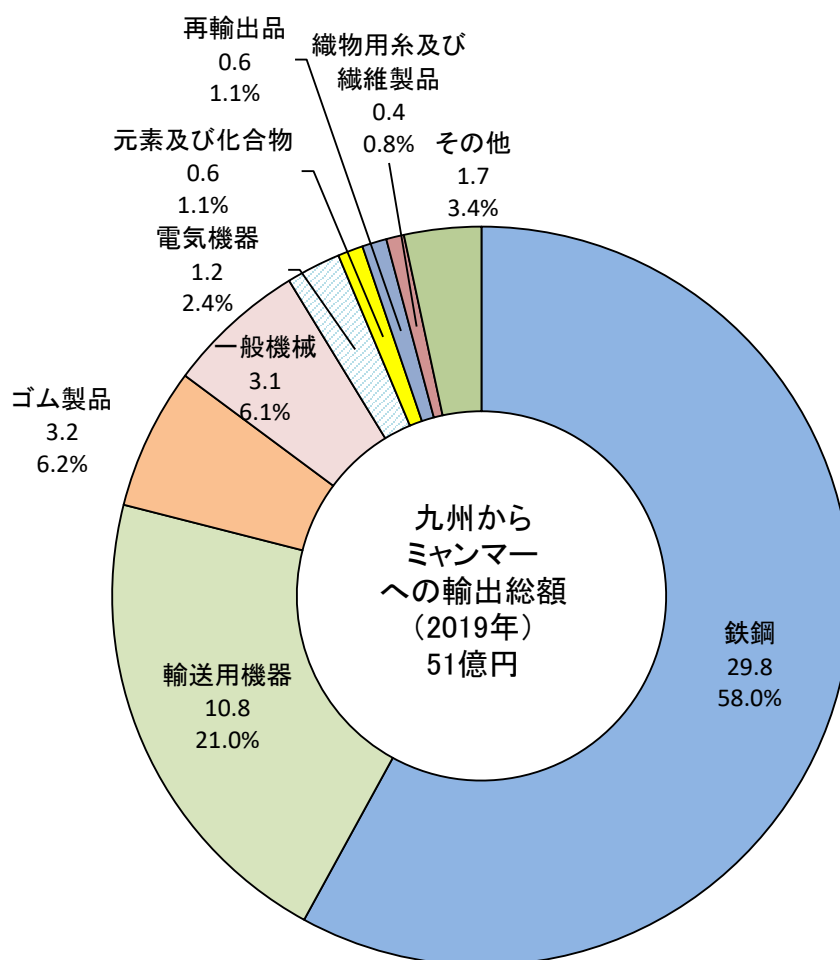


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-11-3 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



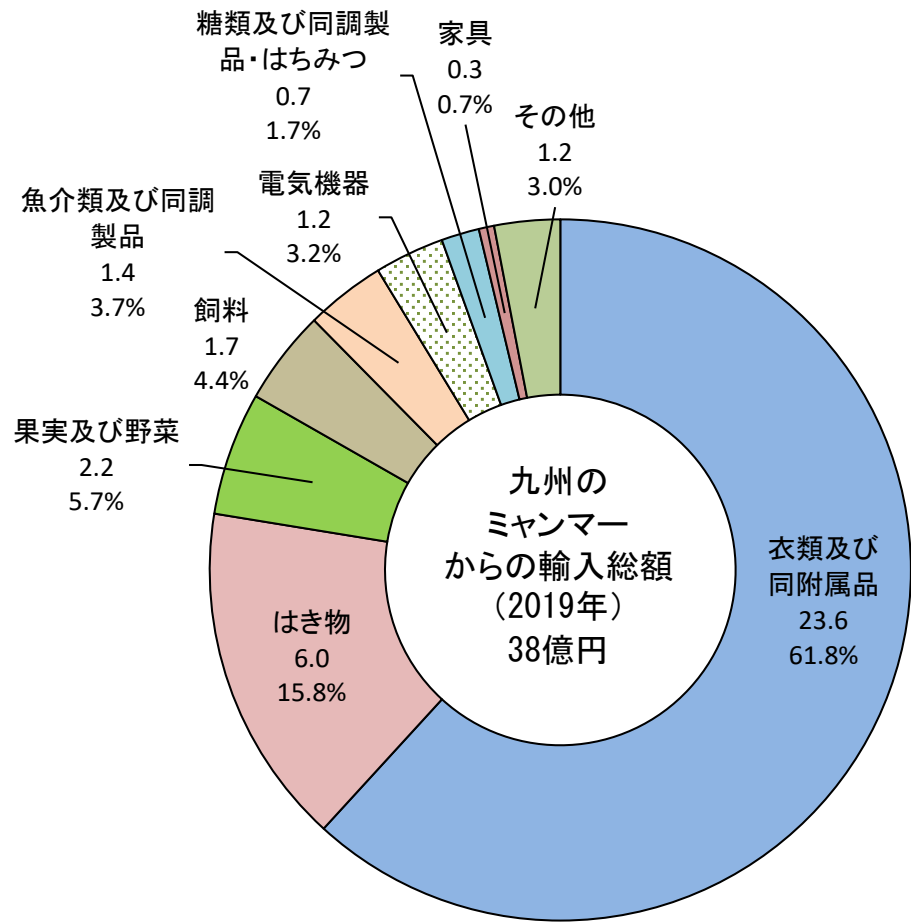
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	20	39.2%	—	49.9%
自動車	輸送用機器	10	19.3%	▲29.0%	6.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	10	19.0%	75.5%	48.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	3.1	6.0%	▲10.1%	43.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	1.2	2.4%	44.6%	6.8%
二輪自動車類	輸送用機器	0.8	1.5%	25.8%	7.6%
電気計測機器	電気機器	0.6	1.1%	—	6.5%
有機化合物	元素及び化合物	0.5	0.9%	24.9%	33.1%
映像機器	電気機器	0.4	0.9%	2.1%	6.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	0.4	0.8%	516.6%	5.2%
その他		5	8.9%	—	—
総 額		51	100.0%	-0.6%	7.2%

寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）、建設用・鉱山用機械（+0.7%）等
 寄与度（減少分）：荷役機械（▲44.1%）、自動車（▲7.8%）等

図表2-11-4 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

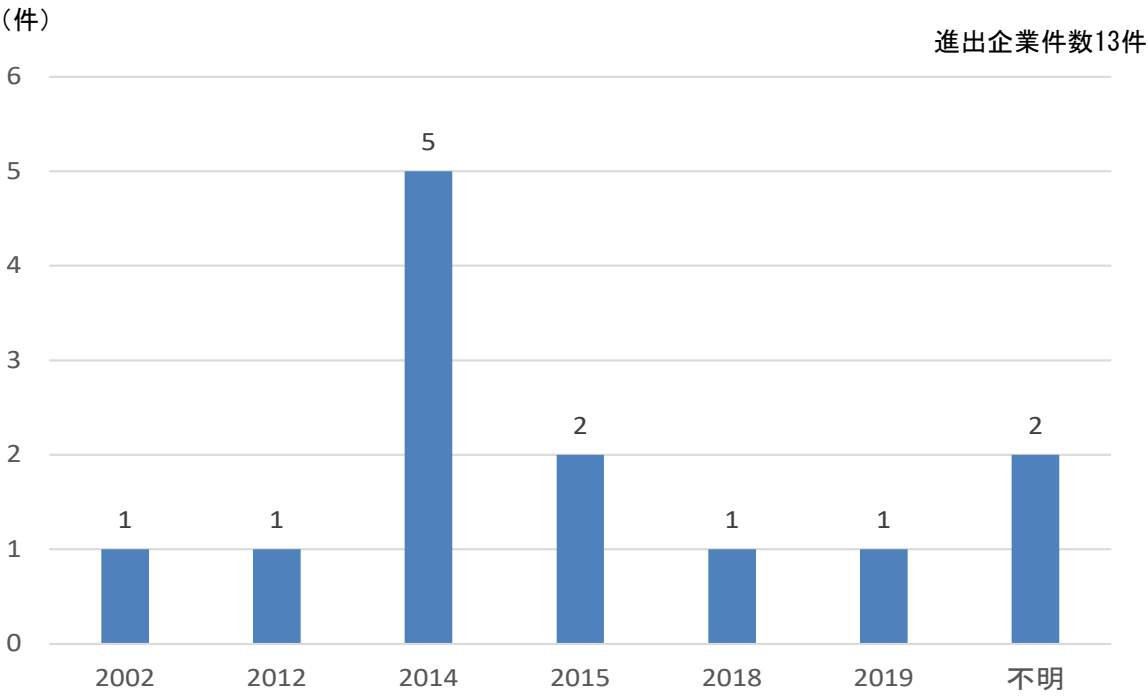


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	19.2	50.2%	-1.8%	2.2%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	4.4	11.6%	21.1%	1.7%
野菜	果実及び野菜	2.2	5.7%	-3.5%	7.4%
魚介類の粉、ミール及びペレット	飼料	1.7	4.4%	81.1%	100.0%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.1	3.0%	-9.2%	1.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	1.0	2.7%	—	4.3%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	0.3	0.7%	4.8%	7.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	0.2	0.6%	215.2%	73.6%
重電機器	電気機器	0.2	0.5%	—	2.7%
木材	木材及びコルク	0.2	0.5%	95.0%	6.1%
その他		7.7	20.1%	—	—
総額		38.2	100.0%	8.4%	2.5%

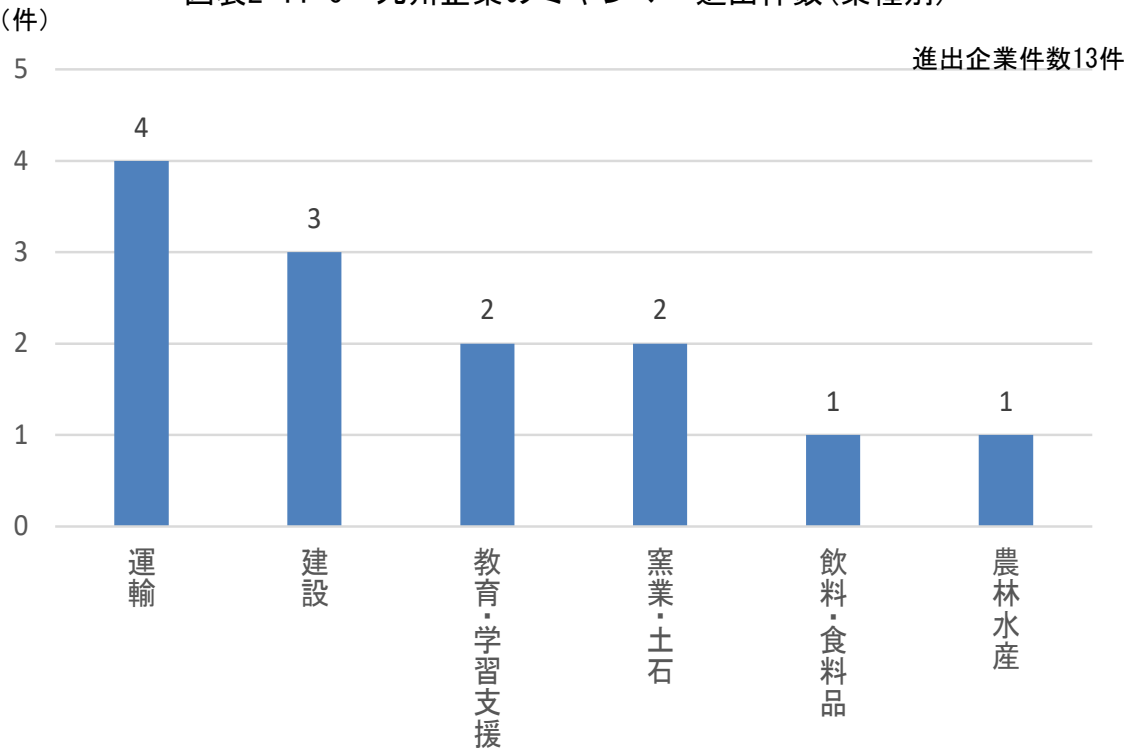
寄与度（増加分）：メリヤス編み及びクロセ編み衣類（+2.2%）、
魚介類の粉、ミール及びペレット（+2.1%）等

寄与度（減少分）：衣類（▲1.0%）、魚介類（▲0.3%）等

図表2-11-5 九州企業のミャンマー進出件数の推移



図表2-11-6 九州企業のミャンマー進出件数(業種別)



図表2-11-5, 6出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

12. インドとの貿易

12-1 インドの経済概況

面積	328万7,469km ² (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
民族	インド・アーリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-12-1 インドのマクロ経済

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
実質GDP成長率	前年比(%)	8.0	8.2	7.2	6.8	5.0*
名目GDP総額	10億ドル	2,104	2,290	2,652	2,719	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,640	1,762	2,014	2,038	—
輸出額	億ドル	2,623	2,759	3,035	3,296	3,249*
	前年比(%)	▲ 15.5	5.2	10.0	8.6	▲ 1.4*
輸入額	億ドル	3,810	3,844	4,647	5,131	4,837*
	前年比(%)	▲ 15.0	0.9	20.9	10.4	▲ 5.7*
貿易収支	億ドル	▲ 1,187	▲ 1,085	▲ 1,621	▲ 1,836	—*
対日貿易収支	億ドル	▲ 52	▲ 59	▲ 62	▲ 79	▲ 79*
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.3	4.6	4.4	3.8	—
失業率	(%)	2.8	2.7	2.6	2.6	—*
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	4.9	4.5	3.6	3.4	—
直接投資受入額	億ドル	449	422	394	433	—*
為替レート(1ドル)	ルピー	64.15	67.20	65.12	68.39	70.42
為替レート(1ルピー)	円	1.89	1.62	1.72	1.62	1.55

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

12-2 インドとの貿易動向

●2019年の九州の対インド貿易額

輸出総額：1,323億円（対前年+20.2%） → 3年連続のプラス
輸入総額：447億円（対前年+21.3%） → 2年ぶりのプラス
差引額：876億円（対前年+19.6%）

●輸出品目（輸出額多い順）銅及び同合金、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品

〈寄与度↑〉銅及び同合金（+15.1%）、石油製品（+2.8%）

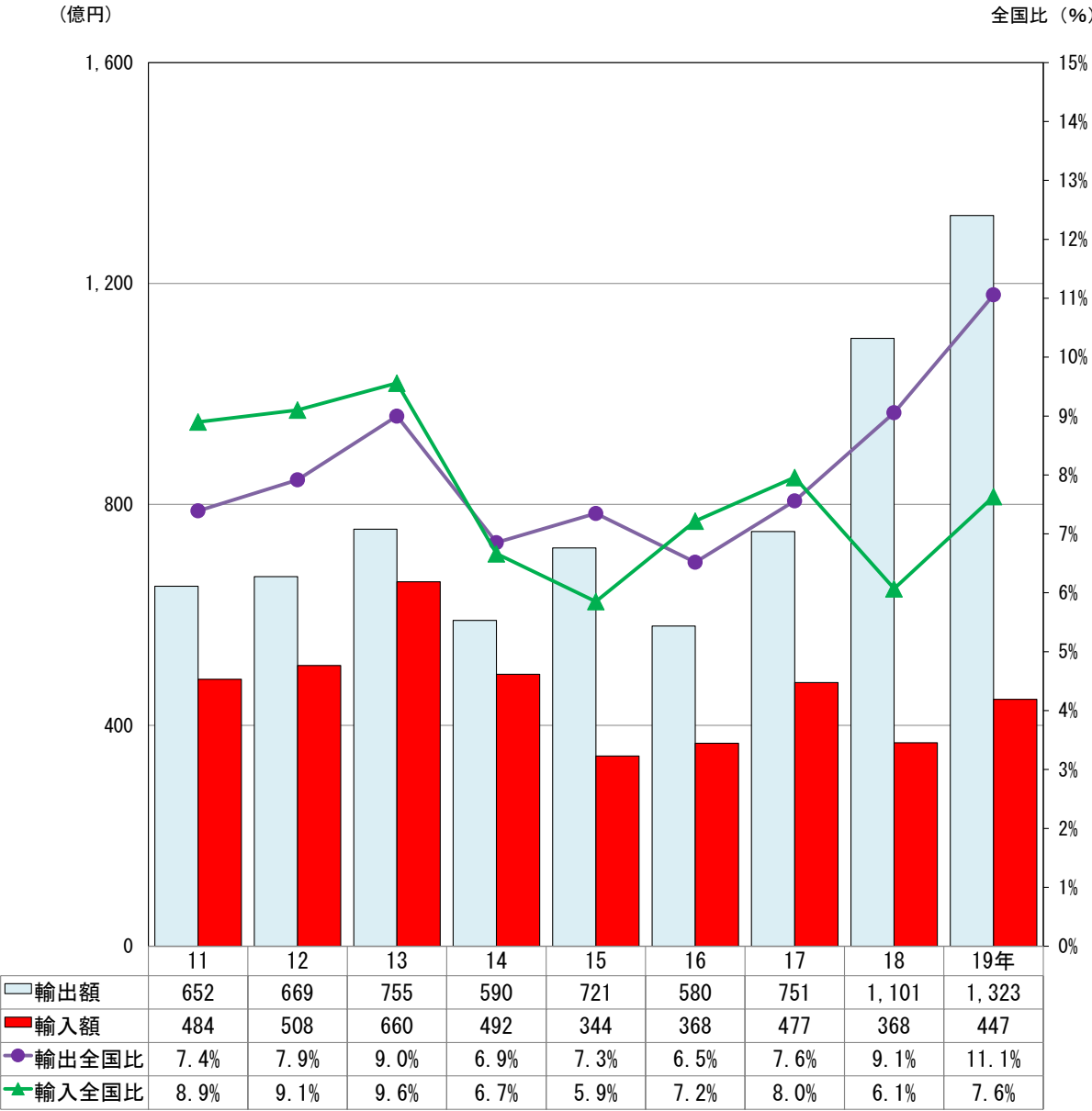
〈寄与度↓〉コークス（▲2.2%）、原動機（▲2.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）石油製品、有機化合物、魚介類

〈寄与度↑〉石油製品（+11.6%）、有機化合物（+4.8%）

〈寄与度↓〉原動機（▲1.6%）、植物性油かす（▲1.6%）

図表2-12-2 九州の対インド貿易額の推移

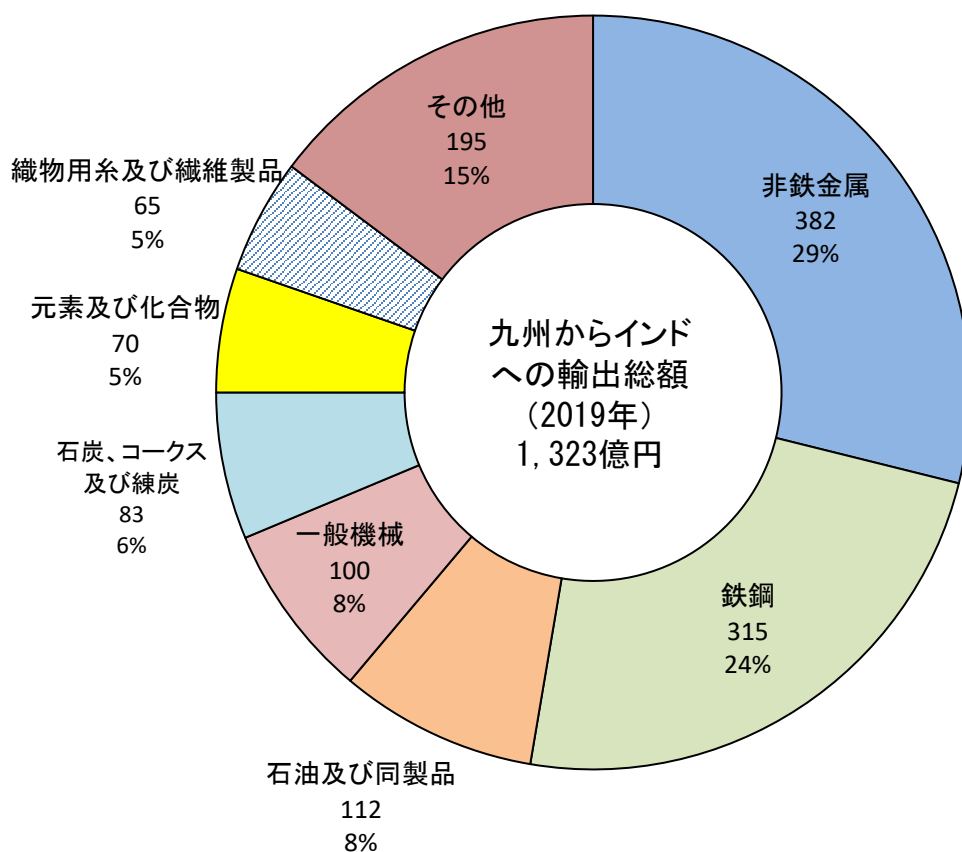


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-12-3 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
銅及び同合金	非鉄金属	376	28.4%	79.0%	45.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	246	18.6%	9.3%	27.6%
石油製品	石油及び同製品	112	8.5%	37.6%	49.6%
コークス	石炭、コークス及び練炭	83	6.3%	▲22.5%	69.7%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	63	4.8%	2.6%	71.5%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	62	4.7%	12.4%	85.3%
有機化合物	元素及び化合物	58	4.4%	57.1%	13.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	33	2.5%	16.6%	66.6%
金属加工機械	一般機械	24	1.8%	▲16.7%	3.1%
原動機	一般機械	23	1.7%	▲50.5%	5.6%
その他		244	18.4%	-	-
総 額		1,323	100.0%	20.2%	11.1%

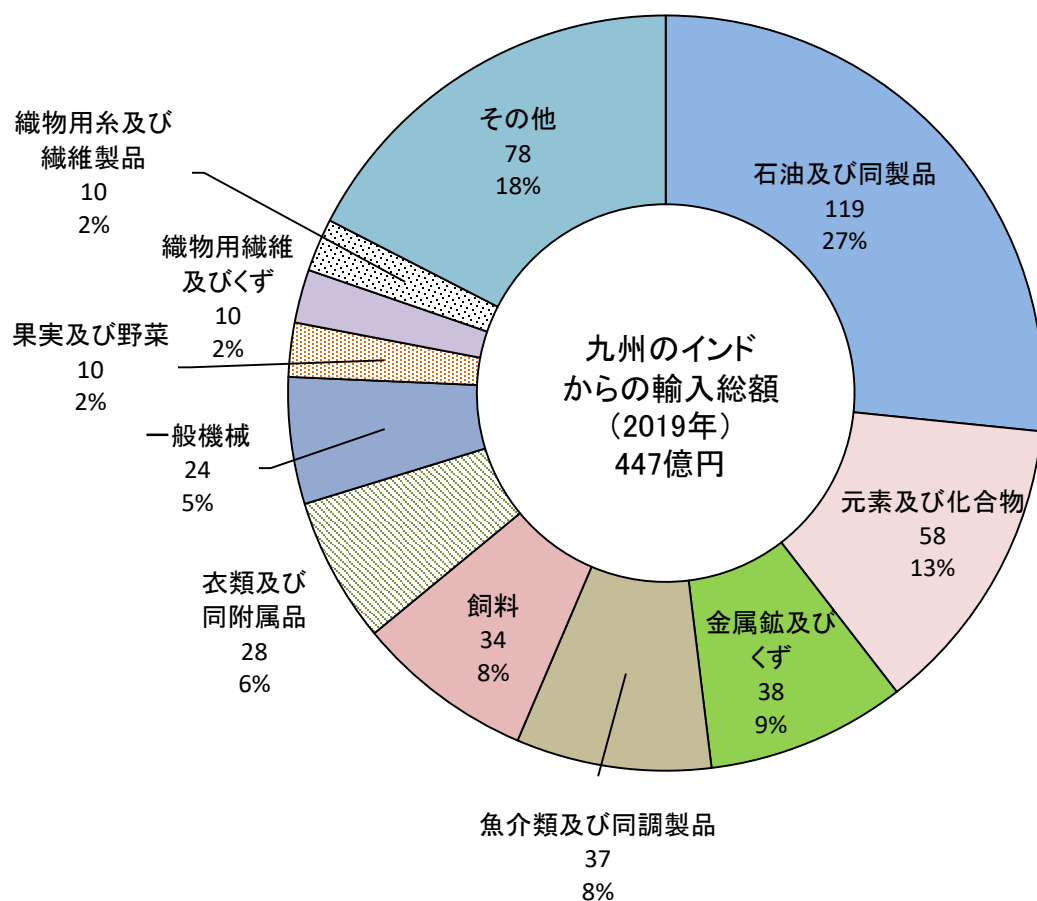
寄与度（増加分）：銅及び同合金（+15.1%）、石油製品（+2.8%）等

寄与度（減少分）：コークス（▲2.2%）、原動機（▲2.1%）等

図表2-12-4 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



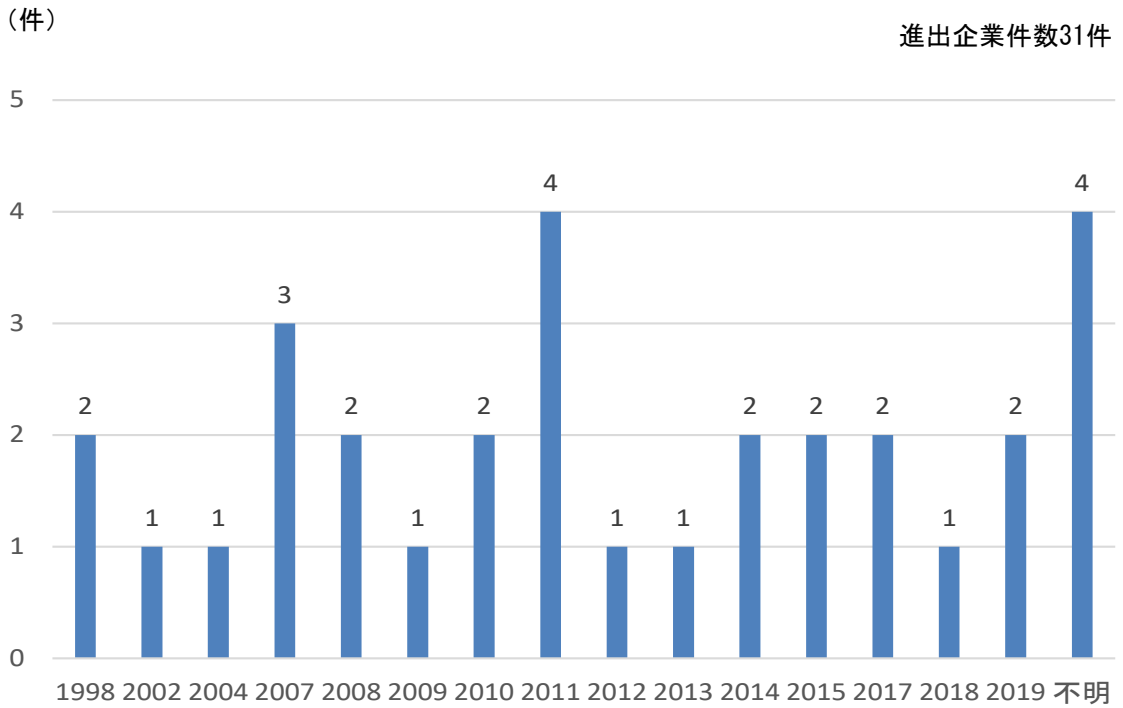
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油製品	石油及び同製品	119	26.6%	55.9%	20.5%
有機化合物	元素及び化合物	45	10.0%	65.0%	5.7%
魚介類	魚介類及び同調製品	37	8.2%	18.5%	7.8%
植物性油かす	飼料	28	6.2%	▲17.6%	44.8%
衣類	衣類及び同附属品	26	5.9%	16.3%	11.2%
非鉄金属鉱	非鉄金属	20	4.5%	113.3%	21.3%
鉄鉱石	果実及び野菜	18	3.9%	—	8.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	14	3.1%	583.8%	39.1%
無機化合物	元素及び化合物	13	2.9%	56.2%	33.7%
果実	果実及び野菜	10	2.3%	▲21.6%	11.3%
その他		118	26.4%	—	—
総 額		447	100.0%	21.3%	7.6%

寄与度（増加分）：石油製品（+11.6%）、有機化合物（+4.8%）等

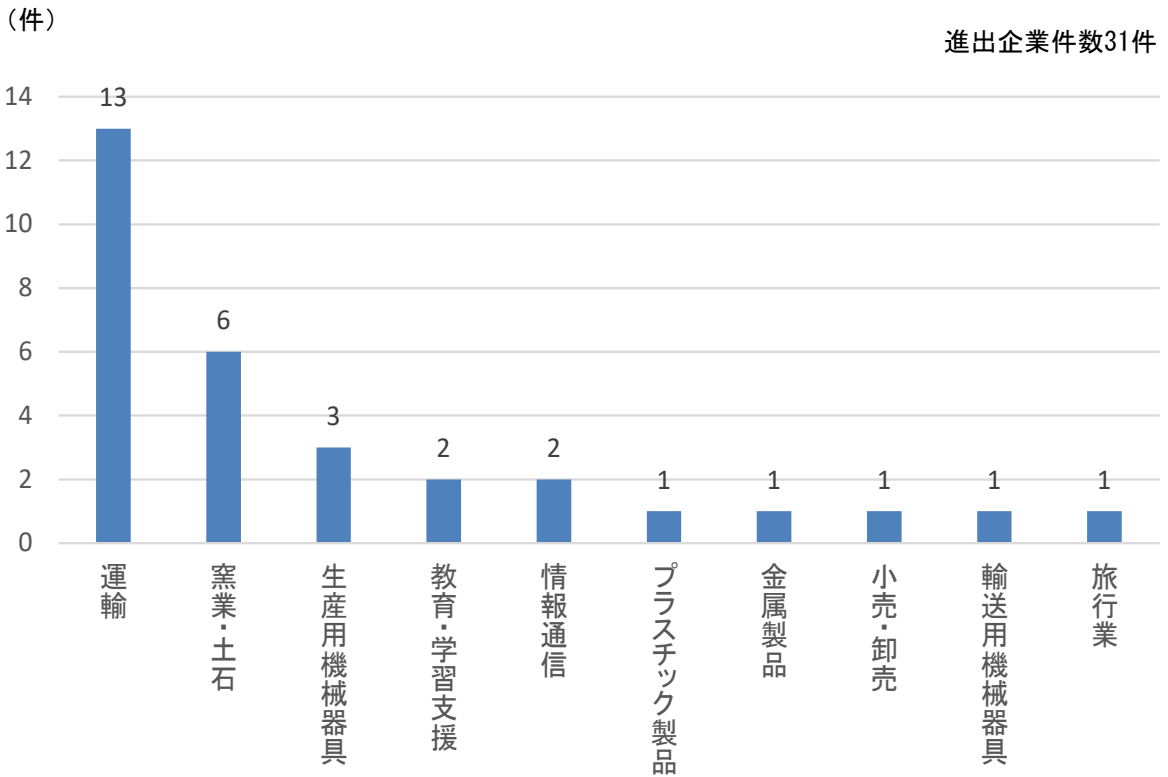
寄与度（減少分）：原動機（▲1.6%）、植物性油かす（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-12-5 九州企業のインド進出件数の推移



図表2-12-6 九州企業のインド進出件数（業種別）



13. 米国との貿易

13-1 米国の経済概況

面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万平方マイル)
人口	3億2,775万人(2018年5月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-13-1 米国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.9	1.6	2.4	2.9	2.3
名目GDP総額	10億ドル	18,225	18,715	19,519	20,580	21,427
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,790	57,908	60,019	62,946	65,223*
輸出額	億ドル	22,667	22,158	23,525	25,013	24,980
	前年比(%)	▲ 4.6	▲ 2.2	6.2	6.3	▲ 0.1
輸入額	億ドル	27,652	27,188	29,027	31,290	31,145
	前年比(%)	▲ 3.5	▲ 1.7	6.8	7.8	▲ 0.5
貿易収支	億ドル	▲ 4,985	▲ 5,030	▲ 5,501	▲ 6,277	▲ 6,164
対日貿易収支	億ドル	▲ 691	▲ 688	▲ 688	▲ 672	▲ 690*
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 1.0	▲ 2.0	2.3	3.9	0.9
失業率	(%)	5.3	4.9	4.4	3.9	3.7
消費者物価	前年比(%)	0.1	1.3	2.1	2.4	1.8
直接投資受入額	億ドル	4,676	4,718	2,773	2,536	2,462*
為替レート(1ドル)	円	121.04	108.79	112.17	110.42	109.01

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

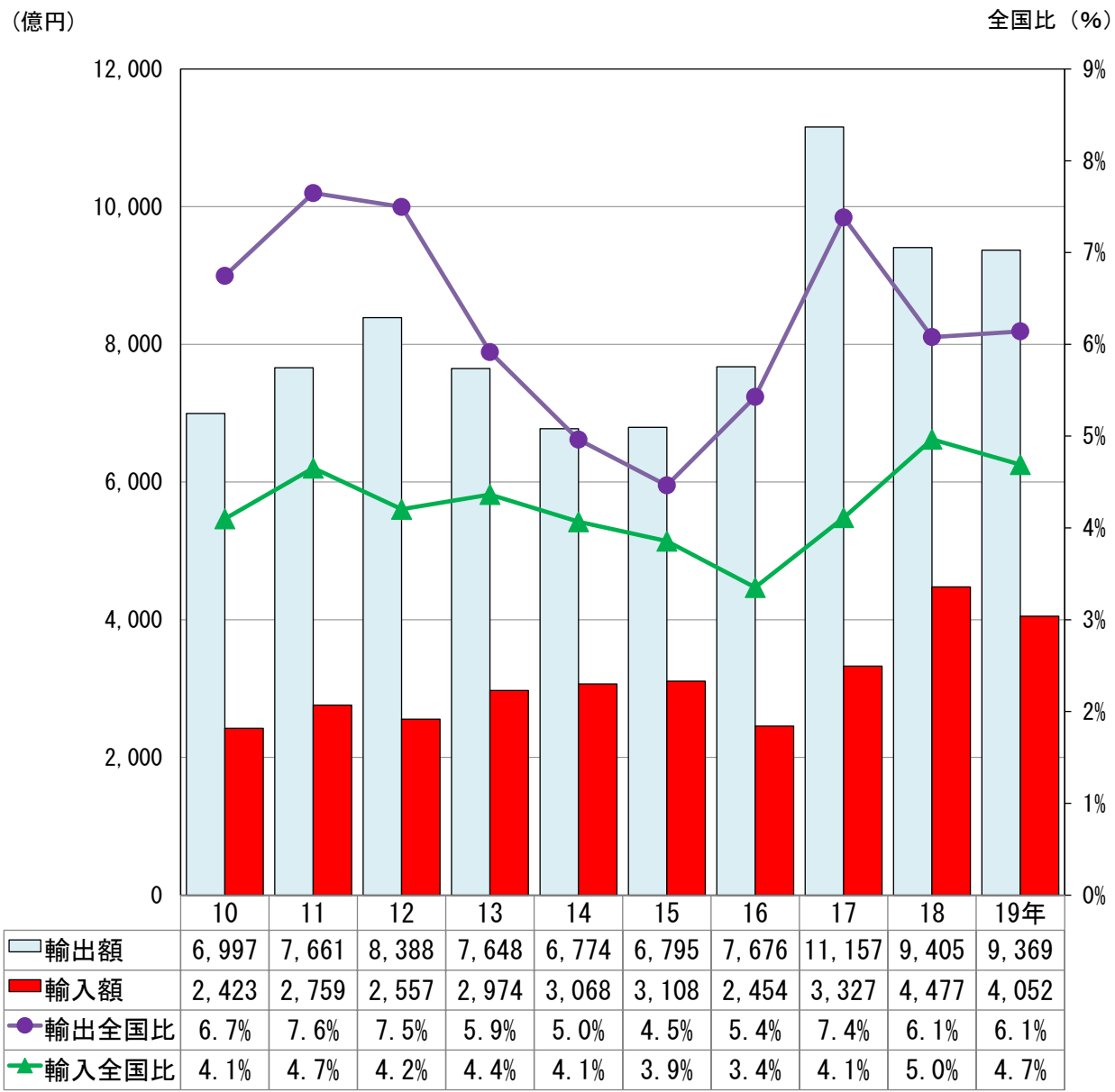
13-2 米国との貿易動向

●2019年の九州の対米貿易額
輸出総額：9,369億円（対前年▲0.4%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：4,052億円（対前年▲9.5%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：5,317億円（対前年+7.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ
〈寄与度↑〉自動車（+2.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（+1.1%）
〈寄与度↓〉二輪自動車類（▲2.7%）、映像機器（▲0.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）石油ガス類、とうもろこし、原油及び粗油
〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+4.4%）、鉄鉱石（+1.8%）
〈寄与度↓〉とうもろこし（▲5.5%）、原油及び粗油（▲5.1%）

図表2-13-2 九州の対米貿易額の推移

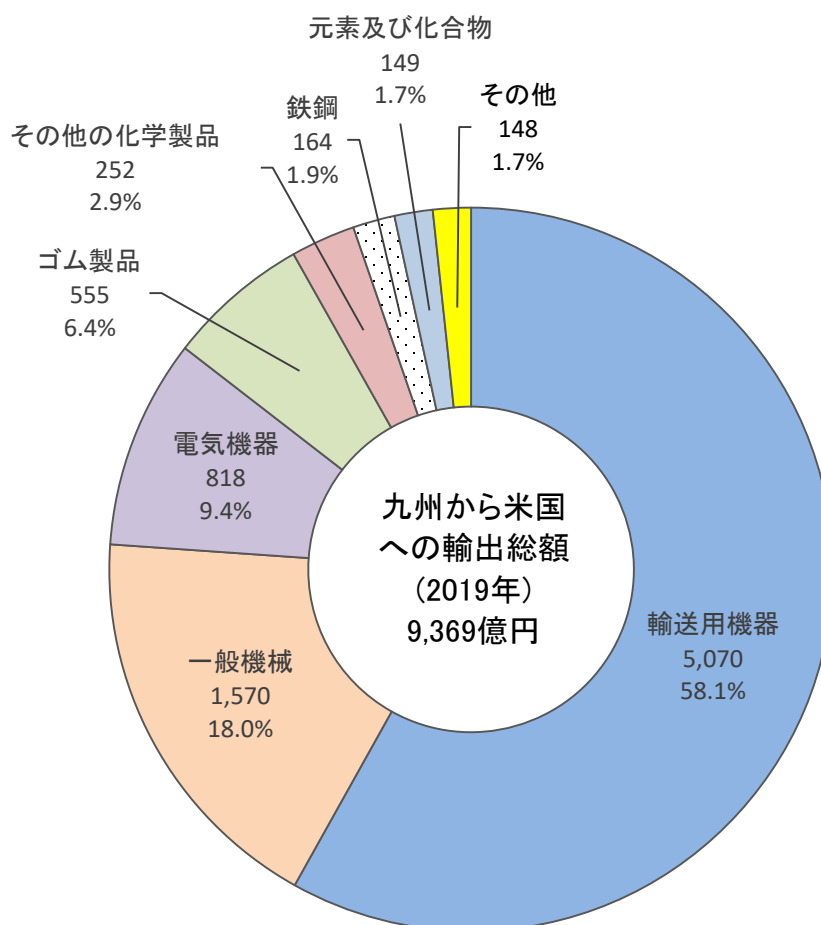


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-13-3 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,761	50.8%	5.6%	11.1%
事務用機器	一般機械	636	6.8%	11.6%	16.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	515	5.5%	25.1%	38.3%
原動機	一般機械	393	4.2%	▲2.5%	4.4%
映像機器	電気機器	278	3.0%	▲23.0%	19.6%
自動車の部分品	輸送用機器	172	1.8%	▲15.0%	2.1%
半導体等電子部品	電気機器	171	1.8%	▲31.7%	8.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	161	1.7%	18.9%	3.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	146	1.6%	12.3%	63.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	126	1.3%	▲9.9%	7.1%
その他		2,011	21.5%	—	—
総 額		9,369	100%	▲0.4%	6.1%

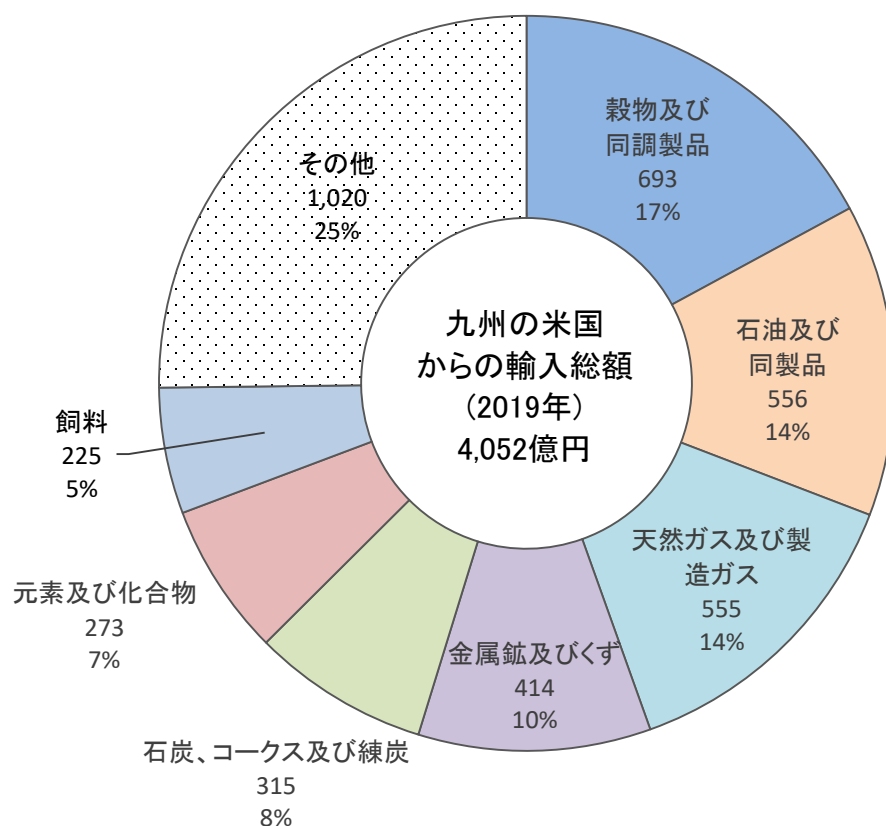
寄与度（増加分）：自動車（＋2.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（＋1.1%）等

寄与度（減少分）：二輪自動車類（▲2.7%）、映像機器（▲0.9%）等

図表2-13-4 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

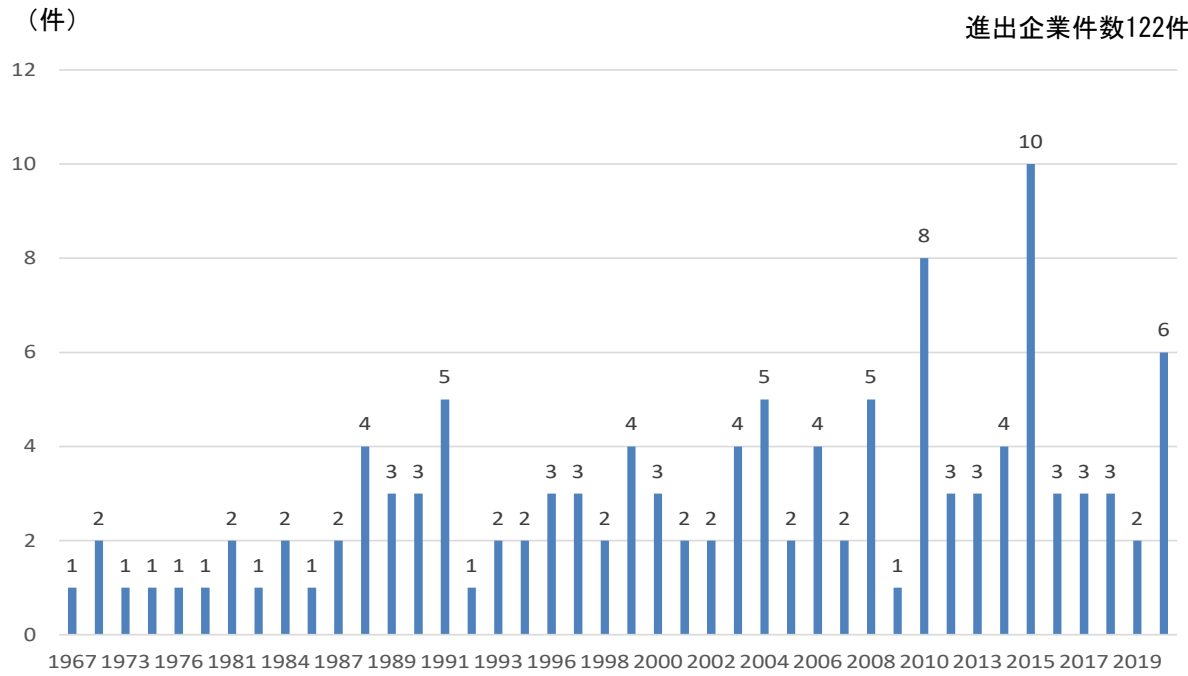


概況品名	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	555	13.7%	▲0.8%	9.6%
とうもろこし	穀物及び同調製品	531	13.1%	▲31.7%	19.9%
原油及び粗油	石油及び同製品	400	9.9%	▲36.4%	22.5%
石炭	石炭、コークス及び練炭	315	7.8%	▲14.8%	14.6%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	218	5.4%	768.4%	27.4%
石油製品	石油及び同製品	156	3.8%	1.8%	11.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	154	3.8%	13.9%	12.0%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	142	3.5%	▲37.9%	6.1%
有機化合物	元素及び化合物	139	3.4%	▲5.7%	11.2%
無機化合物	元素及び化合物	133	3.3%	▲39.7%	0.8%
その他		1,308	32.3%	—	—
総 額		4,052	100%	▲9.5%	4.7%

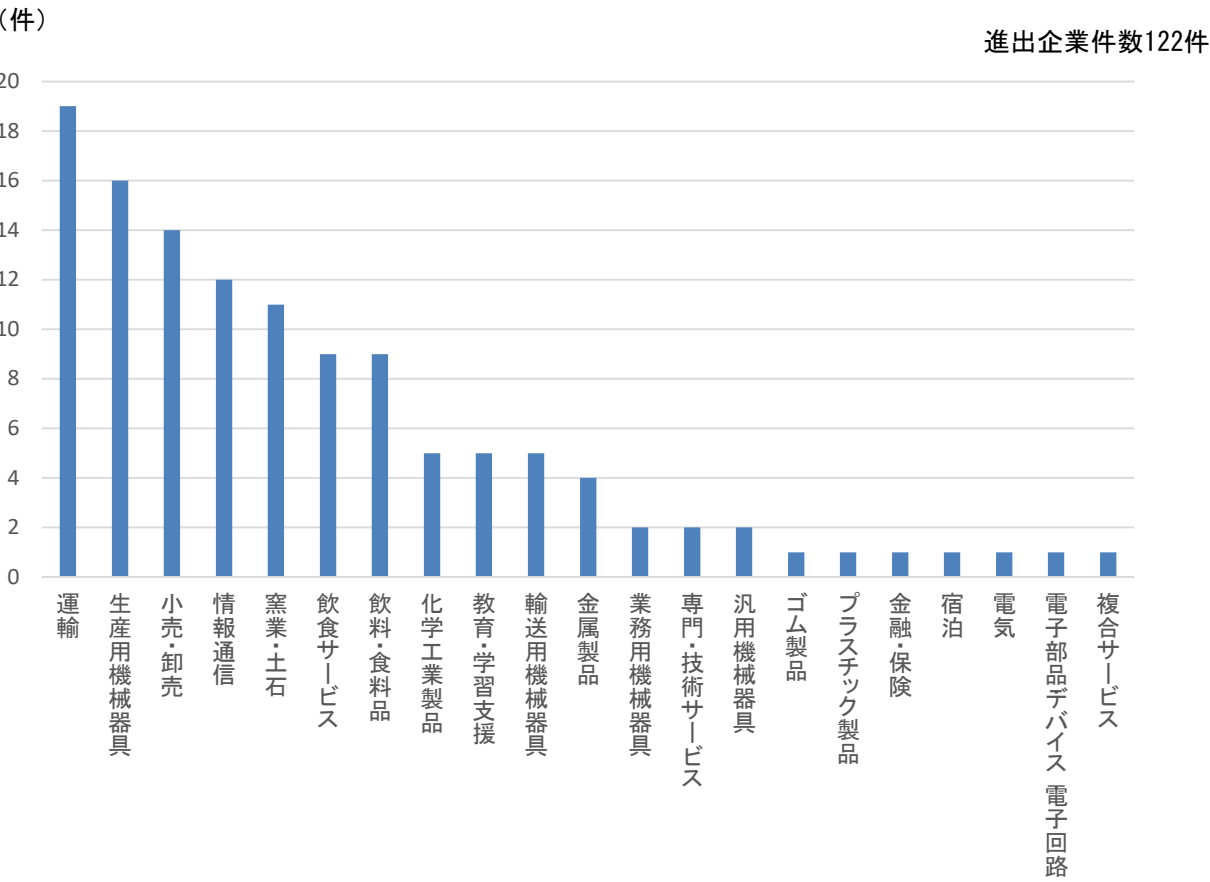
寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋4.4%）、鉄鉱石（＋1.8%）等

寄与度（減少分）：とうもろこし（▲5.5%）、原油及び粗油（▲5.1%）等

図表2-13-5 九州企業の米国進出件数の推移



図表2-13-6 九州企業の米国進出件数（業種）



図表2-13-5, 6出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

14. オーストラリアとの貿易

14-1 オーストラリアの経済概況

面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,499万人(2018年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
民族	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.6%、第二次産業23.4%、第三次産業74.0% 農林水産業(2.6%)、鉱業(6.4%)、製造業(6.3%)、建設業(8.1%)、卸売・小売業(9.2%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(7.4%)など(2017-18年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-14-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.3	2.8	2.5	2.7	1.8
名目GDP総額	10億ドル	1,235	1,268	1,387	1,420	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	51,497	51,979	55,974	56,420	-
輸出額	億ドル	1,885	1,913	2,293	2,547	-*
	前年比(%)	▲ 21.7	1.5	19.9	11.1	-*
輸入額	億ドル	2,129	2,011	2,275	2,409	-*
	前年比(%)	▲ 11.8	▲ 5.6	13.1	5.9	-*
貿易収支	億ドル	▲ 190	▲ 58	105	198	-*
対日貿易収支	億ドル	143	85	164	233	-*
鉱工業生産指数	前期比(%)	1.6	1.9	1.0	3.8	2.5
失業率	(%)	6.1	5.7	5.6	5.3	5.2
消費者物価指数	前年比(%)	1.5	1.3	1.9	1.9	1.6
直接投資受入額	億ドル	451	392	445	580	-*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.33	1.35	1.30	1.34	1.44
為替レート(1豪ドル)	円	91.07	80.85	86.00	82.57	75.82

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

14-2 オーストラリアとの貿易動向

●2019年の九州の対オーストラリア貿易額

輸出総額： 1,030億円（対前年▲5.0%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額： 5,507億円（対前年▲15.3%） → 3年ぶりのマイナス
差引額： ▲4,478億円（対前年▲17.3%）

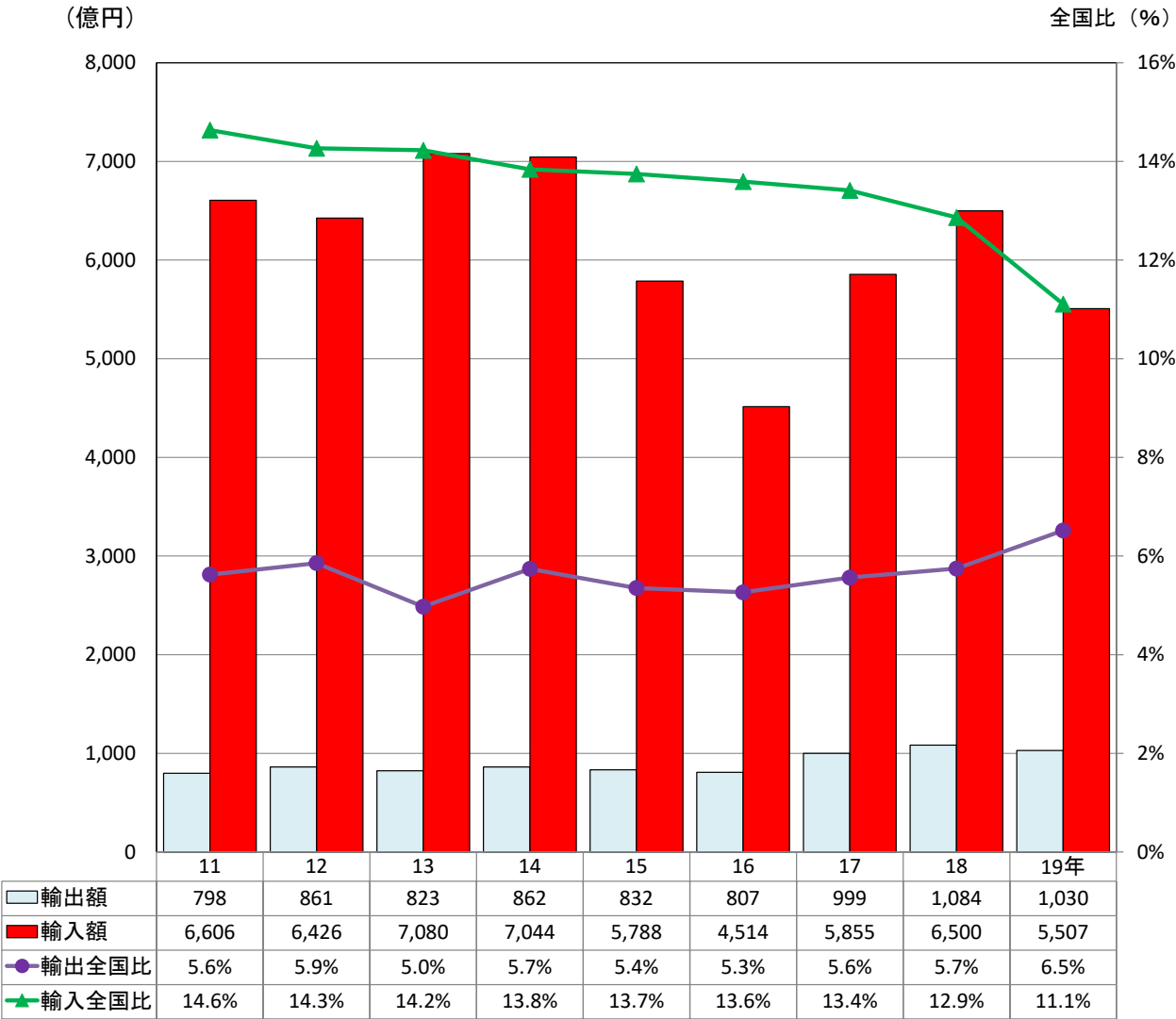
●輸出品目（輸出額多い順）ゴムタイヤ及びチューブ、自動車、映像機器

〈寄与度↑〉ゴムタイヤ及びチューブ（+5.3%）、
軌条及びその他の鉄道線路建設材（+3.2%）
〈寄与度↓〉自動車（▲3.8%）、映像機器（▲2.8%）

●輸入品目（輸入額多い順）石炭、鉄鉱石、非鉄金属鉱

〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+2.5%）、鉄鉱石（+1.0%）
〈寄与度↓〉石油ガス類（▲9.6%）、石炭（▲8.1%）等

図表2-14-2 九州の対オーストラリア貿易額の推移

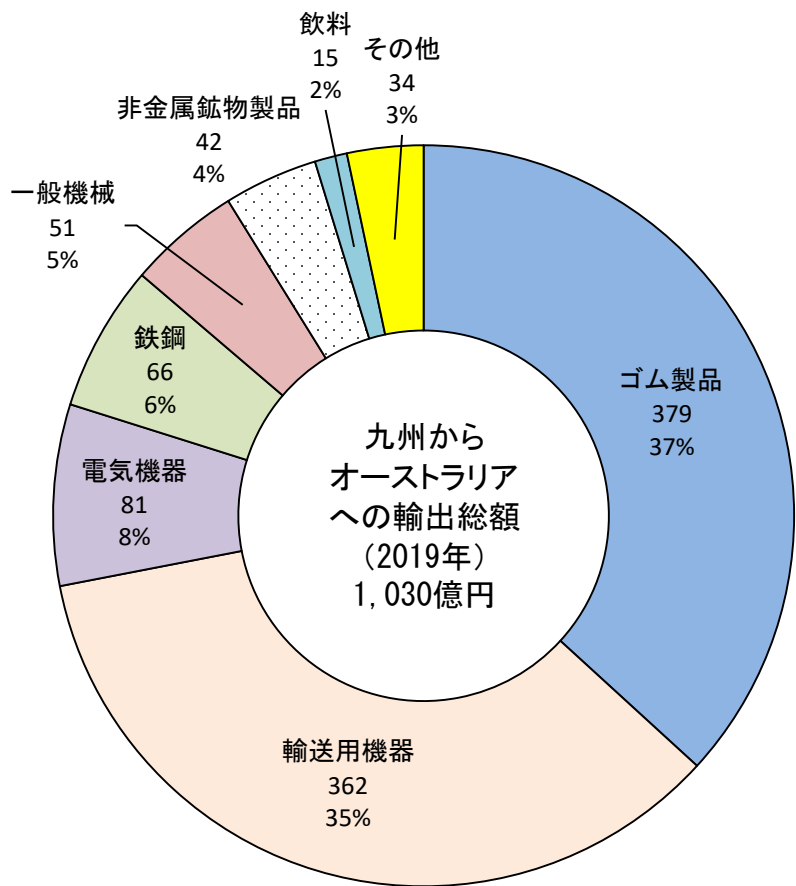


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-14-3 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



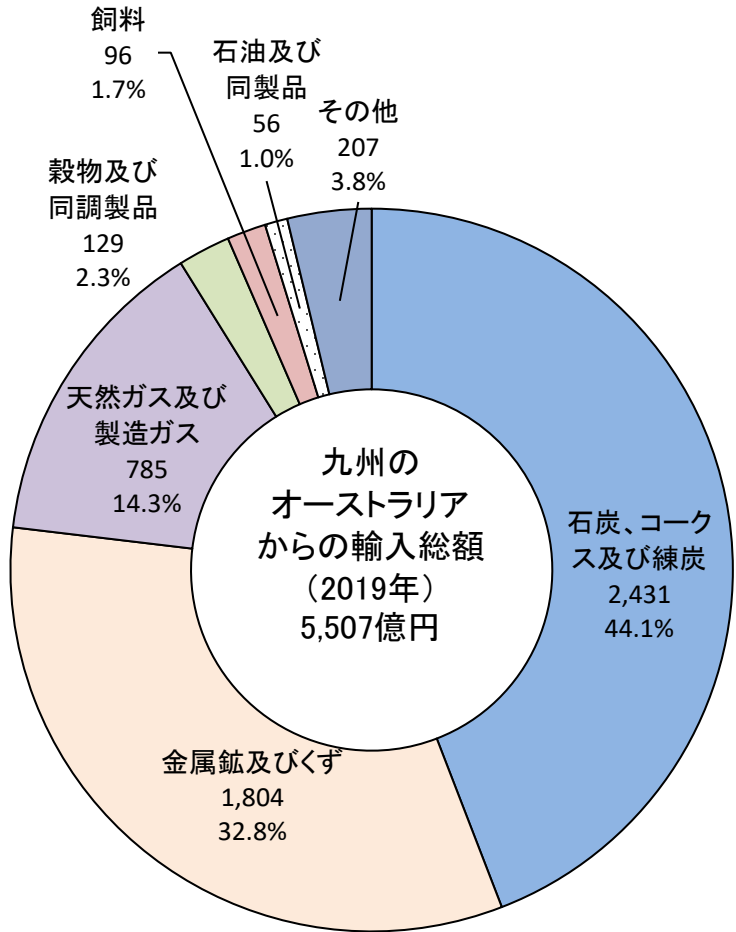
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	378	36.8%	18.0%	66.0%
自動車	輸送用機器	355	34.5%	▲10.4%	5.0%
映像機器	電気機器	62	6.0%	▲32.6%	68.7%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	59	5.8%	139.6%	87.8%
セメント	非金属鉱物製品	40	3.9%	▲9.2%	59.2%
建設用・鉱山用機械	一般機械	24	2.3%	▲24.5%	5.1%
加熱用・冷却用機器	一般機械	13	1.3%	▲43.7%	9.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	11	1.0%	▲36.6%	19.8%
無機化合物	元素及び化合物	7	0.7%	36.8%	5.8%
二輪自動車類	輸送用機器	7	0.7%	▲74.6%	8.8%
その他		73	7.1%	—	—
総 額		1,030	100%	▲5.0%	6.5%

寄与度（増加分）：ゴムタイヤ及びチューブ（+5.3%）、
軌条及びその他の鉄道線路建設材（+3.2%）等
寄与度（減少分）：自動車（▲3.8%）、映像機器（▲2.8%）等

図表2-14-4 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

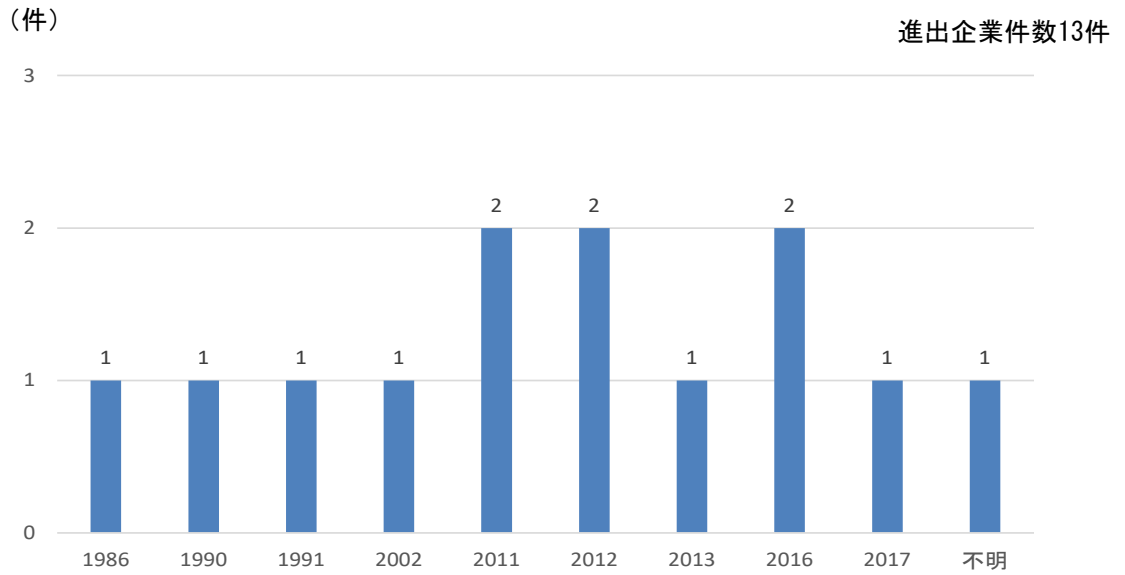


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,431	44.1%	▲17.7%	16.4%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	998	18.1%	7.0%	16.3%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	794	14.4%	25.4%	35.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	785	14.3%	▲44.4%	4.4%
その他		500	9.1%	—	—
総 額		5,507	100.0%	▲29.8%	9.2%

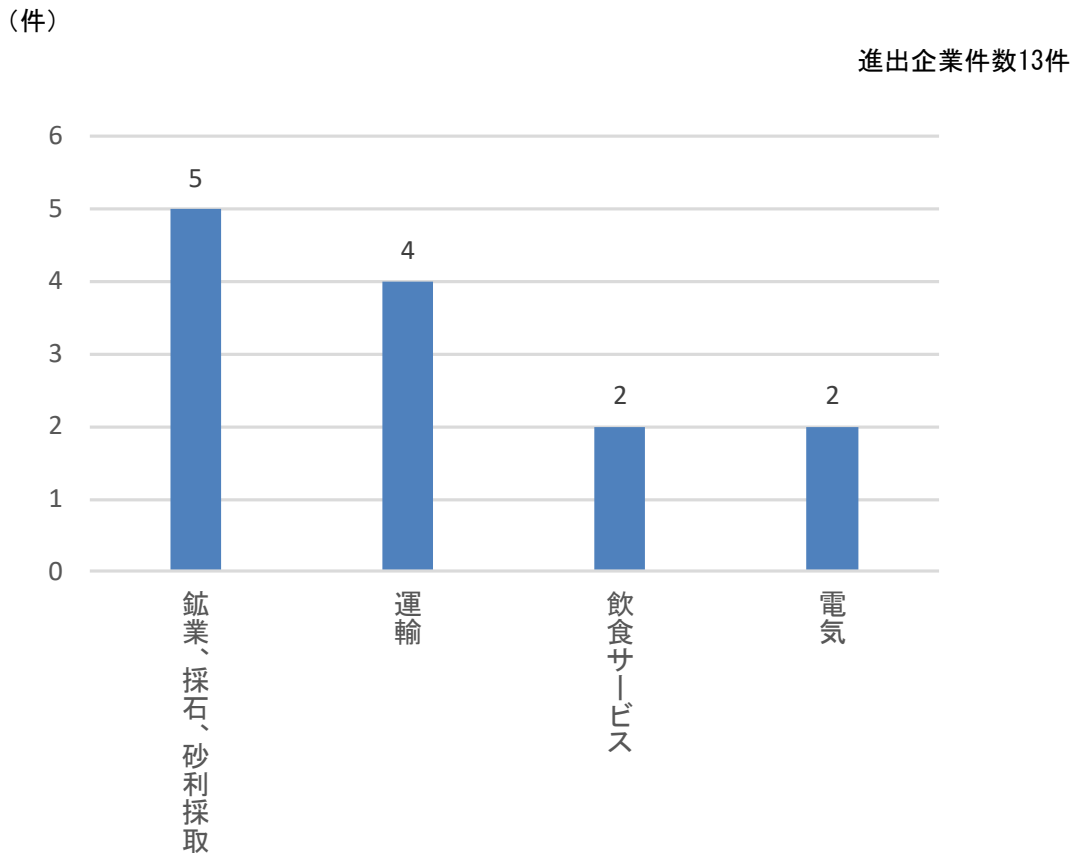
寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋2.5%）、鉄鉱石（＋1.0%）等
寄与度（減少分）：石油ガス類（▲9.6%）、石炭（▲8.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-14-5 九州企業のオーストラリア進出件数の推移



図表2-14-6 九州企業のオーストラリア進出件数（業種別）



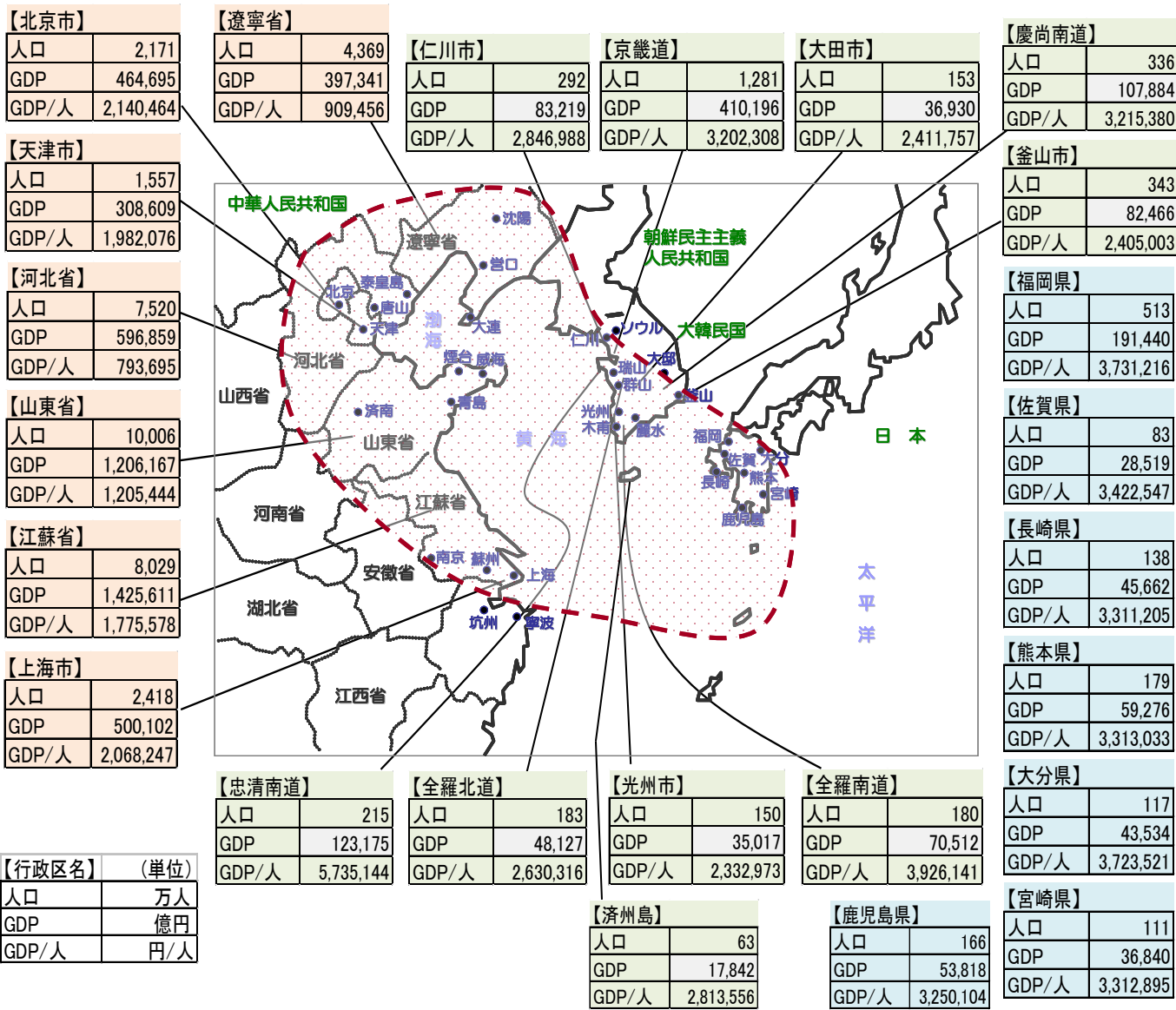
15. 環黄海地域との経済関係

15-1 環黄海経済圏の概要

- 九州と韓国・中国の黄海に面した沿岸部で構成される環黄海経済圏は、国家間で協定を結んで形成されたEUやASEAN等とは異なり、貿易や投資、人の移動等の実体経済の結びつきを背景とした局地経済圏である。
- 圏域は直径約1,500km内に収まり、その地理的近接性や長い交流の歴史などを背景として、人的交流、経済交流及び地域間交流などが活発に行われているエリアである。
- 環黄海経済圏の人口は約4億人で、他の地域経済圏に比べると比較的少ないものの、GDPでは約5.7兆ドルで、ASEANやMERCOSURを上回る規模となっており、環黄海経済圏の動向が世界に与える影響は小さくない。

【環黄海地域図】

※環黄海地域：日本(九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
中国(北京市、天津市、河北省、遼寧省、上海市、江蘇省、山東省)
韓国(釜山市、仁川市、光州市、大田市、京畿道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道、済州島)



図表2-15-1 環黄海地域の骨格（2018年）※2018年データが最新

	人口 (万人)	面積 (万km ²)	GDP (億円)	GDP構成 比(%)
九州	1,301	4	470,371	8.4%
中国（環黄海地域）	36,151	63	5,210,623	34.7%
韓国（環黄海地域）	3,231	5	1,111,975	58.4%
合計	40,683	73	6,792,969	

備考：1ウォン=0.100円、1元=16.69円（2018年時点）で換算（内閣府「海外経済データ」）

出所：【九州】（人口）総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数（H31.1.1現在）

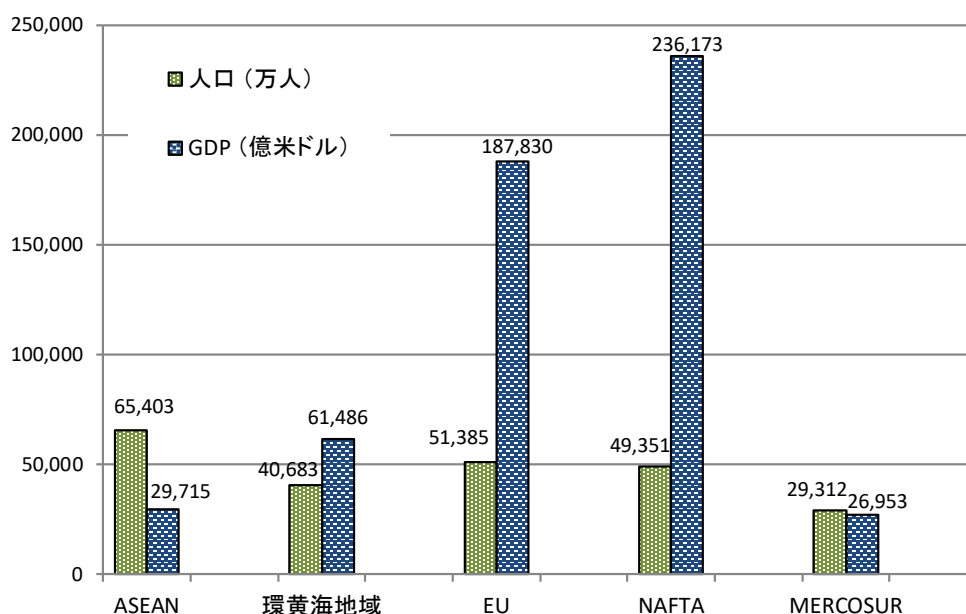
（GDP）内閣府「県民経済計算」平成29年度県内総生産（名目）」

（面積）国土交通省「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」（10月1日現在）

【中国】（人口、GDP、面積）中国経済データハンドブック（2019年版）（データは2018年時点）

【韓国】（人口、GDP、面積）「Korea Statistical Yearbook 2019」（データは2018年時点）

図表2-15-2 世界の地域経済圏との比較（2018年・グラフ）



図表2-15-3 世界の地域経済圏との比較（2018年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,403	29,715	4,543
環黄海地域	(3か国)	40,683	61,486	15,113
欧州連合 (EU)	28か国	51,385	187,830	36,553
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,351	236,173	47,856
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,312	26,953	9,195

※為替レート（2018年） 1ドル=112.17円、1100.50ウォン、6.616円で換算（内閣府「月刊海外経済データ」）

図表2-15-2～3備考：九州のGDPは、2017年度の値（1ドル=112.17円で換算）。

韓国・中国のGDPは、2018年の値（1ドル=1,100.50ウォン、6.62元

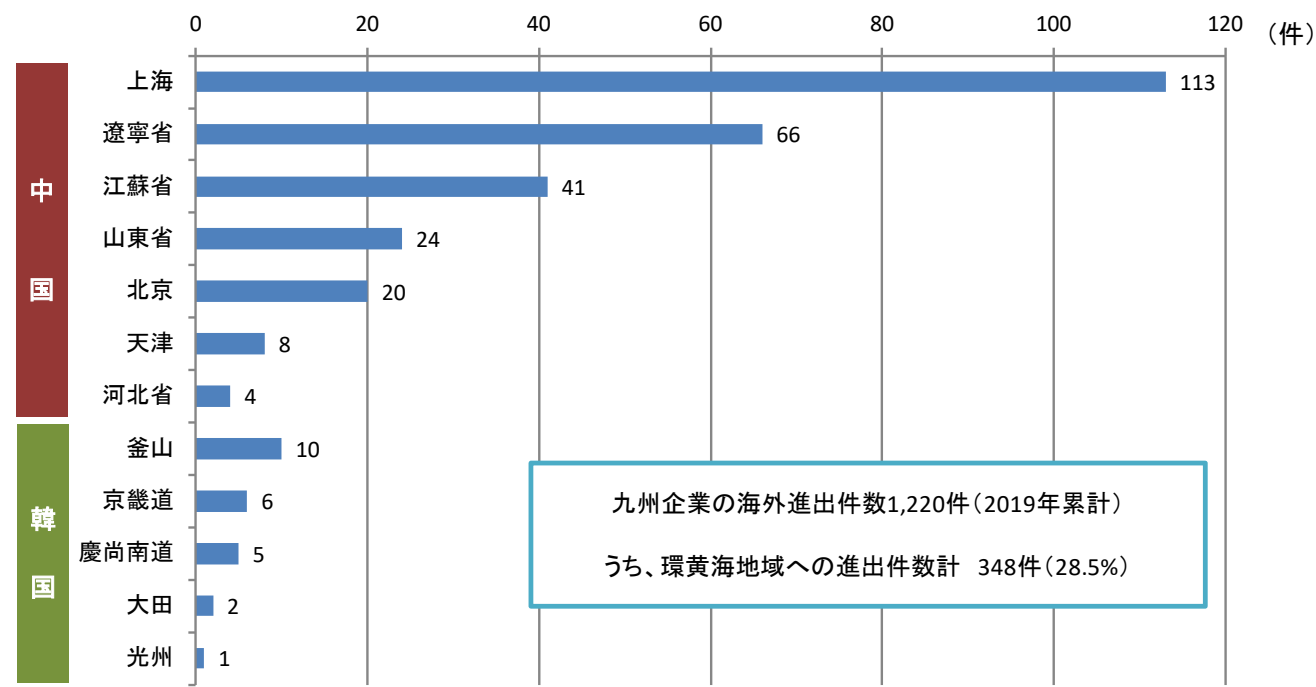
NAFTA加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）

MERCOSUR加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

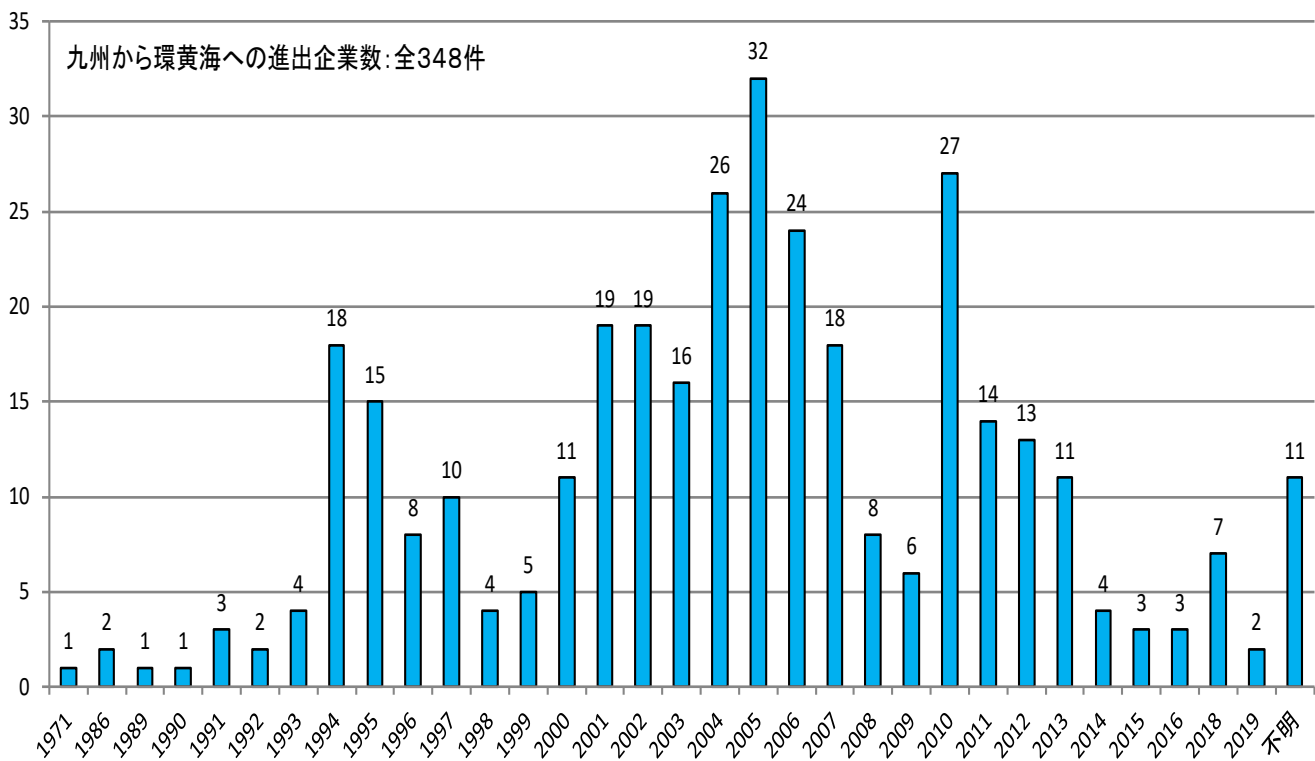
図表2-15-2～3出所：環黄海地域以外については、UNCTAD statより九州経済産業局作成。人口・GDPは図表2-15-1参照。

15-2 環黄海经济圈への企業進出

図表2-15-4 九州から環黄海地域への企業進出件数（2019年累計）



図表2-15-5 九州企業の環黄海地域進出件数の推移

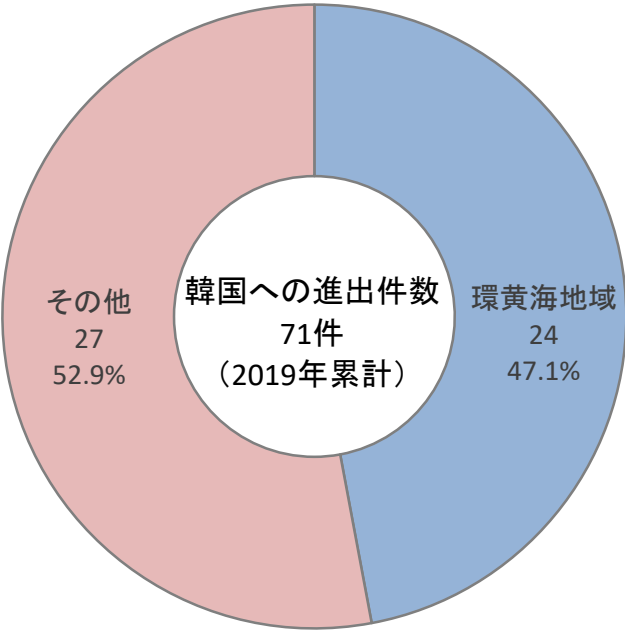


図表2-15-4、5出所：（公材）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

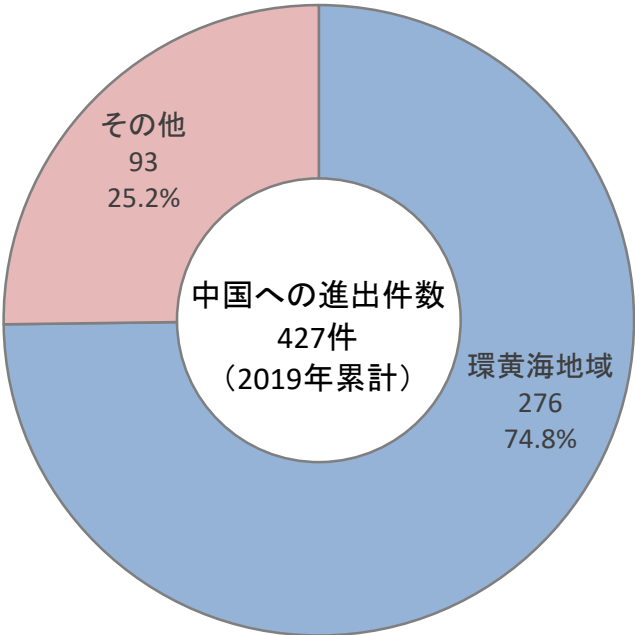
図表2-15-6 九州企業の環黄海地域進出件数（韓国・中国）

（単位：件、％）

【韓国】



【中国】



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

16. ASEANとの貿易

16-1 ASEANの経済概況

名 称	東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations)
設 立	1967年8月8日(於:バンコク)
事 務 局	ジャカルタ 事務総長:リム・ジョクホイ(2018年～)
加 盟 国	10ヶ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)

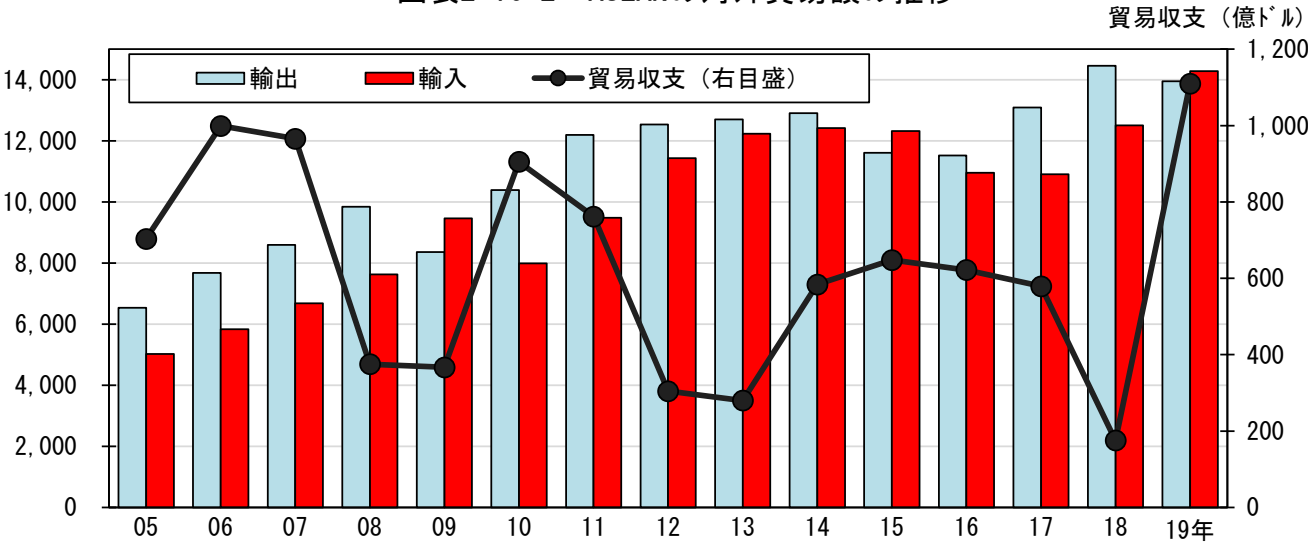
出所: 日本ASEANセンター「ASEAN情報マップ」

図表2-16-1 世界の地域経済圏の比較 (2019年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP／人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	66,072	31,735	4,803	26,795
欧州連合 (EU)	28か国	51,472	183,183	35,589	117,206
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,709	245,433	49,374	59,972
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,485	27,402	9,293	5,937

出所: UNCTADstatより九州経済産業局作成
備考: NAFTA加盟国 (アメリカ、カナダ、メキシコ)
MERCOSUR加盟国 (アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)

図表2-16-2 ASEANの対外貿易額の推移

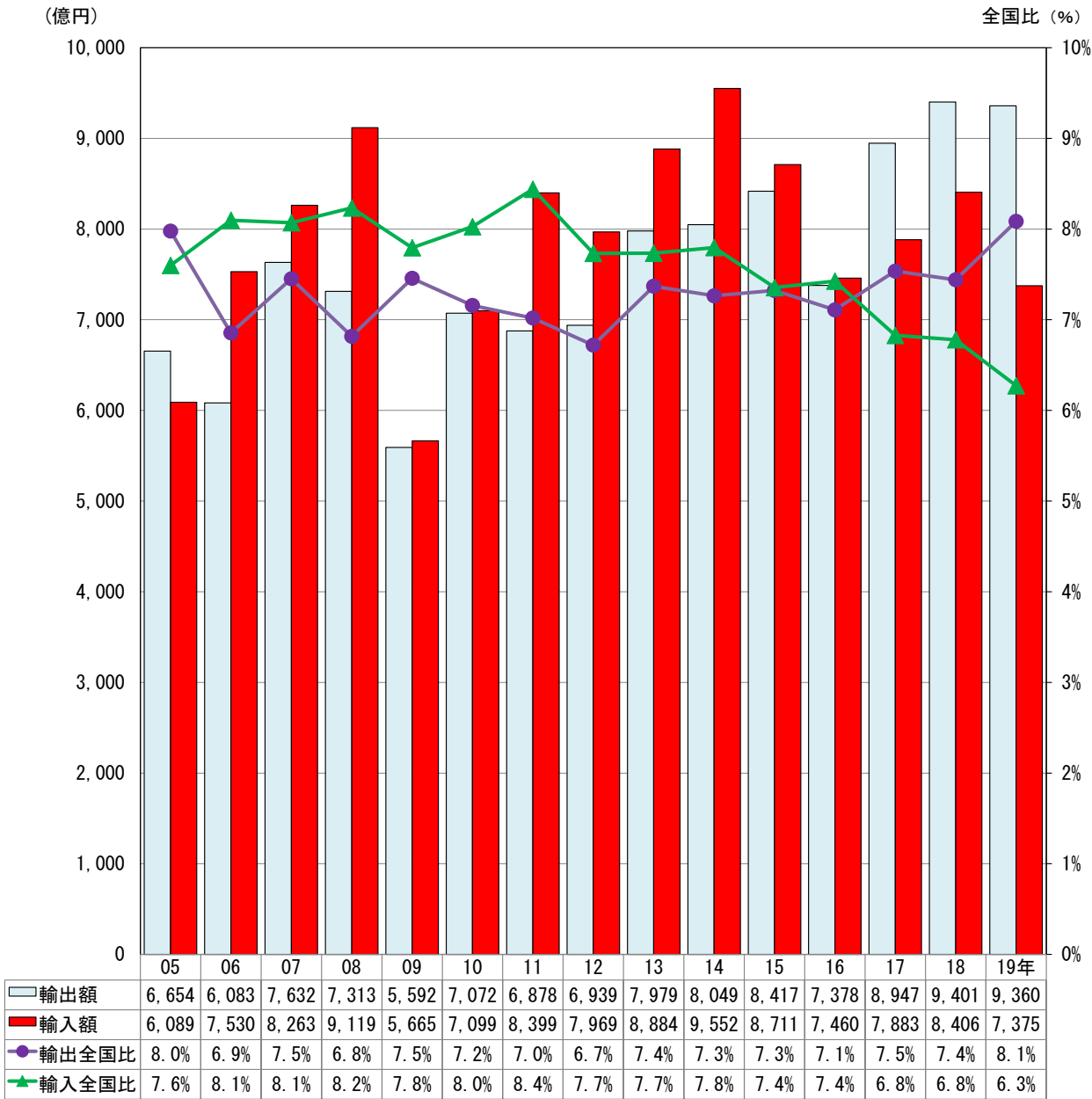


出所: (2000～2011年) ジェトロ「ASEAN10ヶ国貿易統計」、(2012年～) UNCTADstatより九州経済産業局作成

16-2 ASEANとの貿易動向

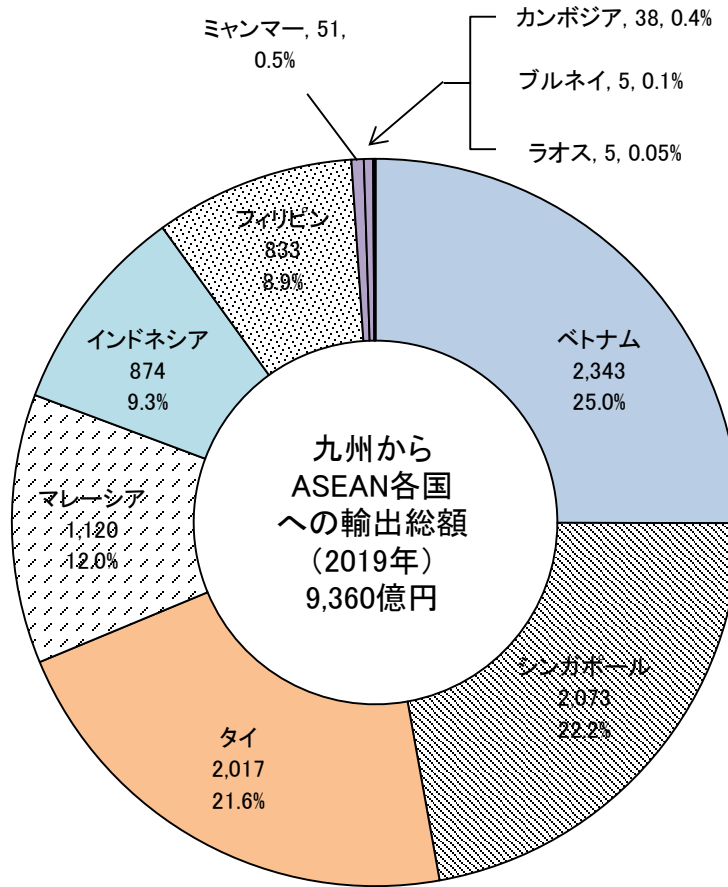
- 2019年の九州の対ASEAN貿易額
輸出総額：9, 360億円（対前年▲0.4%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：7, 375億円（対前年▲12.3%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：1, 985億円（対前年+99.6%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類
〈寄与度↑〉船舶類（+6.1%）、半導体電子部品（+3.2%）
〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲2.6%）、原動機（▲1.6%）
- 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、天然ゴム、石炭
〈寄与度↑〉通信機（+0.4%）、家庭用電気機器（+0.1%）等
〈寄与度↓〉非鉄金属鉱（▲6.0%）、石炭（▲2.7%）等

図表2-16-3 九州の対ASEAN貿易額の推移

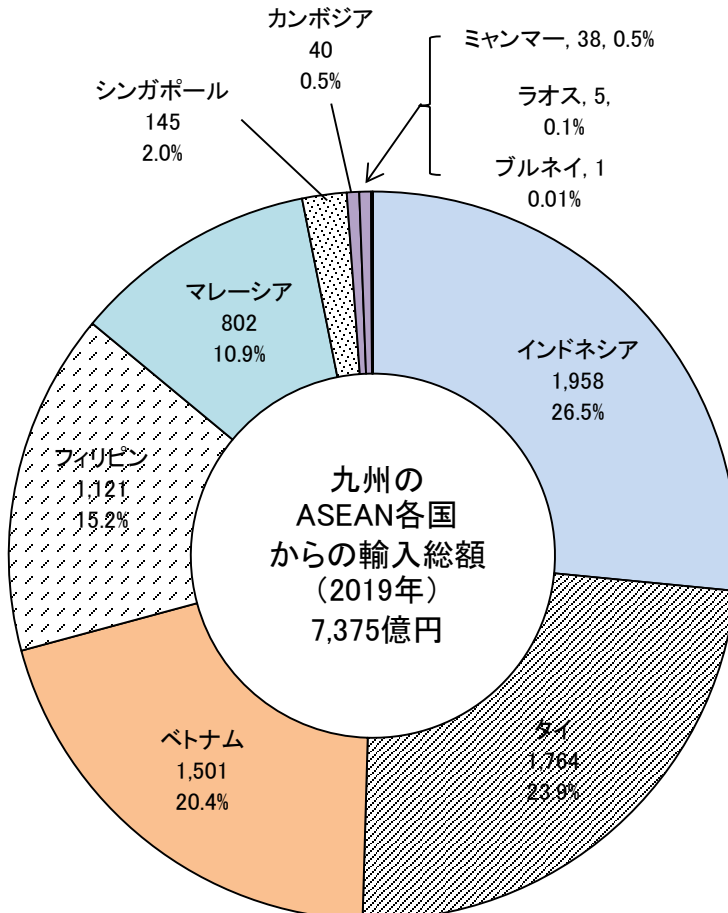


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-16-4 九州からASEANへの国別輸出額



図表2-16-5 九州のASEANからの国別輸入額



図表2-16-6 全国のASEAN域内における国別輸出入動向（2019年）

単位：億円、%

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	17,971	15.5%	▲0.9%	▲0.1%	24,509	20.8%	5.0%	0.9%
タイ	32,906	28.4%	▲7.6%	▲2.2%	27,651	23.5%	▲0.2%	▲0.05%
シンガポール	21,988	19.0%	▲14.9%	▲3.0%	8,512	7.2%	▲20.9%	▲1.8%
マレーシア	14,490	12.5%	▲5.8%	▲0.7%	19,263	16.4%	▲7.9%	▲1.3%
ブルネイ	145	0.1%	32.0%	0.03%	2,649	2.3%	2.4%	0.1%
フィリピン	11,613	10.0%	▲6.6%	▲0.6%	11,561	9.8%	0.3%	0.03%
インドネシア	15,243	13.2%	▲12.6%	▲1.7%	19,820	16.9%	▲16.7%	▲3.2%
カンボジア	613	0.5%	31.5%	0.1%	1,886	1.6%	6.2%	0.1%
ラオス	104	0.1%	▲28.9%	▲0.03%	173	0.1%	0.8%	0.001%
ミャンマー	711	0.6%	▲7.2%	▲0.04%	1,542	1.3%	9.0%	0.1%
ASEAN 計	115,783	100.0%	▲8.4%	▲8.4%	117,567	100.0%	▲5.2%	▲5.2%

図表2-16-7 九州のASEAN域内における国別輸出入動向（2019年）

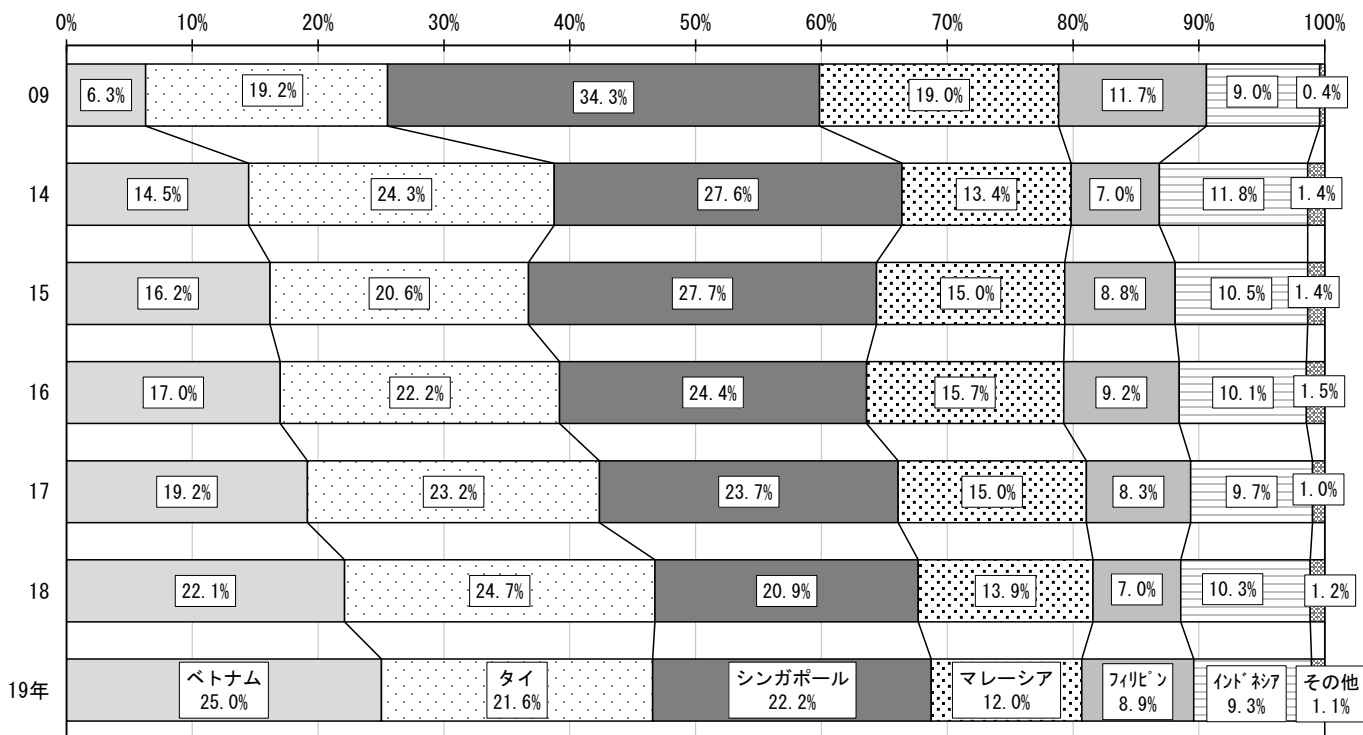
単位：億円、%

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,343	25.0%	12.8%	2.8%	13.0%	1,501	20.4%	3.7%	0.6%	6.1%
タイ	2,017	21.6%	▲13.0%	▲3.2%	6.1%	1,764	23.9%	▲1.1%	▲0.2%	6.4%
シンガポール	2,073	22.2%	5.4%	1.1%	9.4%	145	2.0%	▲5.8%	▲0.1%	1.7%
マレーシア	1,120	12.0%	▲14.1%	▲2.0%	7.7%	802	10.9%	▲19.7%	▲2.3%	4.2%
ブルネイ	5	0.1%	▲69.2%	▲0.1%	3.6%	1.1	0.014%	175.9%	0.0%	0.04%
フィリピン	833	8.9%	27.1%	1.9%	7.2%	1,121	15.2%	▲3.1%	▲0.4%	9.7%
インドネシア	874	9.3%	▲9.6%	▲1.0%	5.7%	1,958	26.5%	▲29.6%	▲9.8%	9.9%
カンボジア	38	0.4%	9.7%	0.04%	6.2%	40	0.5%	▲6.4%	▲0.03%	2.1%
ラオス	5	0.05%	▲18.6%	▲0.01%	4.3%	5	0.06%	▲2.1%	▲0.001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	▲0.6%	▲0.003%	7.2%	38	0.5%	8.4%	0.04%	2.5%
ASEAN 計	9,360	100.0%	▲0.4%	▲0.4%	8.1%	7,375	100.0%	▲12.3%	▲12.3%	6.3%

図表2-16-6～7出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

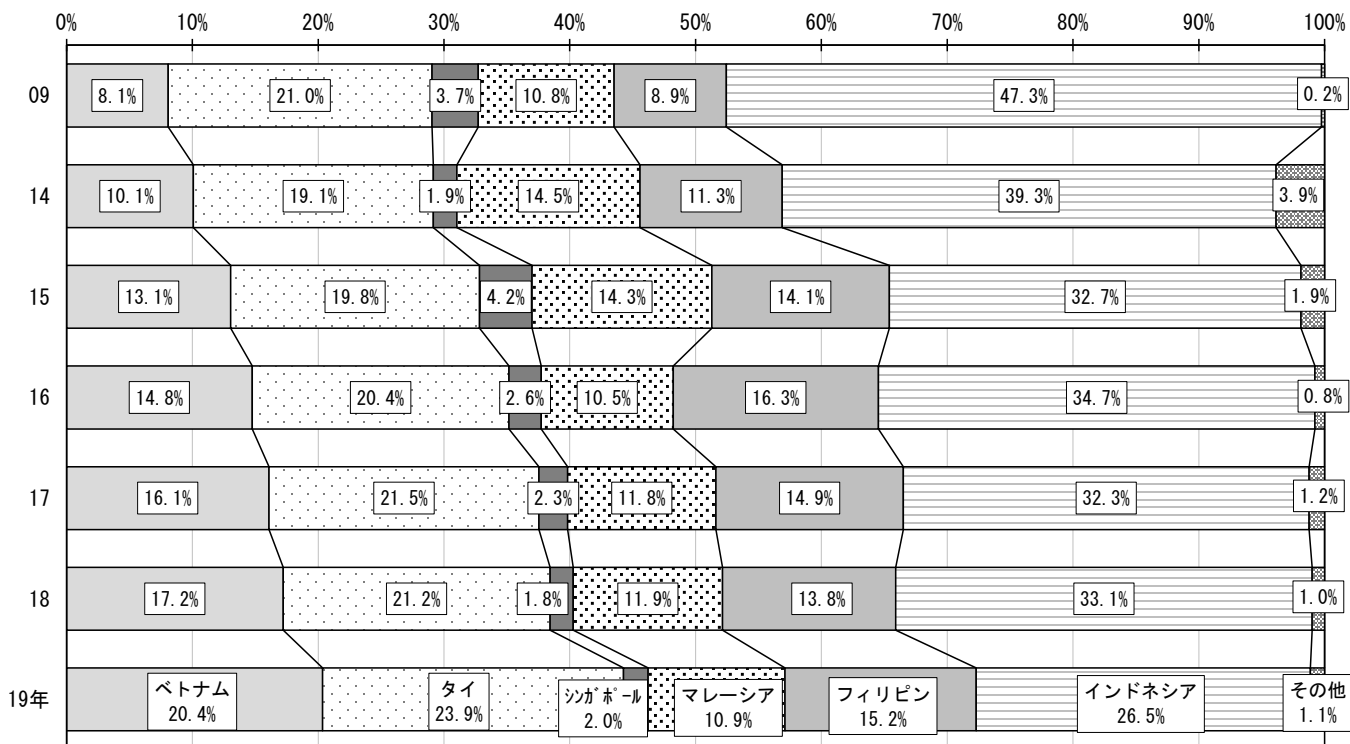
図表2-16-8 ASEAN域内における九州の輸出相手国の推移

単位：％



図表2-16-9 ASEAN域内における九州の輸入相手国の推移

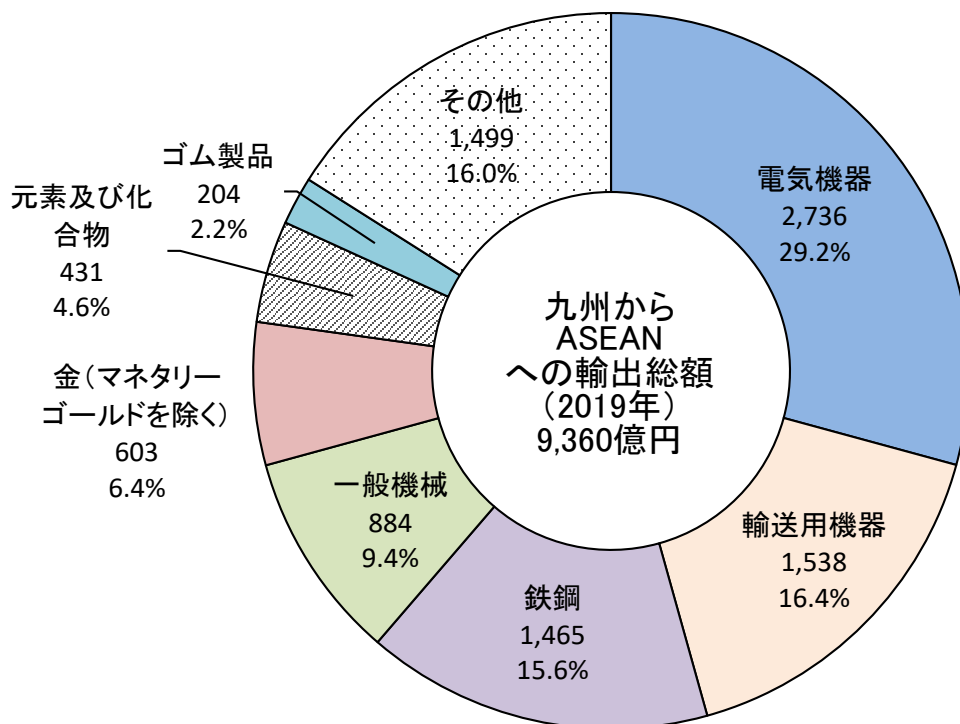
単位：％



図表2-16-10 九州からASEANへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



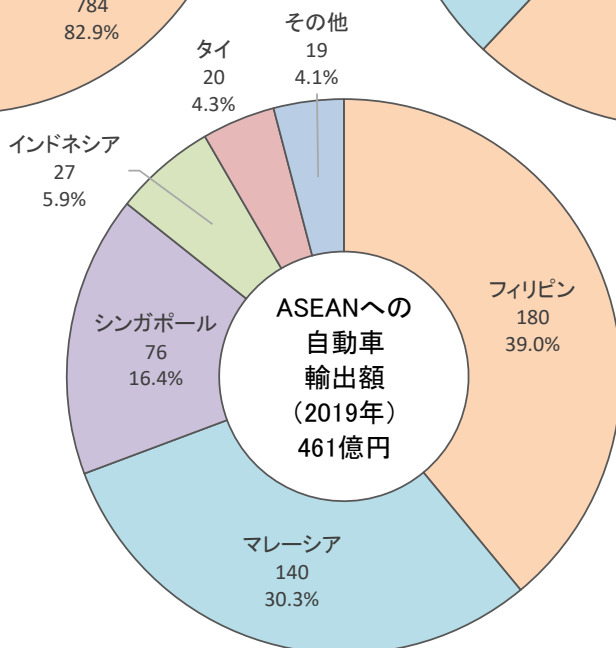
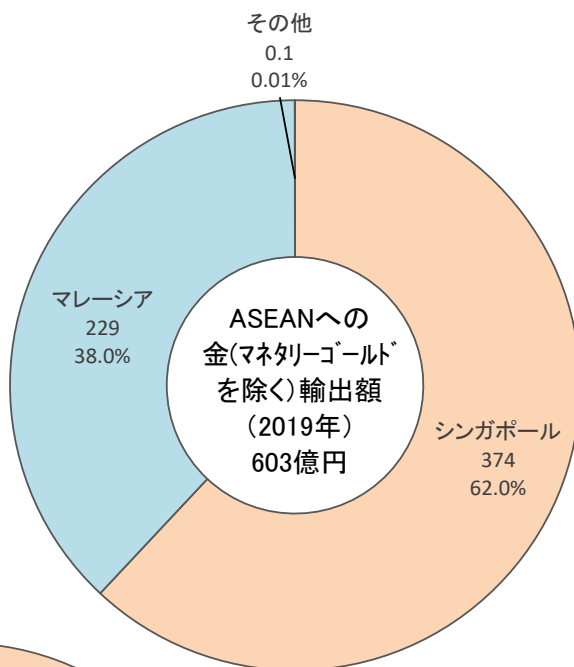
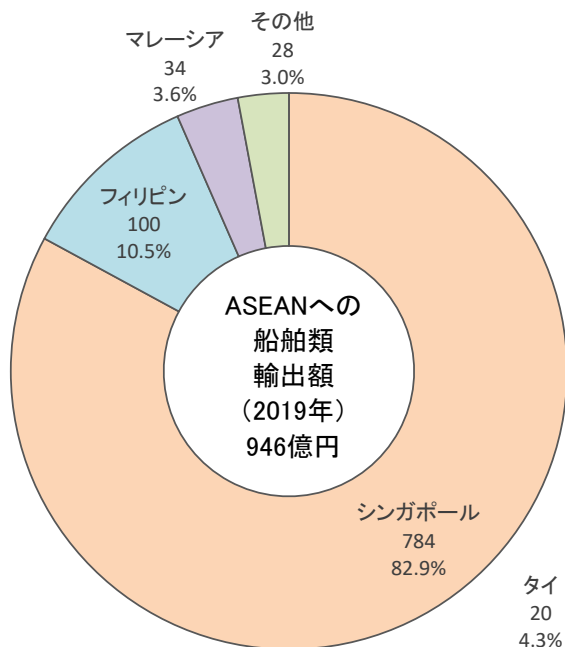
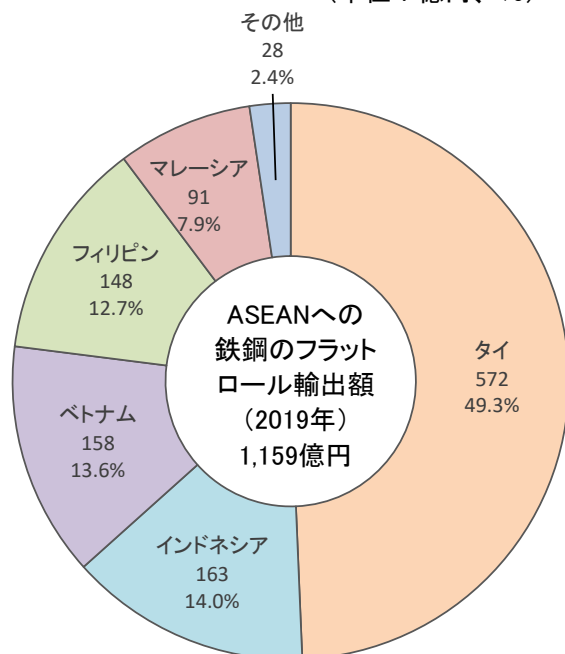
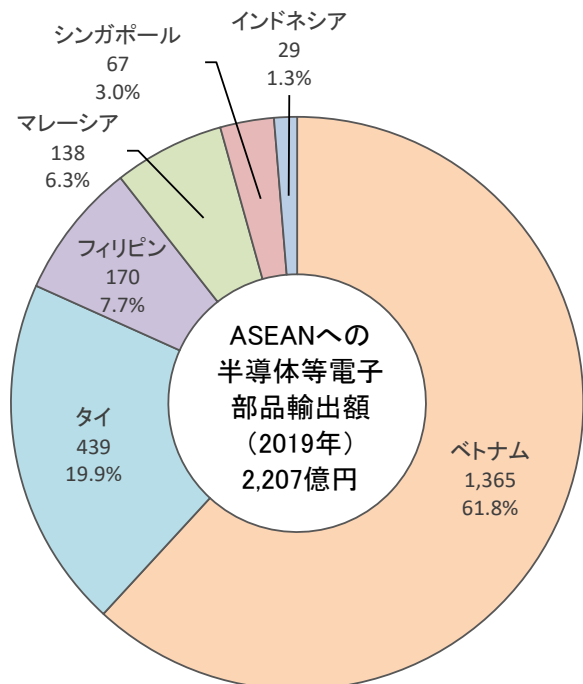
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	2,207	23.6%	15.8%	24.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,159	12.4%	▲17.5%	17.7%
船舶類	輸送用機器	946	10.1%	151.7%	34.2%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	603	6.4%	▲9.3%	32.9%
自動車	輸送用機器	461	4.9%	▲3.1%	8.2%
有機化合物	元素及び化合物	343	3.7%	▲16.8%	22.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	270	2.9%	▲4.0%	16.8%
事務用機器	一般機械	209	2.2%	▲17.3%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	186	2.0%	1.4%	39.1%
荷役機械	一般機械	160	1.7%	53.9%	11.6%
その他		2,817	30.1%	-	-
総 額		9,360	100.0%	▲0.4%	8.1%

寄与度（増加分）：船舶類（+6.1%）、半導体等電子部品（+3.2%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲2.6%）、原動機（▲1.6%）等

図表2-16-11 九州からASEANへの主要輸出品目に係る輸出相手国

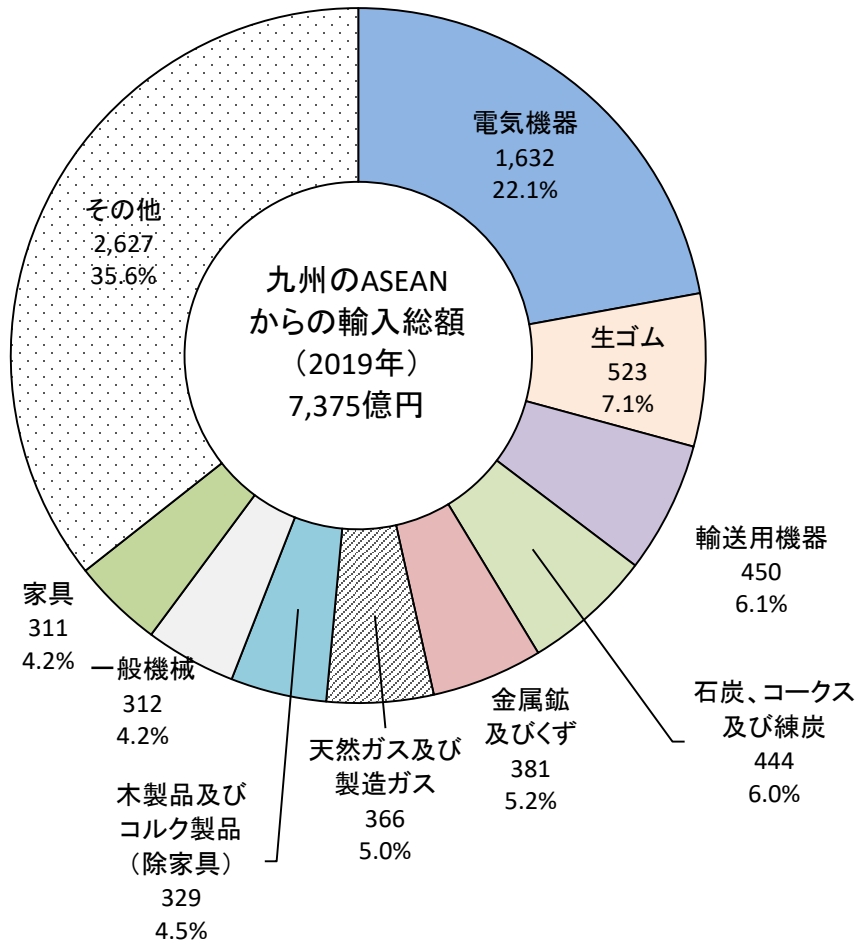
(単位：億円、%)



図表2-16-12 九州のASEANからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



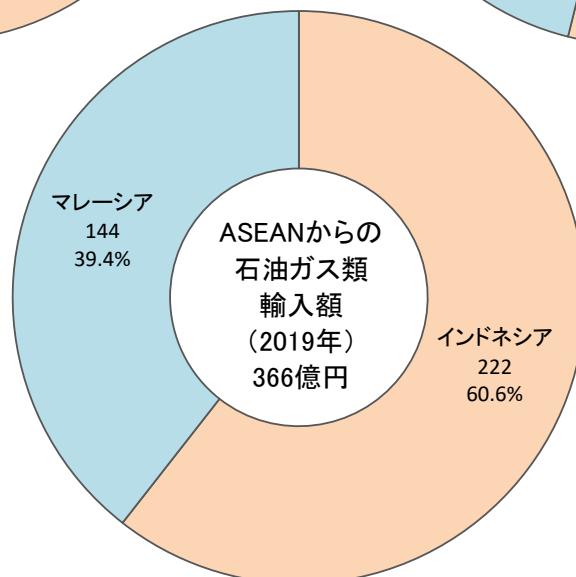
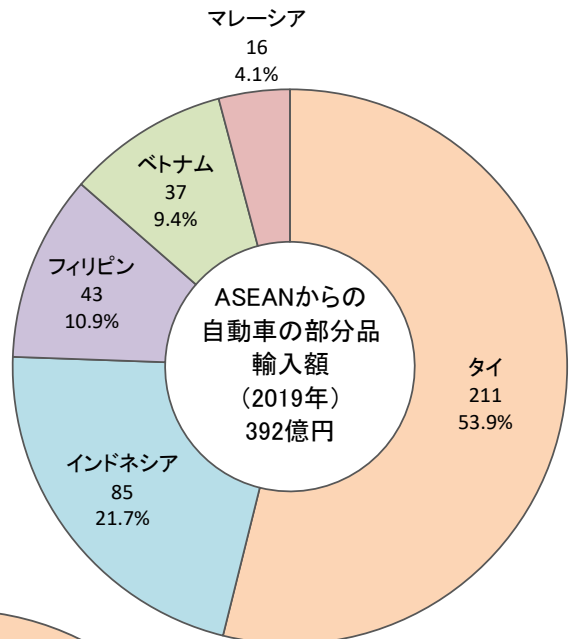
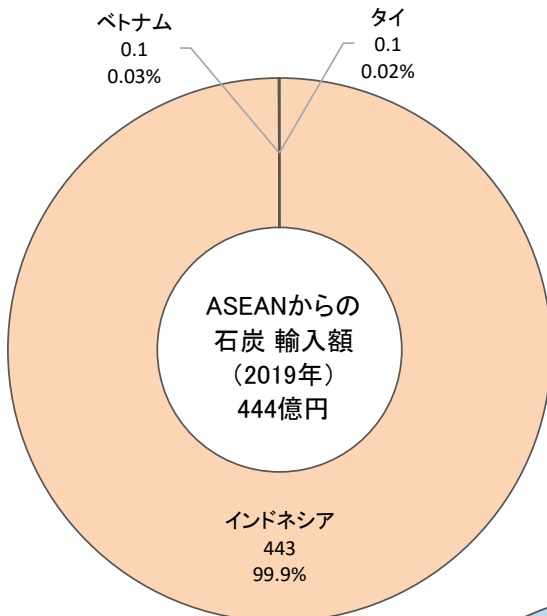
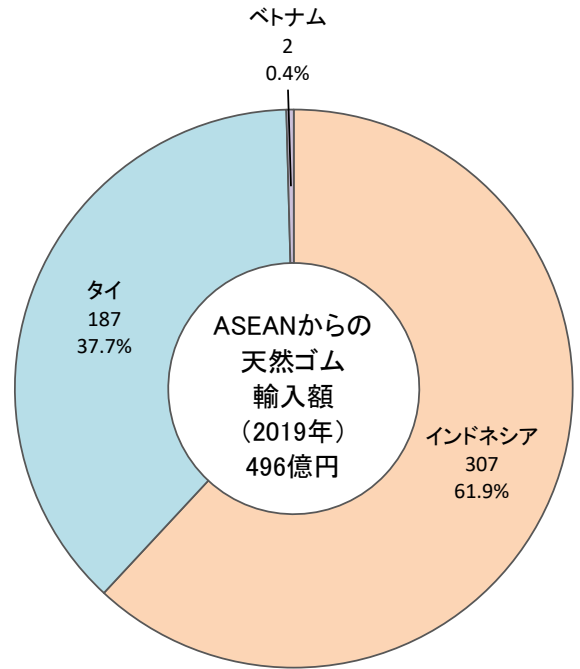
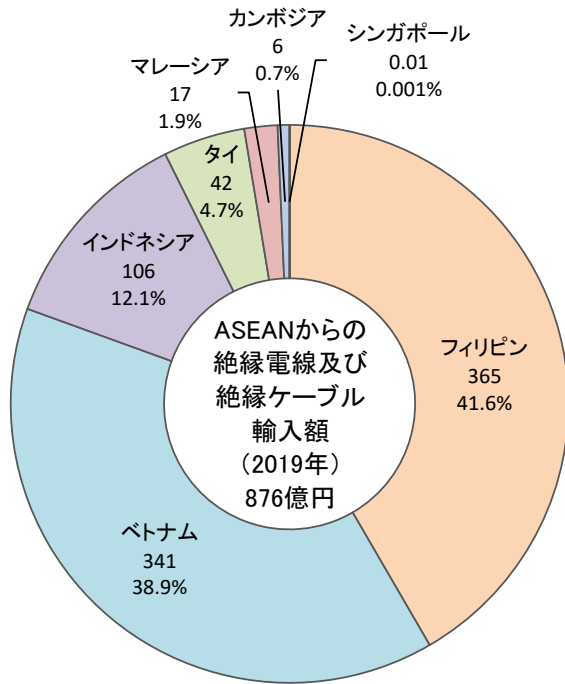
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	876	11.9%	▲0.5%	16.3%
天然ゴム	生ゴム	496	6.7%	▲2.1%	40.9%
石炭	石炭、コークス及び練炭	444	6.0%	▲33.6%	14.4%
自動車の部分品	輸送用機器	392	5.3%	0.5%	18.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	366	5.0%	▲31.2%	3.7%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	253	3.4%	▲66.8%	11.4%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	219	3.0%	▲0.8%	6.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	126	1.7%	4.5%	7.9%
半導体等電子部品	電気機器	126	1.7%	▲10.3%	3.1%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	116	1.6%	▲13.0%	10.8%
その他		3,962	53.7%	-	-
総額		7,375	100%	▲12.3%	6.3%

寄与度（増加分）：通信機（＋0.4%）、家庭用電気機器（＋0.1%）等
寄与度（減少分）：非鉄金属鉱（▲6.0%）、石炭（▲2.7%）等

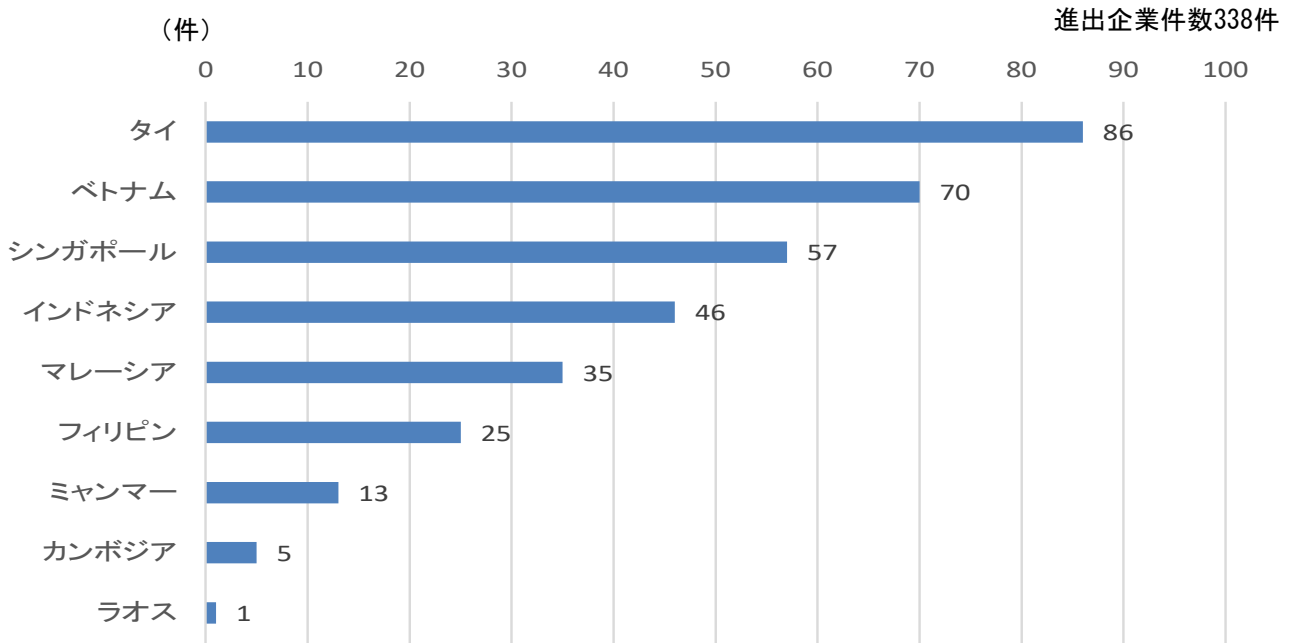
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-16-13 九州のASEANからの主要輸入品目に係る輸入相手国

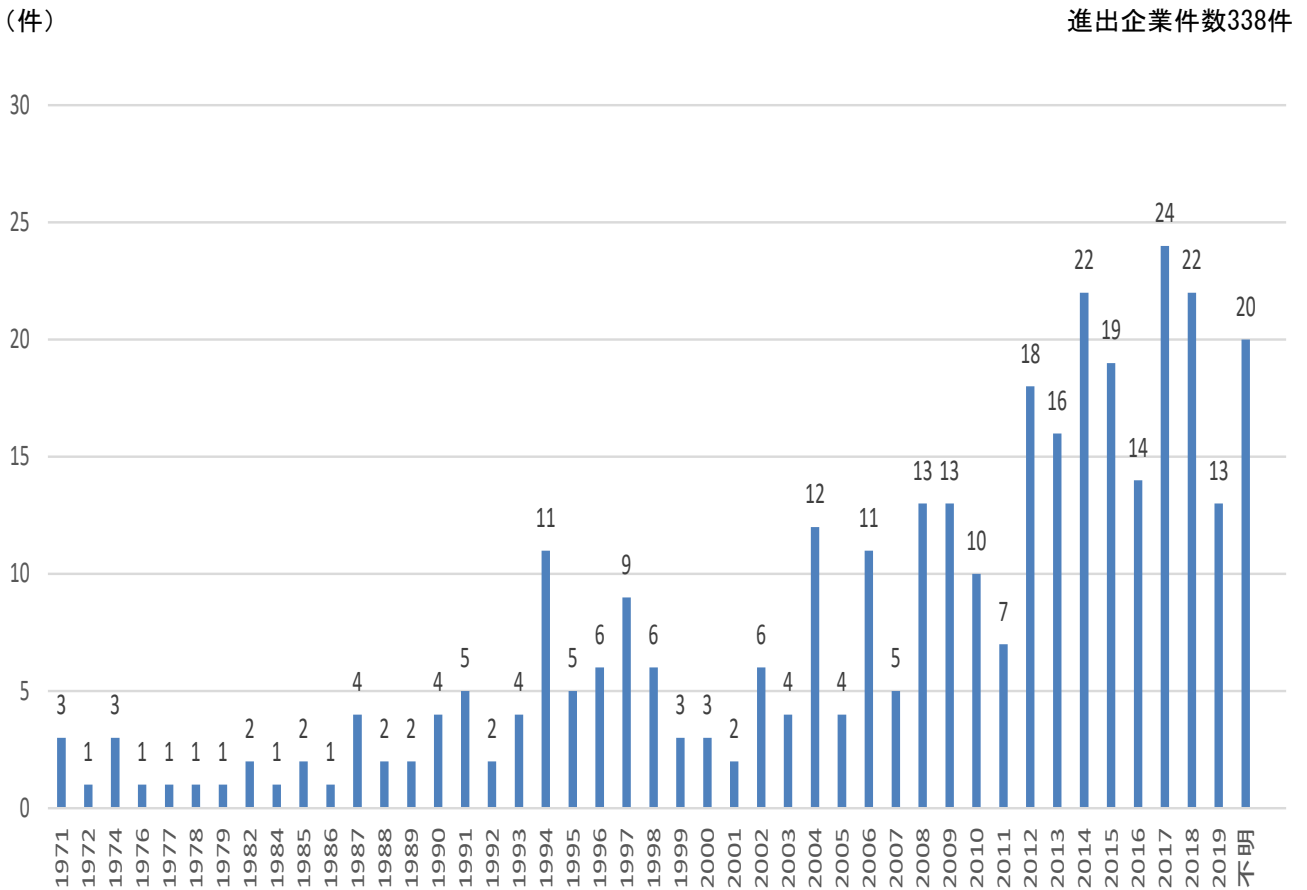
(単位：億円、%)



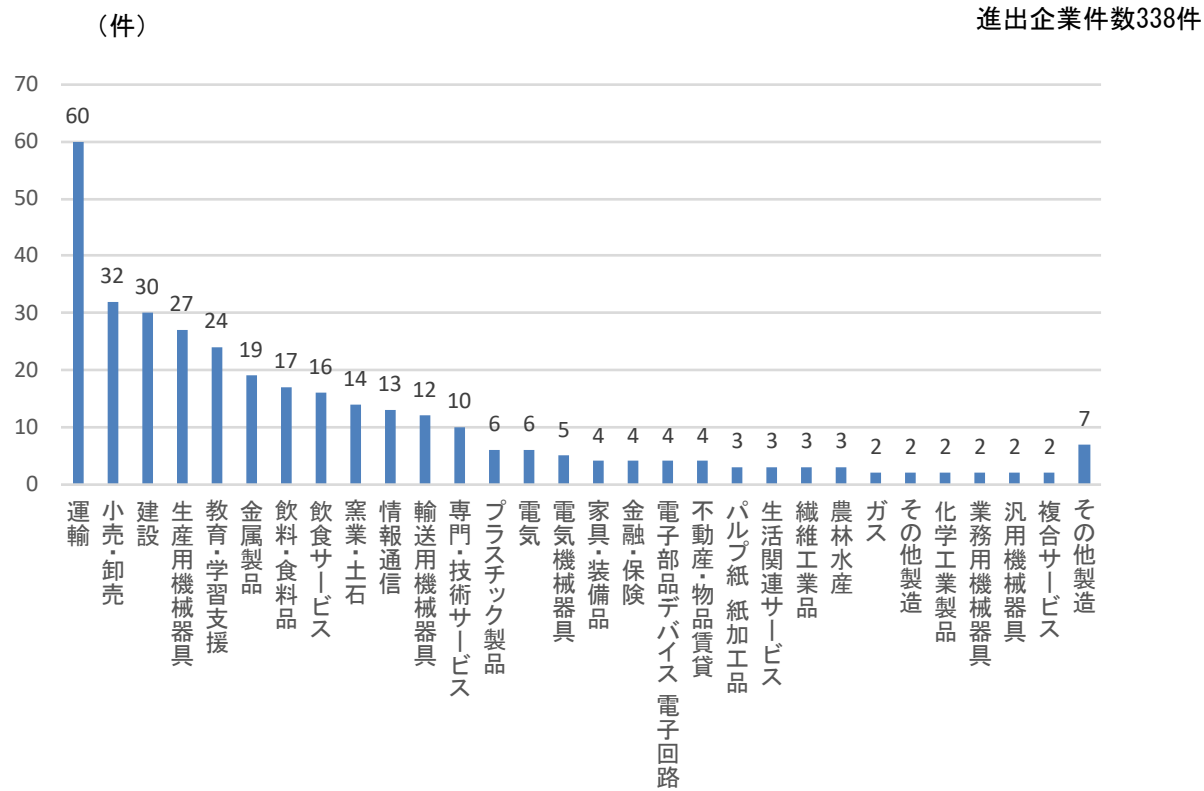
図表2-16-14 九州企業のASEAN各国進出件数（国別）



図表2-16-15 九州企業のASEAN進出件数の推移



図表2-16-16 九州企業のASEAN進出件数（業種別）



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

17. EUとの貿易

17-1 EUの経済概況

名 称	欧州連合 (European Union)
設 立	1993年11月
体 制	欧州理事会: 常任議長 シャルル・ミシェル前ベルギー首相 EU理事会: 半年交替の輪番制議長国閣僚(2020年前半クロアチア、2020年後半ドイツ)
加 盟 国	27ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア (英国は、2020年1月31日に離脱)

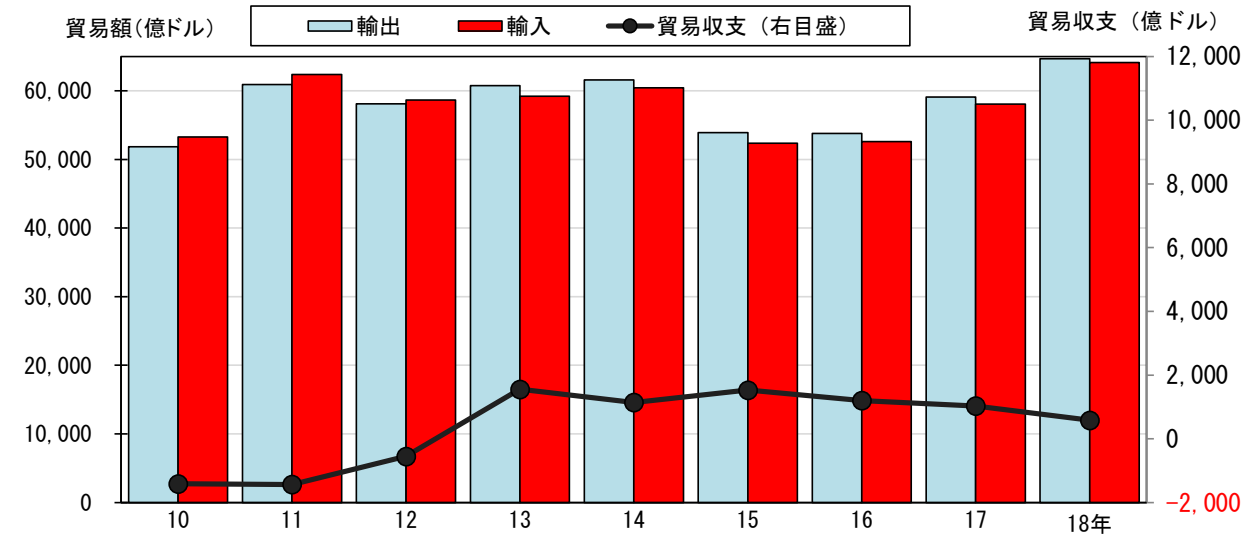
出所: 外務省HP「国・地域」(基礎データ“一般事情”)より九州経済産業局作成

図表2-17-1 世界の地域経済圏との比較 (2018年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP／人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所: UNCTADstatより九州経済産業局作成
備考: NAFTA加盟国 (アメリカ、カナダ、メキシコ)
MERCOSUR加盟国 (アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)

図表2-17-2 EUの対外貿易額の推移

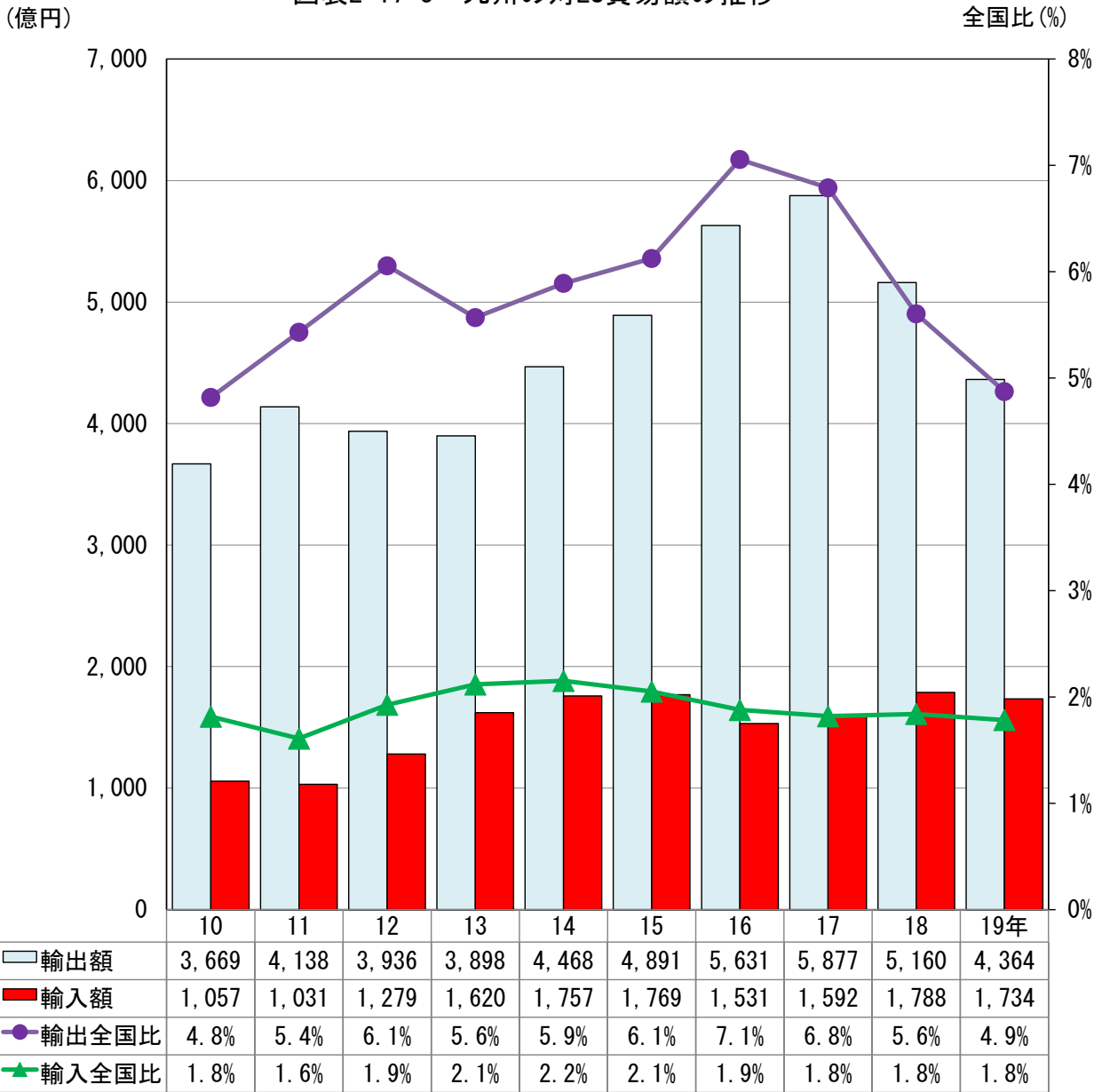


出所: UNCTADstatより九州経済産業局作成

17-2 EUとの貿易動向

- 2019年の九州の対EU貿易額
輸出総額：4,364億円（対前年▲15.4%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：1,734億円（対前年▲3.1%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：2,630億円（対前年▲742億円）
- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類
〈寄与度↑〉石油製品（+0.8%）、自動車（+0.8%）
〈寄与度↓〉船舶類（▲5.0%）、二輪自動車類（▲3.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品
〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+1.1%）、原動機（+0.9%）
〈寄与度↓〉航空機類（▲3.0%）、石油ガス類（▲2.3%）

図表2-17-3 九州の対EU貿易額の推移

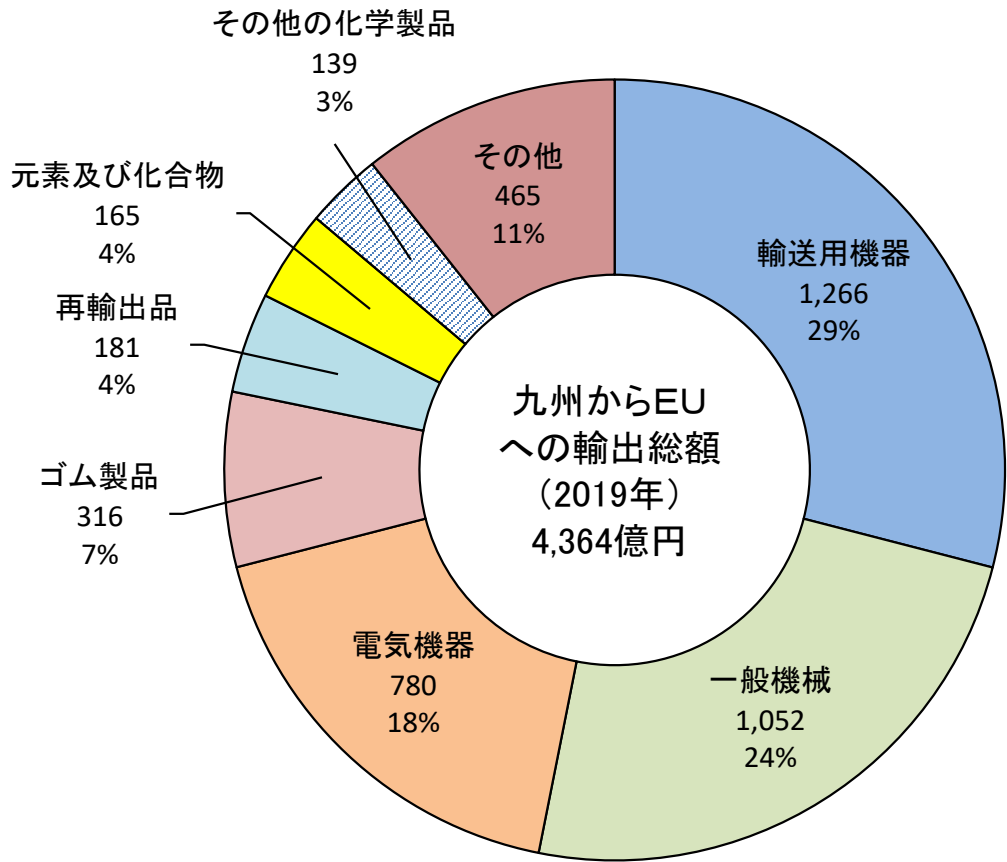


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-17-4 九州からEUへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)

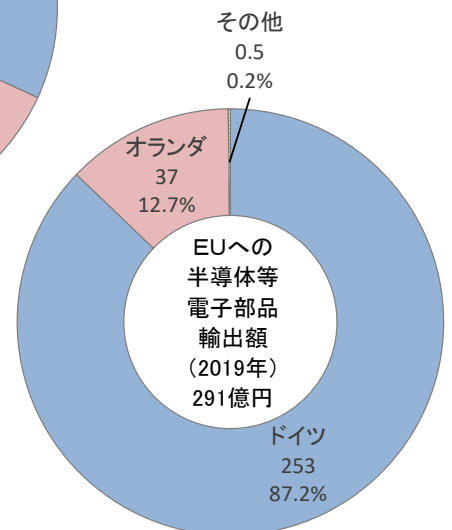
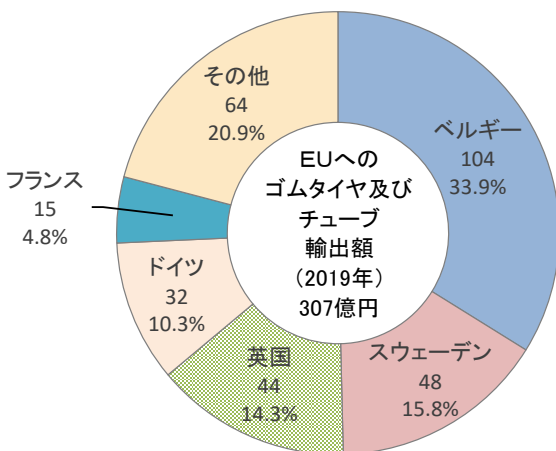
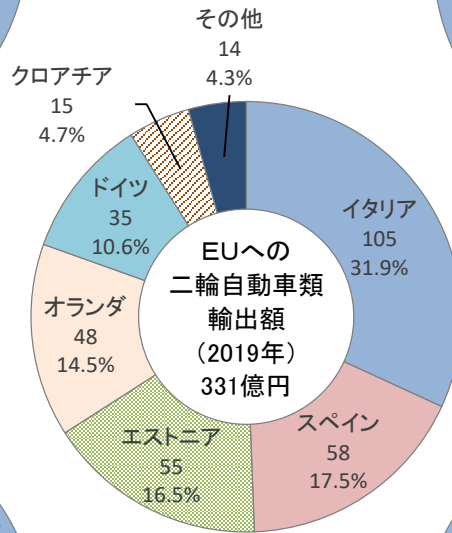
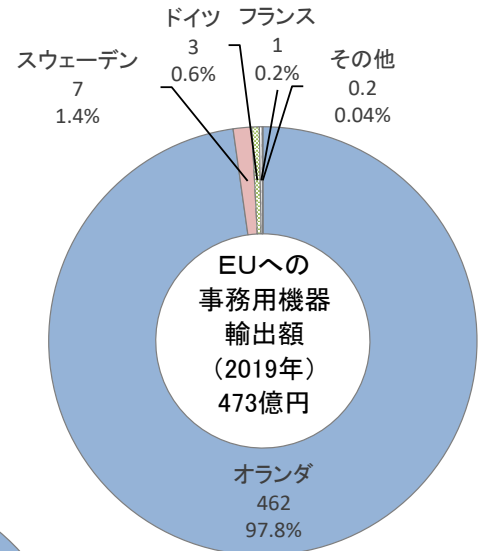
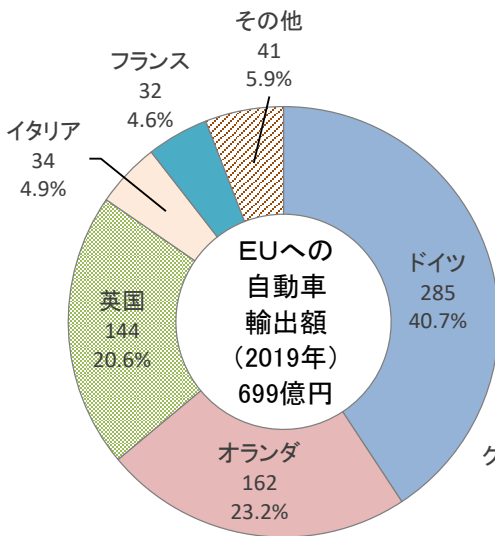
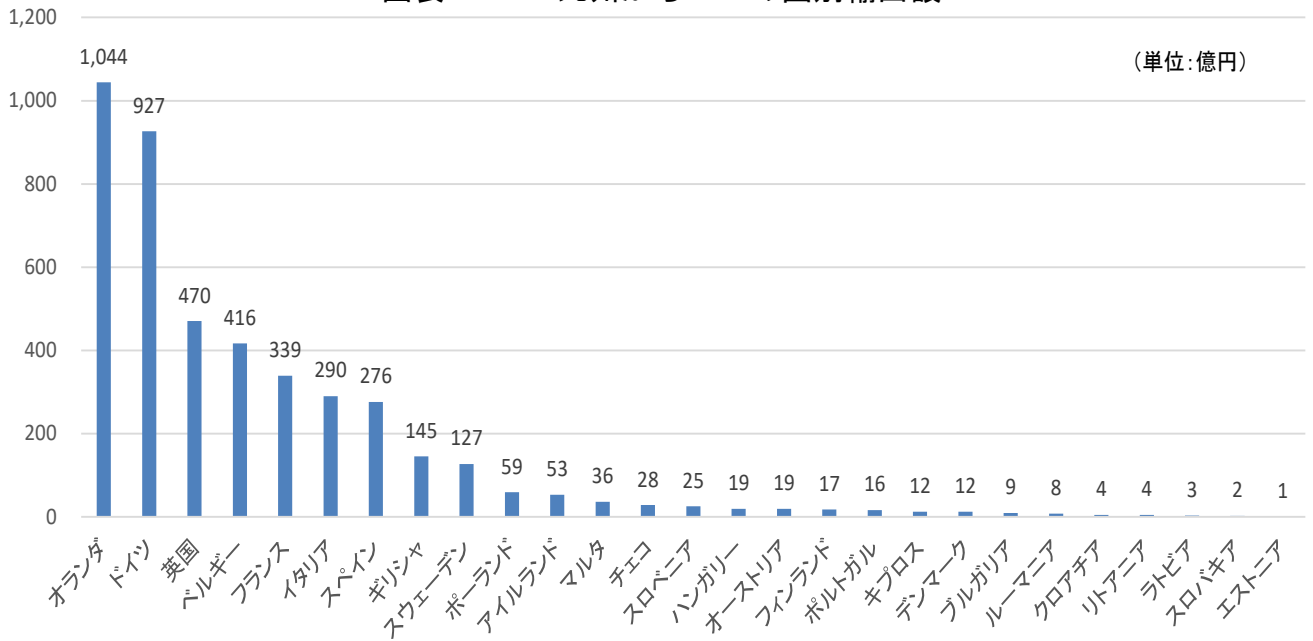


主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	699	16.0%	6.0%	4.4%
事務用機器	一般機械	473	10.8%	▲13.4%	13.9%
二輪自動車類	輸送用機器	331	7.6%	▲37.4%	22.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	307	7.0%	▲16.8%	46.0%
半導体等電子部品	電気機器	291	6.7%	▲28.2%	16.7%
映像機器	電気機器	190	4.4%	▲39.4%	25.9%
船舶類	輸送用機器	190	4.3%	▲57.8%	28.3%
自動車用等の電気機器	電気機器	155	3.5%	5.2%	13.0%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	130	3.0%	▲32.7%	6.5%
建設用・鉱山用機械	一般機械	116	2.7%	45.4%	4.8%
その他		1,484	34.0%	—	—
総 計		4,364	100.0%	▲15.4%	4.9%

寄与度（増加分）：石油製品（+0.8%）、自動車（+0.8%）等
寄与度（減少分）：船舶類（▲5.0%）、二輪自動車類（▲3.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

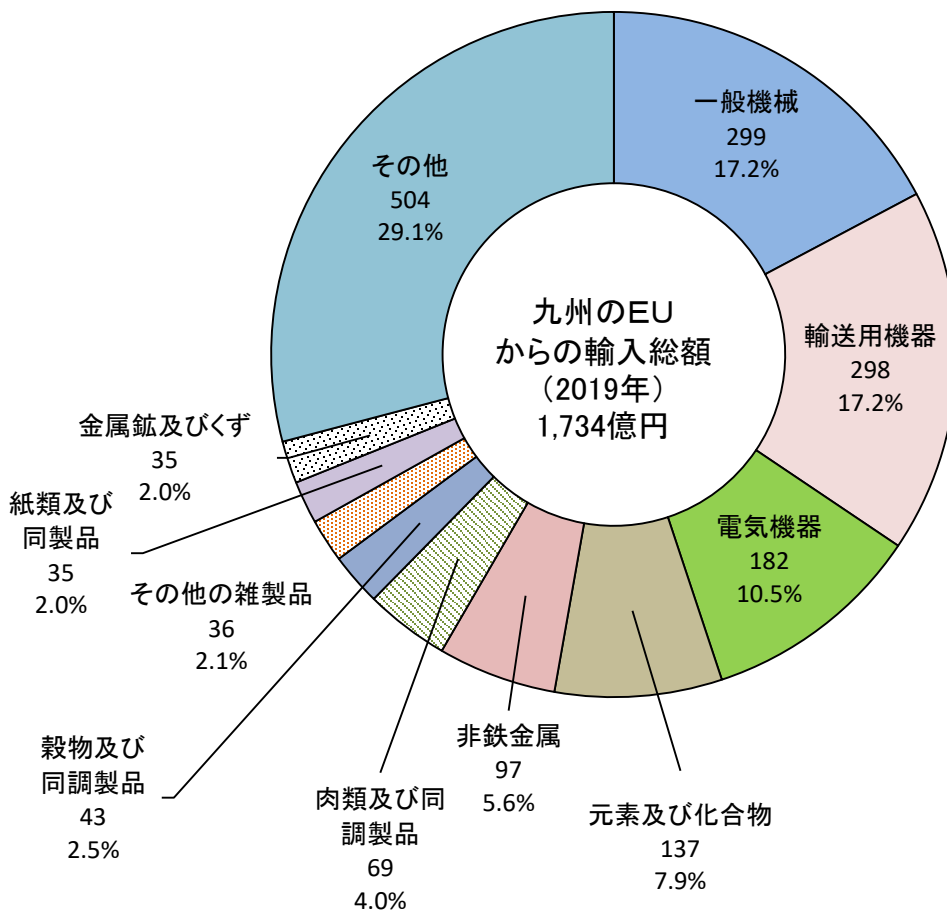
図表2-17-5 九州からEUへの国別輸輸出額



図表2-17-6 九州のEUからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



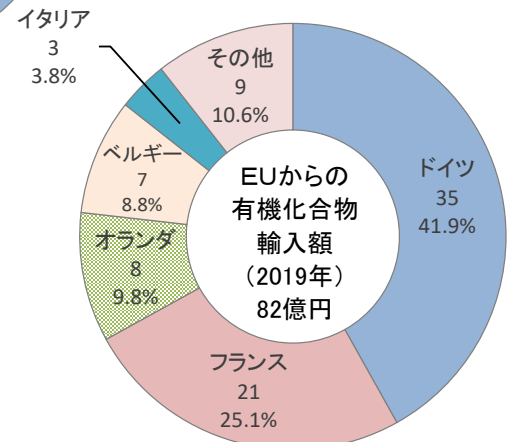
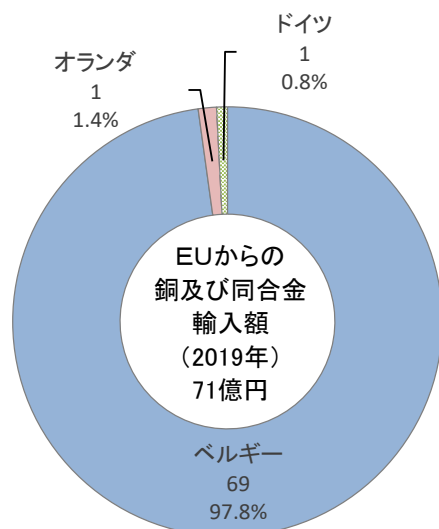
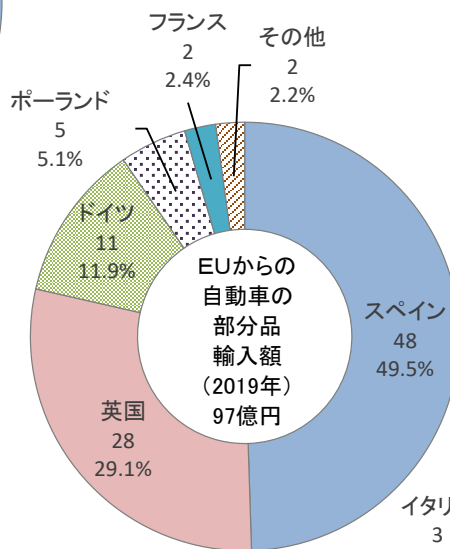
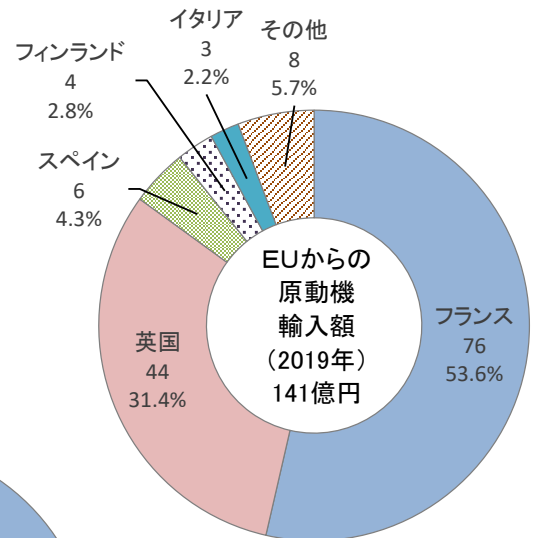
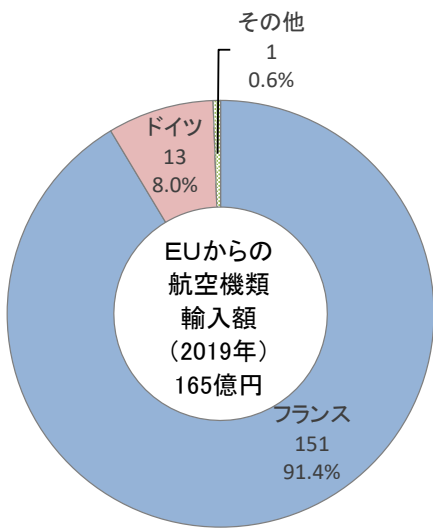
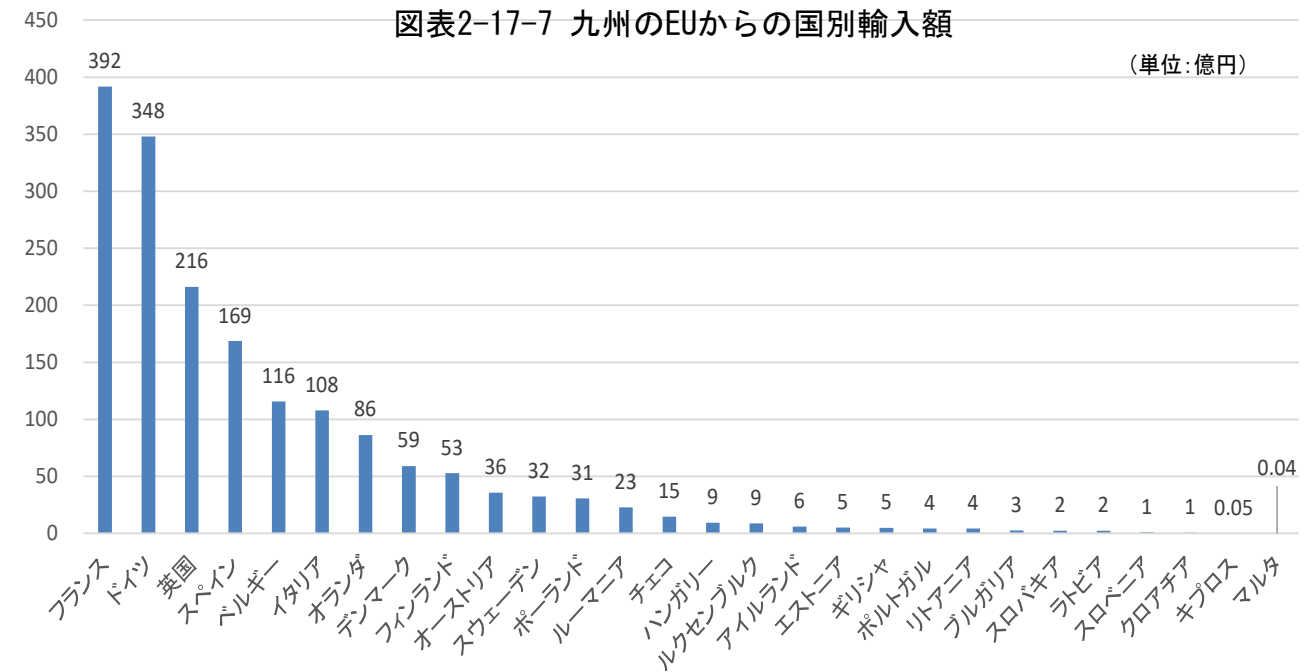
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
航空機類	輸送用機器	165	9.5%	▲24.4%	5.1%
原動機	一般機械	141	8.2%	13.0%	4.3%
自動車の部分品	輸送用機器	97	5.6%	4.3%	7.1%
有機化合物	元素及び化合物	82	4.8%	19.7%	1.7%
銅及び同合金	非鉄金属	71	4.1%	▲6.8%	58.4%
電気計測機器	電気機器	64	3.7%	5.4%	3.0%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	60	3.5%	12.5%	3.3%
無機化合物	元素及び化合物	54	3.1%	▲4.3%	7.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	52	3.0%	29.2%	4.2%
紙及び板紙	紙類及び同製品	34	1.9%	58.3%	6.9%
その他		913	52.7%	—	—
総 額		1,734	100%	-3.1%	1.8%

寄与度（増加分）：音響・映像機器（含部品）（+1.1%）、原動機（+0.9%）等

寄与度（減少分）：航空機類（▲3.0%）、石油ガス類（▲2.3%）等

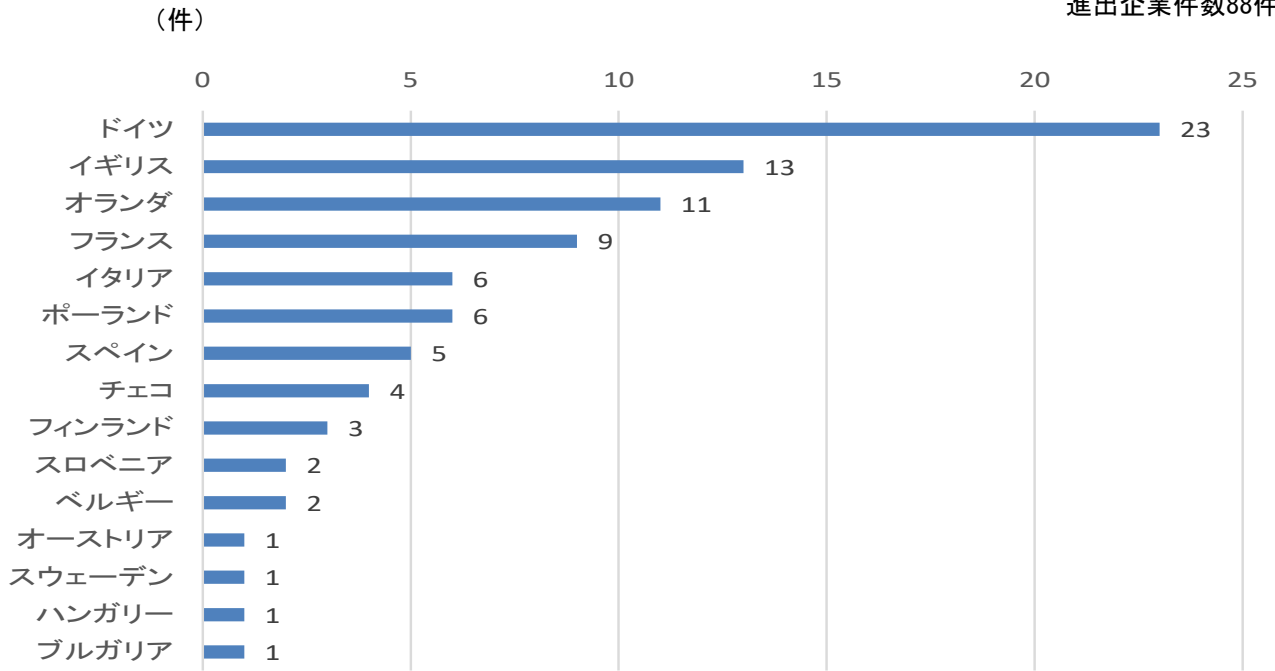
図表2-17-7 九州のEUからの国別輸入額

(単位:億円)



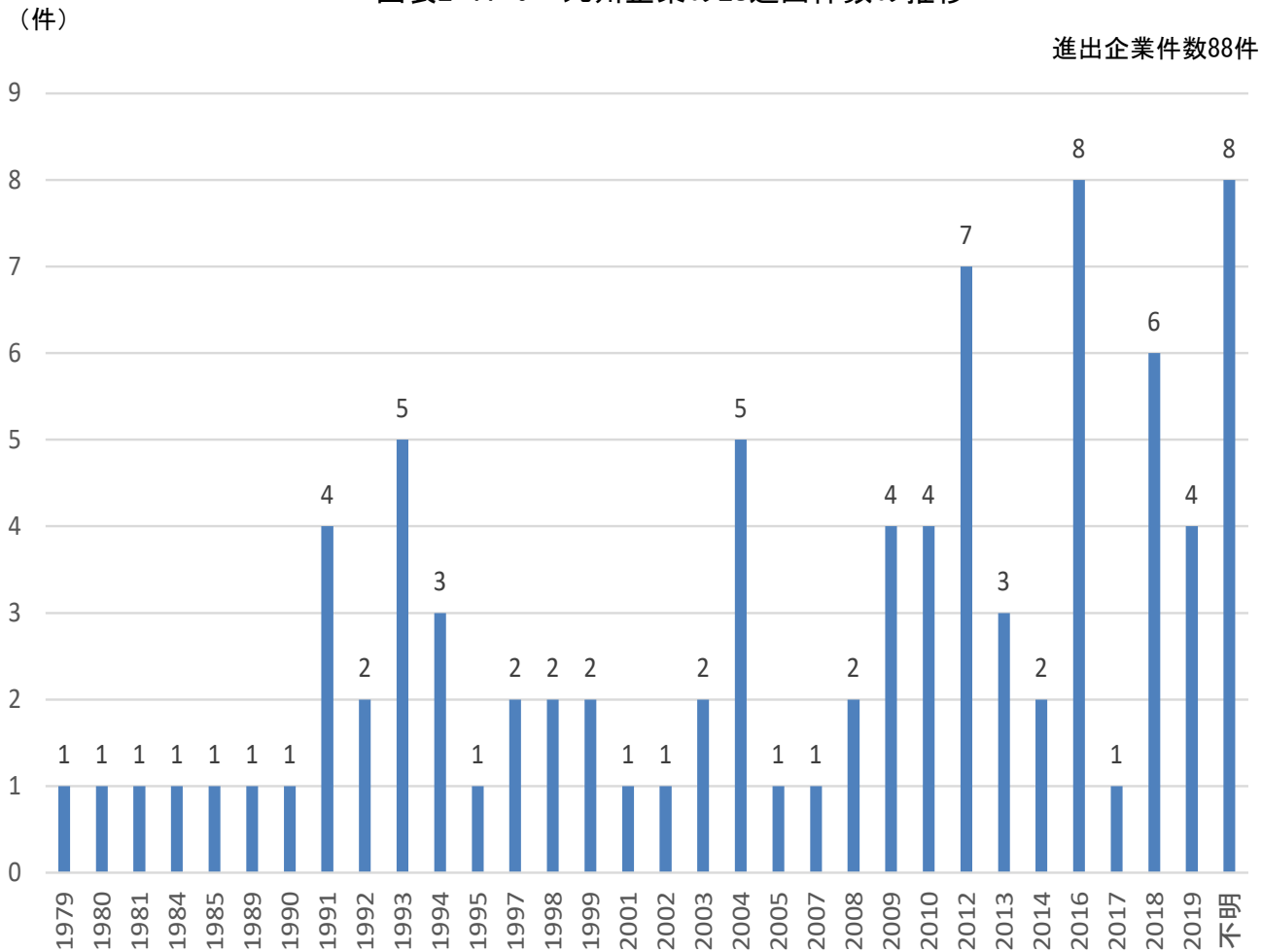
図表2-17-8 九州企業のEU各国への進出件数（国別）

進出企業件数88件

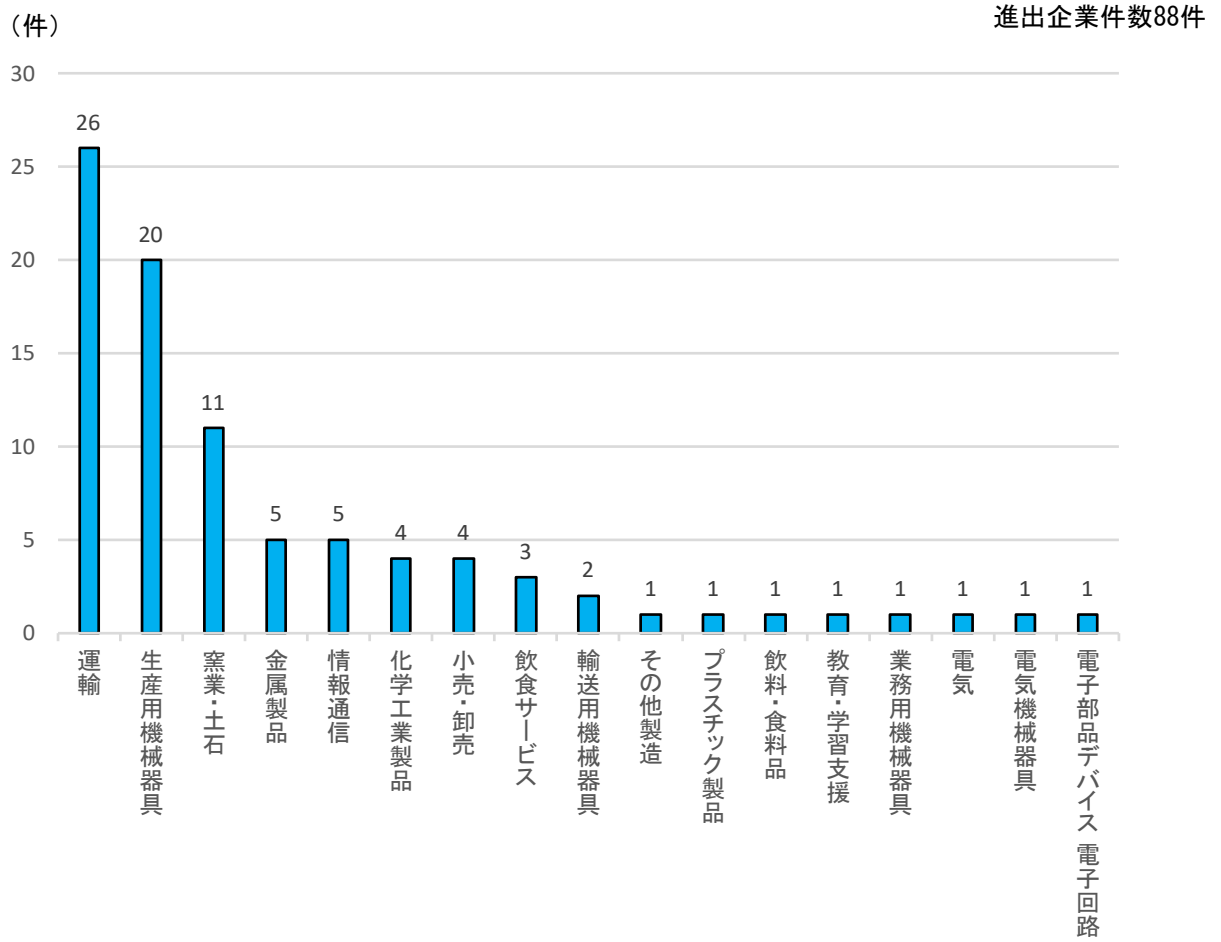


図表2-17-9 九州企業のEU進出件数の推移

進出企業件数88件



図表2-17-10 九州企業のEU進出件数（業種別）

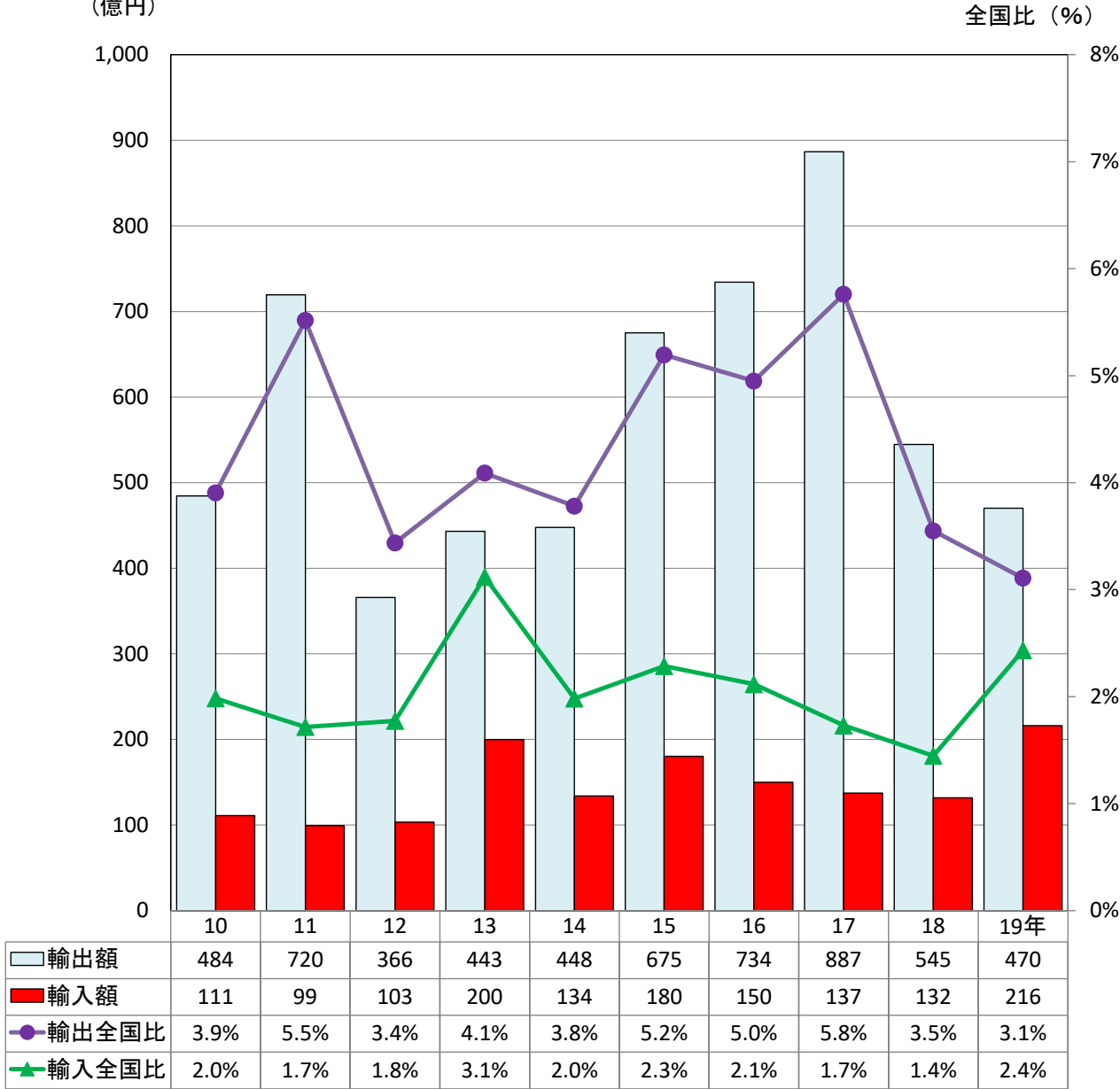


出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」より九州経済産業局作成

17-3 英国との貿易動向

- 2019年の九州の対英国貿易額
輸出総額：470億円（対前年▲13.7%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：216億円（対前年+64.1%） → 4年ぶりのプラス
差引額：254億円（対前年▲38.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、二輪自動車類
〈寄与度↑〉自動車（+25.1%）、アルミニウム及び同合金（+0.6%）
〈寄与度↓〉船舶類（▲20.2%）、二輪自動車類（▲4.1%）
- 輸入品目（輸入額多い順）原動機、音響・映像機器（含部品）、自動車の部分品
〈寄与度↑〉原動機（+30.9%）、自動車の部分品（+17.5%）
〈寄与度↓〉非鉄卑金属くず（▲2.7%）、重電機器（▲2.4%）

図表2-17-11 九州の対EU貿易額の推移

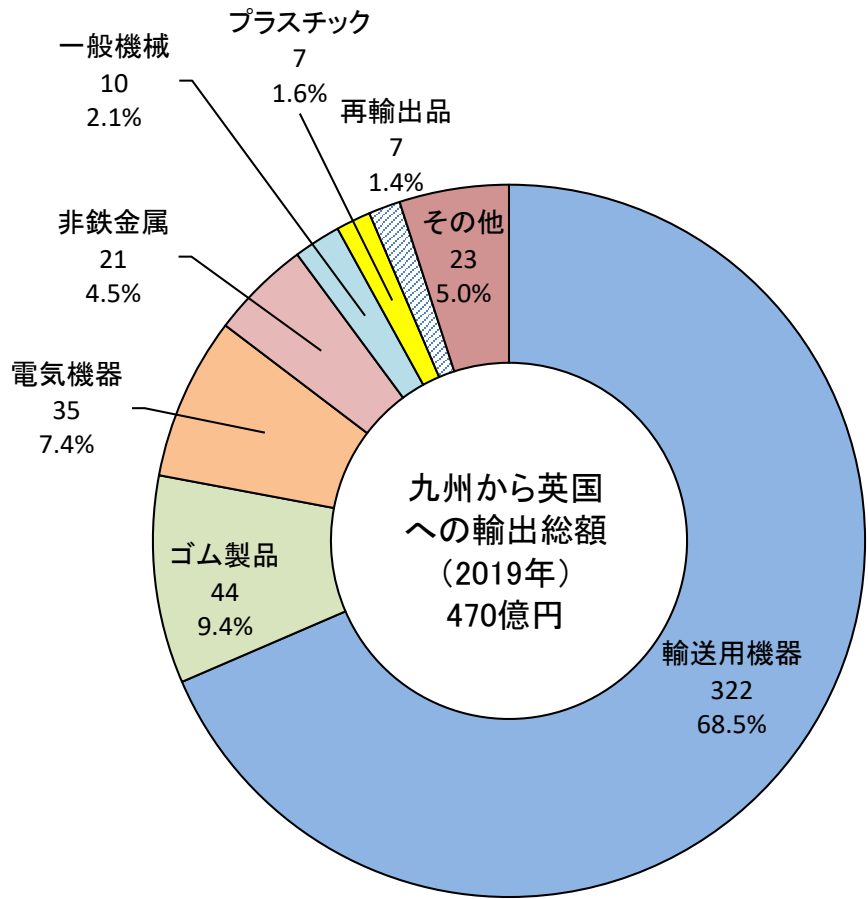


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-17-12 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	285	60.6%	92.1%	8.9%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	44	9.3%	▲0.1%	49.4%
二輪自動車類	輸送用機器	35	7.4%	▲38.8%	53.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	23	4.8%	8.6%	12.2%
チタン及び同合金	非鉄金属	15	3.3%	▲15.8%	24.3%
有機化合物	元素及び化合物	5	1.0%	▲24.5%	2.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	4	0.8%	▲0.2%	2.0%
重電機器	電気機器	4	0.8%	24.4%	1.2%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	3	0.7%	16097.6%	34.9%
半導体等製造装置	一般機械	3	0.7%	9922.6%	15.4%
その他		50	10.7%	－	－
総 計		470	100%	▲13.7%	3.1%

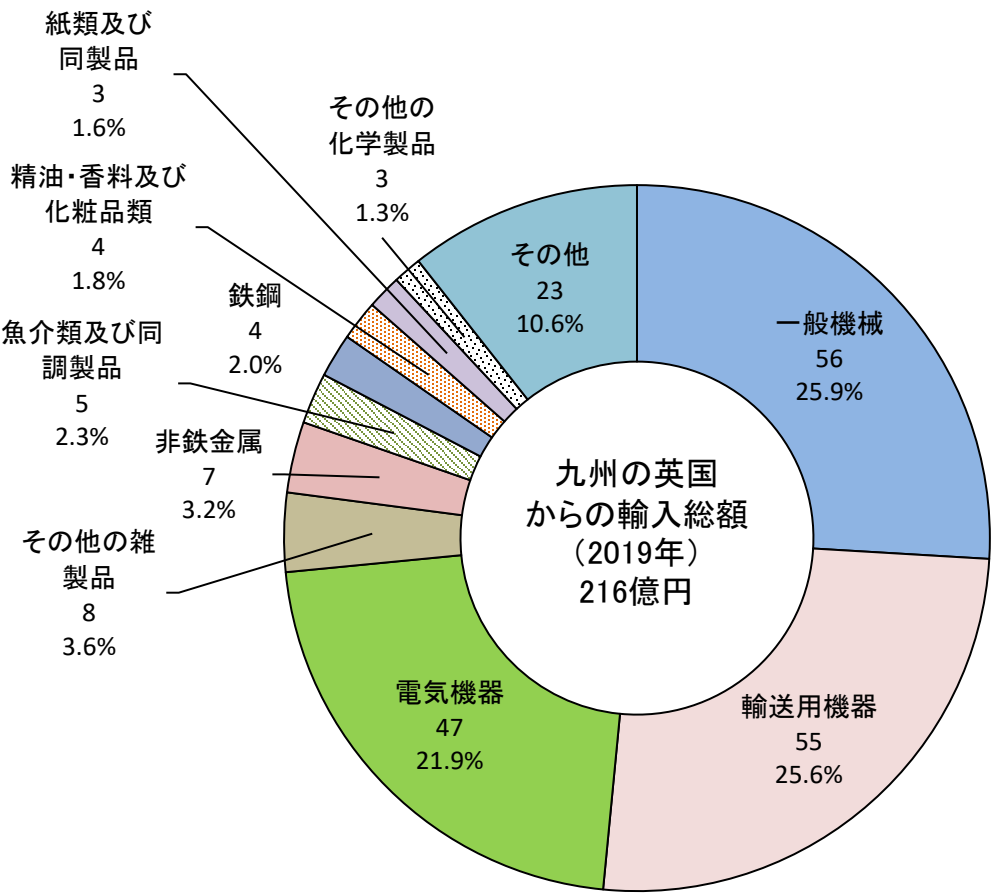
寄与度（増加分）：自動車（+25.1%）、アルミニウム及び同合金（+0.6%）等
寄与度（減少分）：船舶類（▲20.2%）、二輪自動車類（▲4.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-17-13 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

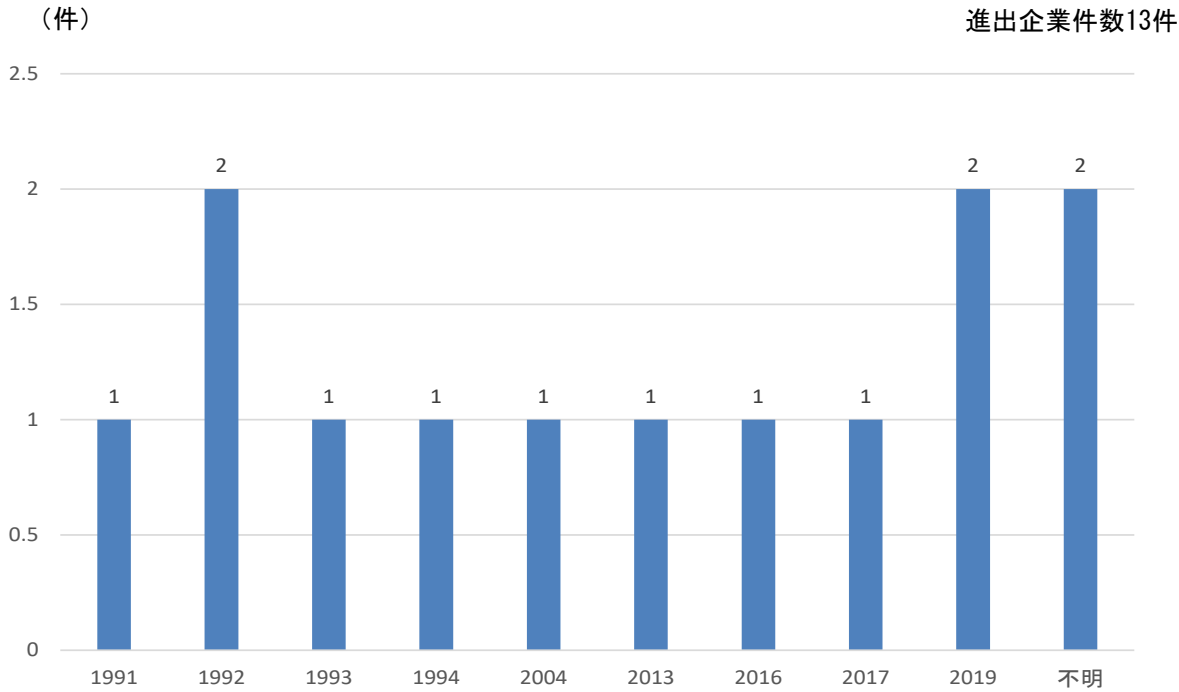


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
原動機	一般機械	44	20.5%	1112.7%	3.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	30	14.0%	217.9%	28.3%
自動車の部分品	輸送用機器	28	13.0%	458.2%	31.7%
自動車	輸送用機器	26	12.0%	59.0%	1.8%
電気計測機器	電気機器	12	5.5%	▲9.6%	3.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	6	3.0%	▲19.8%	8.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	6	2.7%	344.9%	5.0%
魚介類	魚介類及び同調製品	5	2.3%	270.9%	13.1%
合金鉄	鉄鋼	4	2.0%	19.6%	32.3%
紙及び板紙	紙類及び同製品	3	1.5%	69.8%	9.4%
その他		51	23.5%	-	-
総 額		216	100%	64.1%	2.4%

寄与度（増加分）：原動機（+30.9%）、自動車の部分品（+17.5%）等
寄与度（減少分）：非鉄卑金属くず（▲2.7%）、重電機器（▲2.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-17-14 九州企業の英国進出件数の推移



図表2-17-15 九州企業の英国進出件数（業種別）

